SONY

3-073-855-**02** (2)

デジタルビデオカメラレコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DCR-TRV27

こんなことができます

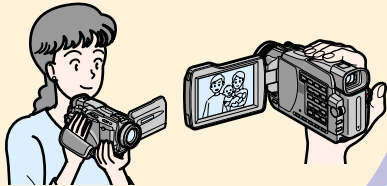
動画や静止画を撮影して、再生できます。

テープに

動画を撮影する　18ページ
静止画を撮影する　35ページ
撮影した画像を見る　28ページ

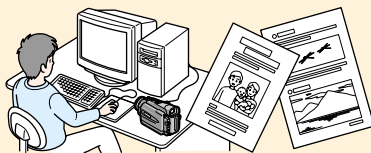
“メモリースティック” に

静止画を記録する　33、101ページ
動画を記録する　112ページ
記録した静止画を見る　122ページ
記録した動画を見る　125ページ

画像をパソコンに取り込めます。

“メモリースティック”の画像を別売りのUSBケーブルを使ってパソコンで見る　157、162ページ

テープに記録した映像を別売りのUSBケーブルを使ってパソコンで見る　152ページ

カメラに映っている画像を別売りのUSBケーブルを使ってパソコンに取り込む　154ページ

本機を使ってアナログ信号をデジタル変換してパソコンに取り込む　164ページ

必ずお読みください

お使いになる前に

別売りのアクセサリーキットについて
本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。
お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

本書内の写真について
液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

さらにこんなことができます。

明るさが気になるときの撮影

- 逆光補正 24ページ
- NIGHTSHOT/SUPER NIGHTSHOT/COLOR SLOW SHUTTER 24ページ
- プログラムAE 44ページ
- 明るさ調節 46ページ

インパクトのある画像を作るための機能

- デジタルズーム 22ページ
  お買い上げ時の設定は「切」になっています。（10倍を超えるズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。）
- フェーダー 39ページ
- ピクチャーエフェクト 41、53ページ
- デジタルエフェクト 42、54ページ
- タイトル 86ページ
- メモリーミックス 107ページ

さりげなく自然な画像にするための機能

- スポーツレッスン 44ページ
- 風景 44ページ
- 手動ピント合わせ 47ページ

撮影し終わったテープで行う機能

- エンドサーチ／エディットサーチ／レックレビュー 27ページ
- データコード 30ページ
- テープ再生ズーム 55ページ
- ゼロセットメモリー 56ページ
- タイトルサーチ 57ページ
- デジタルプログラムエディット 65、116ページ

カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能

エンドサーチ（27ページ）
日付サーチ（58ページ）
フォトサーチ（60ページ）

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能

「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（57ページ）
「タイトルを入れる」（86ページ）
「カセットに名前を付ける－カセットラベル」（91ページ）
詳しくは186ページをご覧ください。

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはCMマークが付いています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。 本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

“メモリースティック”を使う

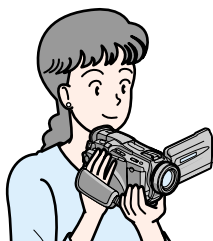
パソコンと接続する

設定を変える

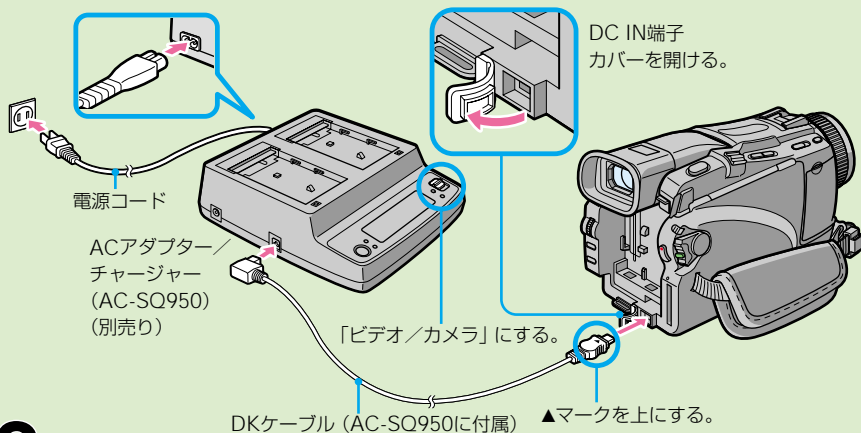
故障かな？と思ったら

その他

検索する

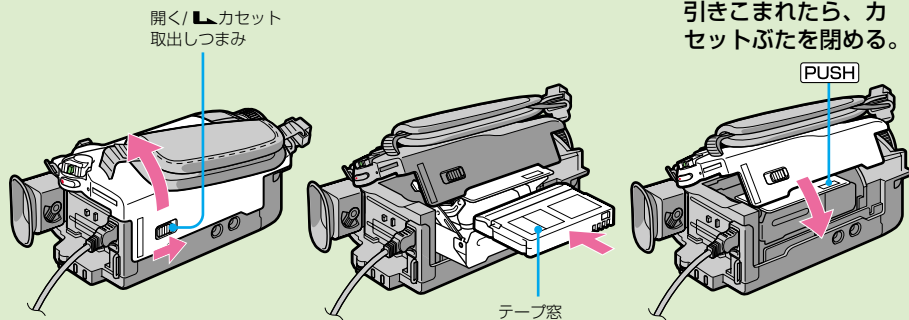
とにかく撮って見る – テープ編

ここでは本機のテープでの使い方を簡単に説明します。詳しくは（　）内のページをご覧ください。

1 電源をつなぐ（14ページ）

屋外ではバッテリーを使います →13ページ

2 カセットを入れる（17ページ）

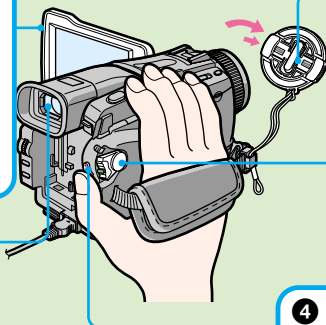
❶ 開く/⏏カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。

❷ カセットの背の中央部を押して、テープ窓を上にして入れる。

❸ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが完全に引きこまれたら、カセットぶたを閉める。

3 撮影する（18ページ）

❸ **OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。**
液晶画面に画像が映る。

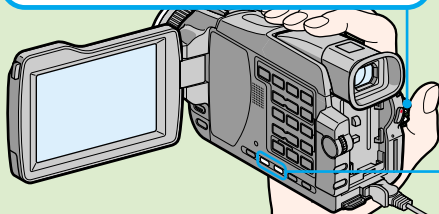
❶ **レンズキャップをはずす。**

❷ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。ご自分の視力に合わせて視度を調節してください。（21ページ）

❹ **スタート／ストップボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう一度押すと止まる。

お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。
撮影する前に日付・時刻を合わせてください。（15ページ）

4 液晶画面で見る（28ページ）

❶ **緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。**

❷ **◀◀巻戻しを押してテープを巻き戻す。**

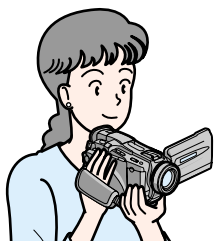
巻戻し

❸ **▶再生を押すとテープが再生される。**

再生

ご注意

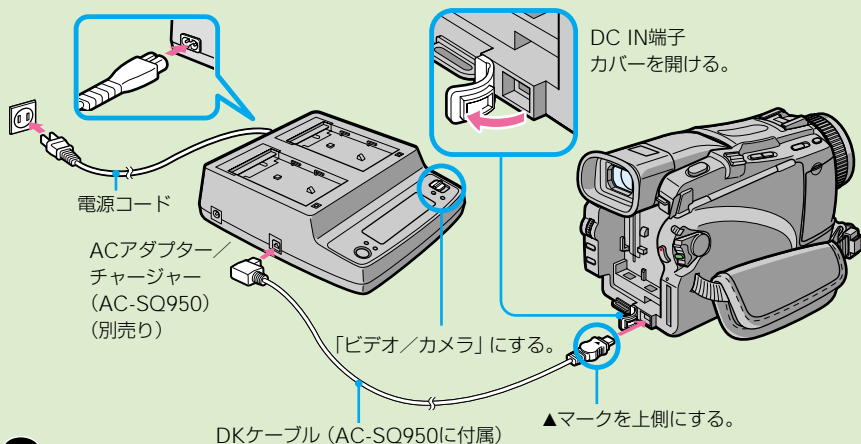
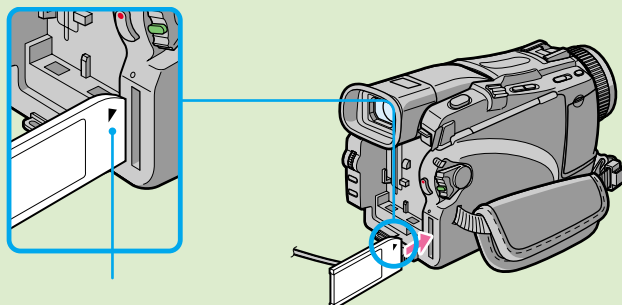
ファインダーや液晶画面またはバッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

とにかく撮って見る—“メモリースティック”編

ここでは本機の“メモリースティック”での使い方を簡単に説明します。詳しくは（　）内のページをご覧ください。

1 電源をつなぐ（14ページ）

屋外ではバッテリーを使います →13ページ

2 “メモリースティック”を入れる（95ページ）

▶マークを図のようにして奥まで押し込む。
取り出すときは、軽く1回押して取り出す。

3 “メモリースティック”に静止画を撮る（101ページ）

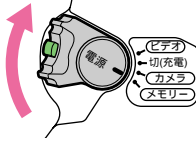
（101ページ）

❸ **OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。**
液晶画面に画像が映る。

❶ **レンズキャップをはずす。**

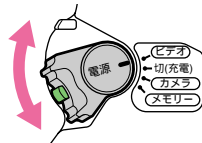
❷ **緑のボタンを押しながら「メモリー」にする。**
ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

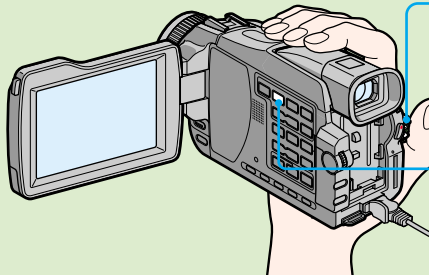
ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。ご自分の視力に合わせて視度を調整してください。（21ページ）

お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。撮影する前に日付・時刻を合わせてください。（15ページ）

❹ **フォトボタンを軽く押す。**
画面上の緑の●が点滅から点灯に変わり撮影可能となる。

❺ **フォトボタンを深く押す。**
ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録される。

4 液晶画面で静止画を見る（122ページ）

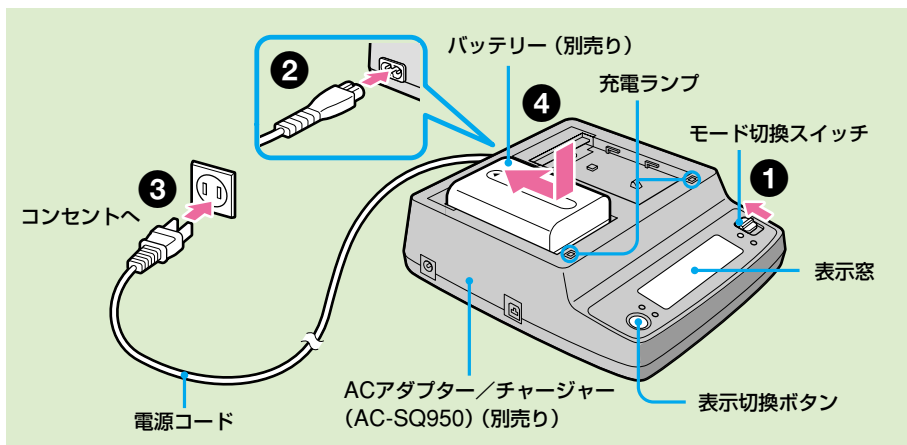
❶ **緑のボタンを押しながら「メモリー」または「ビデオ」にする。**

❷ **メモリー再生ボタンを押す。**
最後に撮影した画像が出る。

ご注意

ファインダーや液晶画面またはバッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

とにかく撮って見る

準備1 電源を準備する

バッテリーを充電する

別売りのACアダプター／チャージャーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
バッテリーは充電してからお使いください。
本機の電源には、別売りの **"インフォリチウム" バッテリー（Mシリーズ）** を使用します。
それ以外のバッテリーはお使いになれません。
"インフォリチウム" バッテリーについて、詳しくは188ページをご覧ください。

ご注意

充電する場合はACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「充電」にしてください。「ビデオ/カメラ」にしていると充電できません。

充電中の表示窓の表示
以下の場合、充電異常を表示、または充電ランプが点滅することがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが故障している。

ACアダプター／チャージャーは
コンセントの近くでお使いください。
本機をご使用中に不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

❶ モード切換スイッチを「充電」にする。

❷ 電源コードをACアダプター／チャージャーにつなぐ。

❸ 電源コードをコンセントにつなぐ。

❹ バッテリーを押しながら矢印の方向にずらして取り付ける。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。
充電が終わると、表示窓のバッテリーマークがすべて点灯する「▰▰▰」**（実用充電）**。さらに充電ランプが消え、バッテリーマーク「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使える **（満充電）**。

ご注意

- ACアダプター／チャージャーのDKプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプター／チャージャーの表示切換ボタンを押すと使用可能時間と充電終了時間を切り換えることができます。

ACアダプター／チャージャーの使用可能時間表示は
ファインダーを使って撮影するときの使用可能時間です。本機の残量時間表示と多少異なる場合がありますが、故障ではありません。

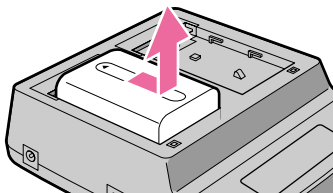
バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは
満充電をすると正しく表示されます。

バッテリーは
室温10℃～30℃で充電することをおすすめします。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーMシリーズには InfoLITHIUM M SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

海外でも充電できます
詳しくは192ページをご覧ください。

本体に取り付けて充電するときは
190ページをご覧ください。

❺ 充電終了後、バッテリーをACアダプター／チャージャーから取りはずす。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-FM50	105（45）
NP-FM70	150（90）
NP-QM70	115（55）
NP-QM71	130（70）
NP-FM90	195（135）
NP-FM91	205（145）
NP-QM91	150（90）

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。

まわりの温度によりバッテリーの温度が極端に高いまたは低いと、充電時間が長くなることがあります。

NP-QM70/QM71/QM91はスーパークイック（SQ）チャージ対応バッテリーです。

スーパークイック（SQ）チャージとは

SQ および SQ Super Quick マークのある“インフォリチウム”バッテリーとその対応機器との組み合わせにより実現する、急速充電機能および電源システムの総称です。従来の急速充電（または通常充電）と比べ、充電時間の大幅な短縮を実現します。

－当社比　急速充電対応システム（AC-VQ850/VQ800, NP-FM91/FM70）と比較した場合

実用充電*比：約40%短縮／満充電比約20%以上短縮

注*「実用充電」での撮影時間／再生時間は満充電時のおよそ90%です。

ご注意

25°Cで撮影、再生したときの時間の目安です。低温では使用時間が短くなります。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時	実撮影時*	連続撮影時	実撮影時*
NP-FM50	145	75	105	55
NP-FM70/QM70	305	170	220	125
NP-QM71	355	195	255	140
NP-FM90	460	255	340	190
NP-FM91/QM91	535	295	390	220

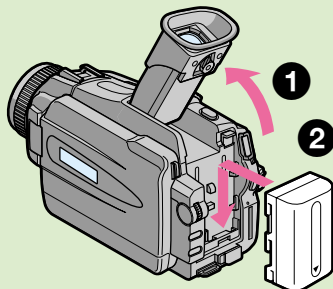
満充電してからの時間（約　分）。

* 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

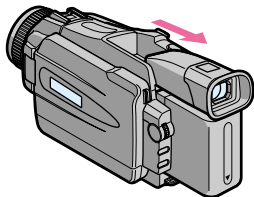
再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50	135	200
NP-FM70/QM70	275	415
NP-QM71	325	485
NP-FM90	425	630
NP-FM91/QM91	490	725

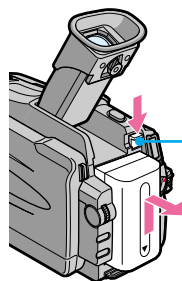
満充電してからの時間（約　分）。

バッテリーを取り付ける

容量の大きいバッテリーを使用するときは
容量の大きいバッテリー（NP-FM70/QM70/QM71/FM90/FM91/QM91）をご使用のときはファインダーを伸ばしてご使用ください。

❶ ファインダーを上げる。

❷ バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで下へずらす。

本体から取りはずす

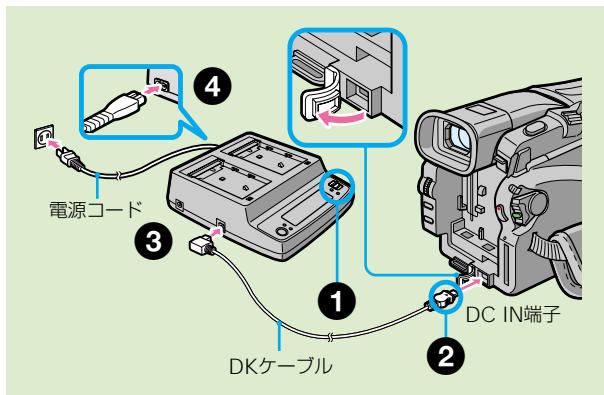
1 ファインダーを上げる。
2 バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。

準備

コンセントにつないで使う

ご注意

- コンセントにつないで使う場合は、ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」にしてください。「充電」にしていると電源は供給されません。
- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差しこまれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では
ACアダプター／チャージャー AC-SQ950をお持ちの場合は、別売りのカーバッテリーコードでお使いになれます。
詳しくは、ACアダプター／チャージャーの取扱説明書をご覧ください。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

❶ **ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」にする。**

❷ **DKケーブルを本機のDC IN端子につなぐ。**
DC IN端子カバーを開け、DKケーブルのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

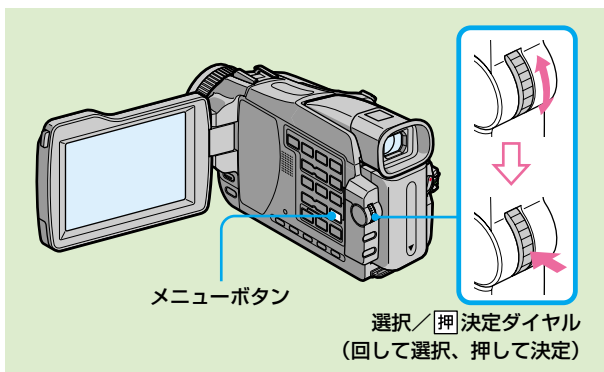
❸ **DKケーブルをACアダプター／チャージャーにつなぐ。**

❹ **電源コードをACアダプター／チャージャーとコンセントにつなぐ。**

準備2 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと電源を入れ、撮影状態にするたびにお知らせメッセージが出ます。

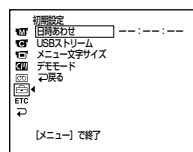
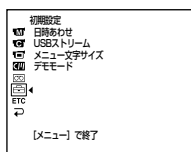
4ヶ月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（194ページ）

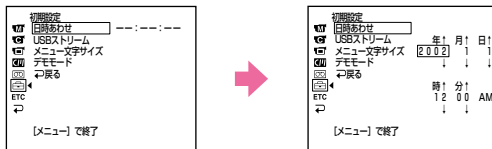
日時を設定しないと
テープと“メモリースティック”のデータコードには
「－－－－ －－ －－」
「－－: －－:－－」が記録されます。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

1 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にして、メニューボタンを押す。

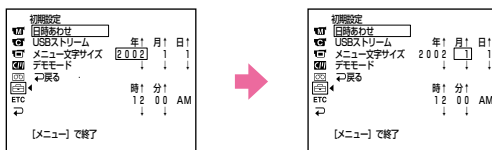
2 選択／押決定ダイヤルを回して、を選び、押して決定する。

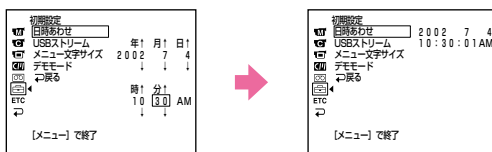
次のページへつづく

準備

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

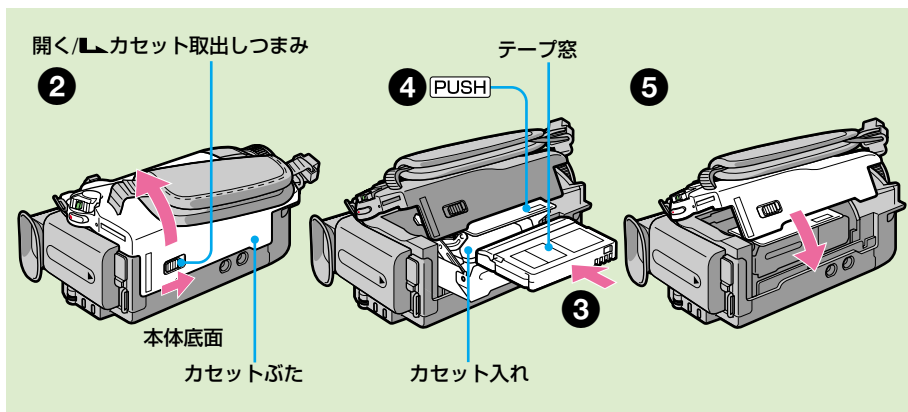
❸ **選択／押決定ダイヤルを回して、「日時あわせ」を選び、押して決定する。**

❹ **「年」を合わせる。**

選択／押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

年表示は次のように変わる。

❺ **手順4と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。**

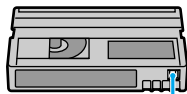
選択／押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。

❻ **メニューボタンを押す。**

メニュー画面が消える。

準備3　カセットを入れる

ご注意

- カセット入れを無理に押しこまないでください。故障の原因になります。
- PUSH マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。

カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のとき
カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために186ページをご覧ください。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

カセットを取り出すときは
エディットサーチボタンを押さないでください。

1 バッテリーまたはACアダプター／チャージャーをつなぐ。
ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチは「ビデオ／カメラ」にする。

2 開く/⏏カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。
カセット入れが自動的に出て開く。

3 カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。
テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押しこむ。

4 PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に引きこまれる。

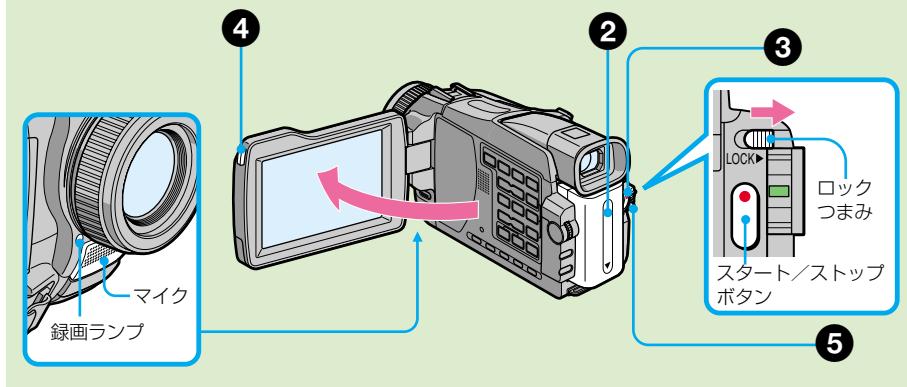
5 カセット入れが完全に引きこまれたら、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

準備

撮影する

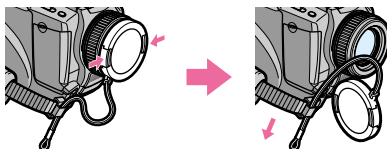
ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

グリップベルトをしっかりしめてください。

長時間録画したいときは
メニューの「録画モード」を「LP」にします（172ページ）。録画時間がSP（標準）モードの**1.5倍**になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はきれいにつながります。また、以下の点にご注意ください。

- 同じテープにSPモードで撮影した映像とLPモードで撮影した映像を混在させない。
- バッテリーの交換は電源スイッチを「切（充電）」にしてから行う。
- カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後でもエンドサーチ（27ページ）を使うと、きれいにつながります。

❶ レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

❷ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1～3」（10～17ページ）をご覧ください。

❸ 緑のボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

ロックつまみについて
ロックつまみを右側（ロック）にすると、気付かないうちに電源スイッチが「メモリー」になるのを防ぎます。（お買い上げ時は左側（解除）になっています。）

ご注意

撮影日時／カメラデータは画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと見ることができます。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを一度「切（充電）」にしてから、「カメラ」に戻して撮影スタンバイにするか、電源スイッチはそのままで、もう一度スタート／ストップボタンを押すと撮影が始まります。ただしカセットが入っていなければ、撮影スタンバイが5分以上続いても電源は切れません。

次のようなときは
つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。
- テープの途中で録画モード（SP/LP）を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

液晶画面を使って撮影するときのバッテリー使用時間は
ファインダーを使った撮影時間よりも若干短くなります。

❹ OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。

ファインダーの画像は消える。

❺ スタート／ストップボタンを押す。

撮影が始まり、「●録画」の表示が出る。録画ランプが点灯する。
もう一度押すと止まる。

録画中
撮影が終わったら

1 **電源スイッチを「切（充電）」にする。**
2 **液晶画面を閉じる。**
3 **カセットを取り出す。**
4 **バッテリーを取りはずす。**

撮る

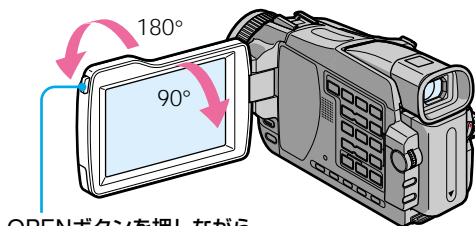
ご注意

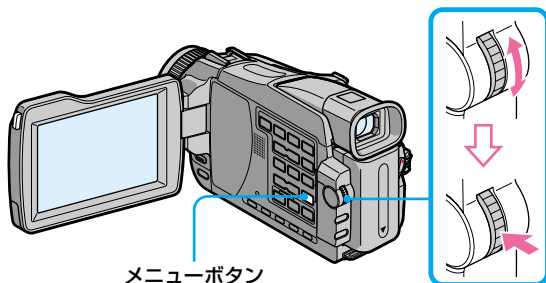
液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中（23ページ）はファインダーにも画像が映ります。

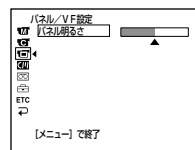
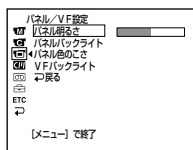
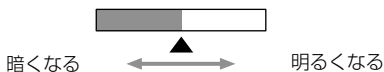
液晶画面について

- 屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでの撮影をおすすめします。
- 角度を調節する場合は必ず90°まで開いた状態で行ってください。

液晶バックライトの明るさは
バッテリーを取り付けている場合、メニューの「パネルバックライト」で変えることができます（169ページ）。

液晶画面を調整する

液晶画面は90°まで開きます。また、レンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。
液晶画面を閉じるときは、液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に向かって閉じます。

液晶画面の明るさを調節する

選択／押決定ダイヤル
（回して選択、押して決定）

❶ 電源スイッチを「カメラ」、「ビデオ」または「メモリー」にしたとき
メニューでの項目の「パネル明るさ」を選び、押して決定する。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、明るさを調節し、押して決定する。

3 メニューボタンを押す。

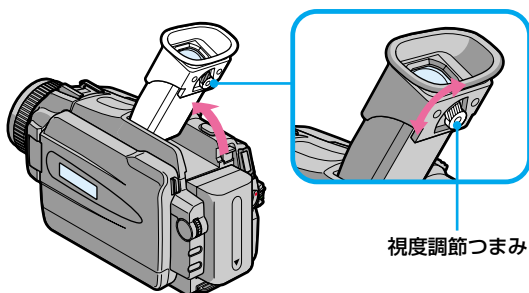
メニュー画面が消える。

ファインダーバックライトの明るさは
バッテリーを取り付けている場合、メニューの「VFバックライト」で変えることができます（169ページ）。

ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。ご自分の視力に合わせてファインダー内の画像がはっきり見えるように、調節してください。

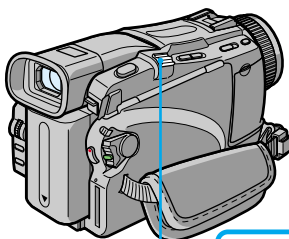
電源スイッチを「カメラ」、「ビデオ」または「メモリー」にしたとき

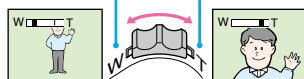
ファインダーを上げて、視度調節つまみを動かす。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

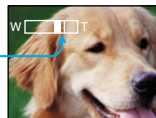
デジタルズームについて
- ズーム倍率は20倍または120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

電源スイッチを「メモリー」にすると
デジタルズームは使えません。

ズームする

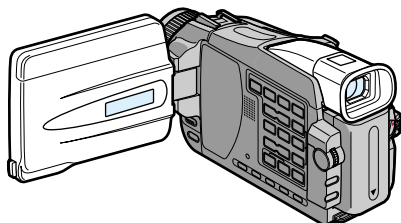
ズームレバーを動かす。
軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。使いすぎると見づらい作品になります。

被写体が小さくなる
(広角：Wide)

被写体が大きくなる
(望遠：Telephoto)

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。
デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。（168ページ）
（お買い上げ時の設定は「切」になっています。）

このラインよりT側がデジタルズームになります。
メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

対面撮影では
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は
リモコンのゼロセットメモリーボタンは働きません。

対面撮影する

ファインダーと液晶画面で画像を確認できます。
被写体が自分で画像を確認したいときなどに使用してください。

電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき
液晶画面を180°回転させる。

ファインダーと液晶画面に☺が出ます。

撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。

その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。

撮影中のバッテリー残量表示について
連続撮影時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

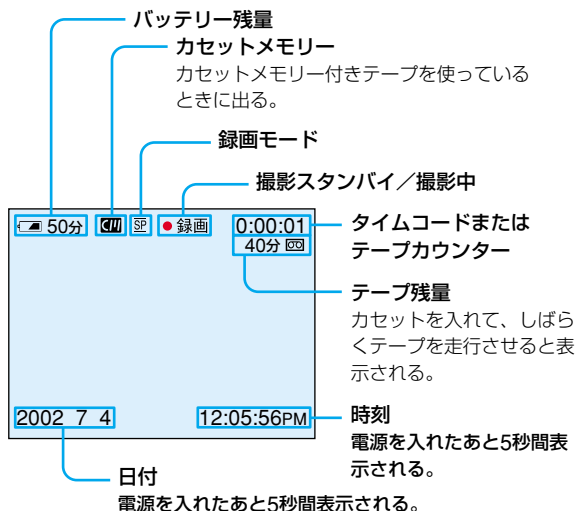
タイムコードについて
テープ走行時間が「0:00:00」（時:分:秒）と出ます。再生中は「0:00:00:00」（時:分:秒:フレーム）と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。

テープの残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

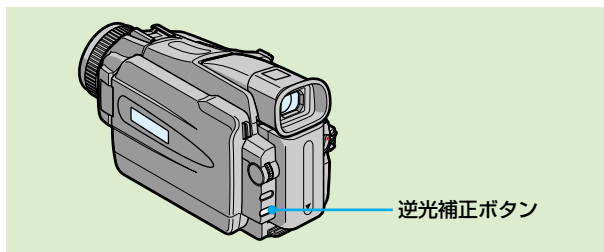
撮影日時／カメラデータは
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと見ることができます。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

撮る

逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき
逆光補正ボタンを押す。

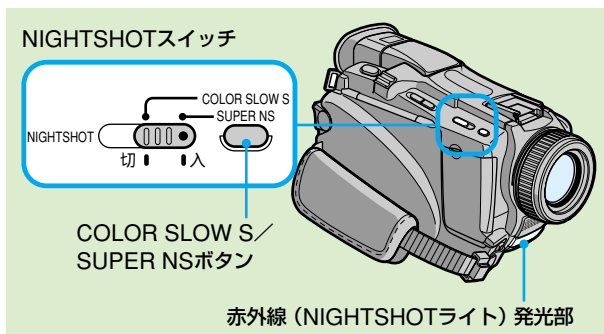
逆光補正表示⊠が出ます。逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）/SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）/COLOR SLOW SHUTTER（カラースローシャッター）

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOTで撮影中、フォーカスが合いにくいときは、手動でピントを調節してください。

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません
– カメラ明るさ調節
– プログラムAE
– ホワイトバランス

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影できます。

NIGHTSHOT（ナイトショット）を使う

電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき
NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

◉と"NIGHTSHOT"が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

SUPER NIGHTSHOT中は以下の操作ができません
– カメラ明るさ調節
– プログラムAE
– フェーダー
– デジタルエフェクト
– テープ撮影中、撮影スタンバイ中の"メモリースティック"記録

SUPER NIGHTSHOT/COLOR SLOW SHUTTER時のシャッタースピードは
明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

電源スイッチを「メモリー」にしたときは以下の操作ができません。
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

COLOR SLOW SHUTTER中は以下の操作ができません
– カメラ明るさ調節
– プログラムAE
– フェーダー
– デジタルエフェクト
– テープ撮影中、撮影スタンバイ中の"メモリースティック"記録

全く光のない場所ではCOLOR SLOW SHUTTER
が正しく働かない場合があります。

SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）を使う

SUPER NIGHTSHOTを使うと、NIGHTSHOTの最大16倍の感度で被写体を明るく撮影できます。

1 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。
◉と"NIGHTSHOT"が点滅します。

2 **SUPER NSボタンを押す。**
S◉と"SUPER NIGHTSHOT"が点滅します。
SUPER NSボタンをもう一度押すと"NIGHTSHOT"に切りかわります。

NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューでⓂの項目の「N.S.ライト」を「入」にします。（167ページ）
（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

COLOR SLOW SHUTTER（カラースローシャッター）を使う

暗い場所でも被写体を明るく撮影することができます。

1 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
NIGHTSHOTスイッチを「切」にする。

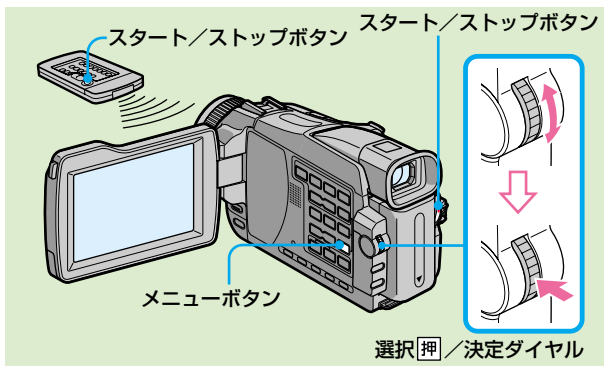
2 **COLOR SLOW Sボタンを押す。**
とCOLOR SLOW SHUTTERが点滅します。
COLOR SLOW Sボタンをもう一度押すと解除されます。

セルフタイマー撮影

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

電源スイッチを「メモリー」にしたときでも
セルフタイマー撮影ができます。（104ページ）

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。リモコンも使えます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューでの項目の「セルフタイマー」を選び、押して決定する（168ページ）。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。**

❸ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**
（セルフタイマー）表示が出る。

❹ **スタート／ストップボタンを押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

秒読みを停止するとき

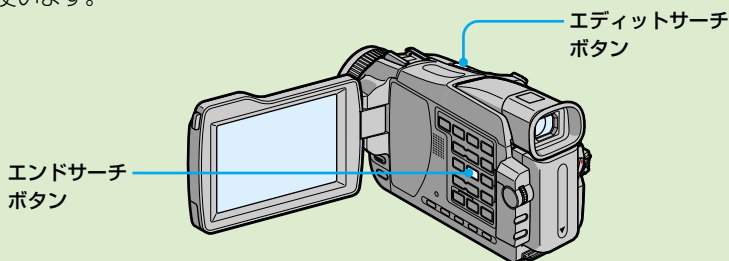
スタート／ストップボタンを押す。再開するにはもう一度押す。

セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にメニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。

リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

次の撮影開始点を探す
－エンドサーチ／エディットサーチ／レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットでは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチは働きます。

テープの途中に無記録部分があると
エンドサーチが正しく働かない場合があります。

エンドサーチ

最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

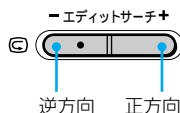
［撮影スタンバイ中］に
エンドサーチボタンを押す。

エンドサーチ

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生され、撮影スタンバイに戻る。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

［撮影スタンバイ中］に
エディットサーチボタンを押し続ける。画像が再生される。

－：場面を戻す

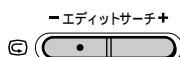
＋：場面を進める

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

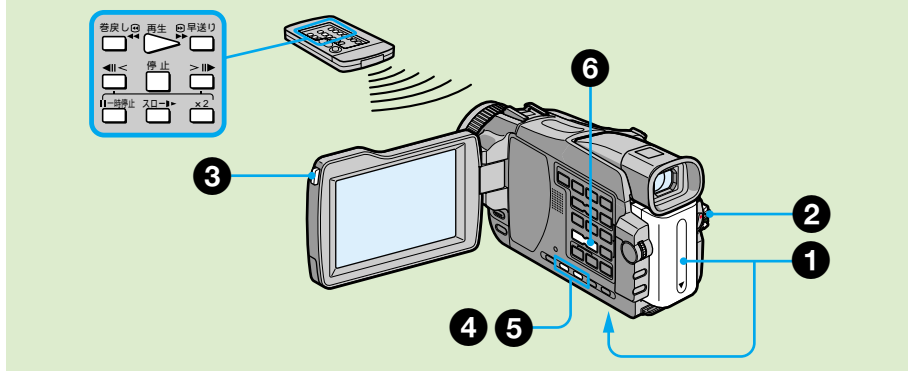
レックレビュー

最後の場面を確認します。

［撮影スタンバイ中］に
エディットサーチボタンの－側をポンと1回押す。

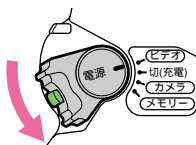
－エディットサーチ＋

テープを停止させた部分が数秒間再生され、撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

長時間電源を入れたままにしておくと
本体があたたかくなりますが故障ではありません。

液晶画面を開けたり閉じたりするときは
液晶画面を必ず垂直にしてから行ってください。

1 バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

2 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。

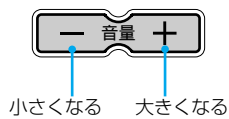
4 ◀◀巻戻しボタンを押す。
巻き戻しが始まる。

巻戻し ◀◀

5 ▶再生ボタンを押す。
画像が映る。

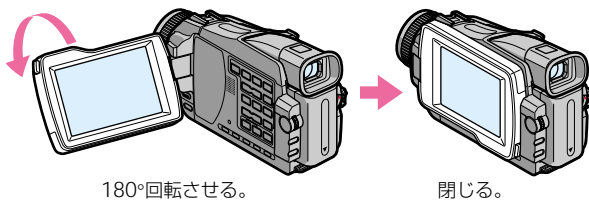
再生 ▶

❻ **音量ボタンを押して、音量を調節する。**

液晶画面を閉じているときは、音が出ません。

再生を止める

■停止ボタンを押す。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

見る

テープカウンター、日付データ／カメラデータなどの表示を出す－画面表示機能

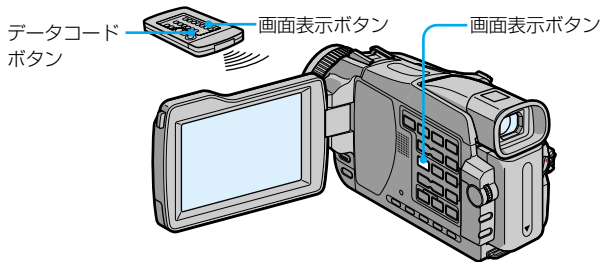
カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

次のときは、「-- -- --」を表示します。
- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

データコードは
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます。

再生中のバッテリー残量表示について
連続再生時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

本機またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

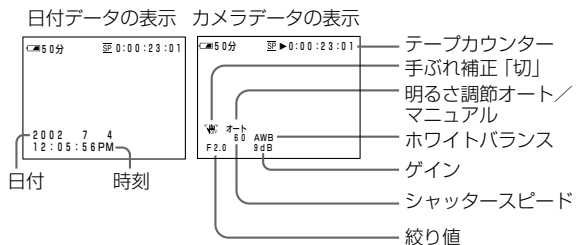
液晶画面に表示が出る。消すときはもう一度押す。

日付データ／カメラデータ表示について（リモコンでのみ操作できます）

本機は撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。

1　**電源スイッチを「ビデオ」にして、テープを再生する。**

2　**リモコンのデータコードボタンを押す。**

押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。（174ページ）

リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」←→（表示なし）

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

一時停止する（静止画を見る）

[再生中] に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう一度押すか、►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中] に►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中] に◄◄巻戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

[再生中] にリモコンの＜ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

[再生中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] に►►早送りボタン、[巻き戻し中] に◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

[再生中] にリモコンの❚►スローボタンを押す。
逆方向にスロー再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してから❚►スローボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る（倍速再生）

[再生中] にリモコンの×2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してから×2ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見る

[再生一時停止中] にリモコンの❚❚►ボタンを押す。
逆方向にコマ送りするときは、◄❚❚ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

[停止中] にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

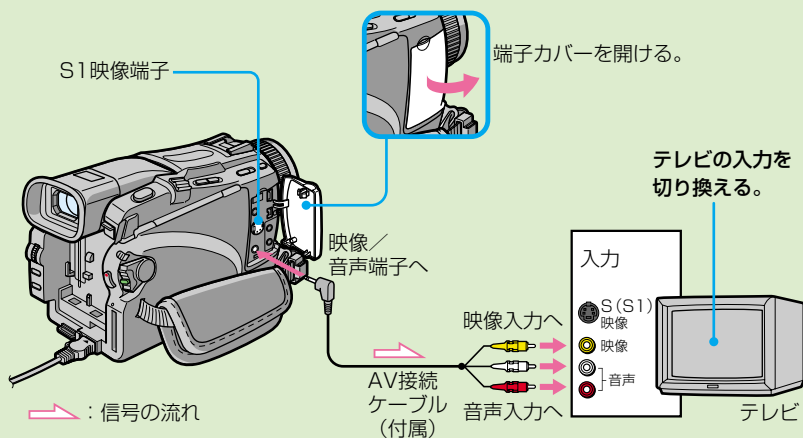
変速再生中は
- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、►再生ボタンを押します。

スロー再生について
本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただし i DV入力／出力端子から出力される画像にはこの機能は働きません。

逆方向再生について
画面の上下や、中央に横縞が入ることがありますが、故障ではありません。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は別売りのACアダプター／チャージャーを使って、コンセントからとることをおすすめします（14ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのS映像ケーブルを使うと
再生画像がより忠実に再現できます。テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色のプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには
メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし（174ページ）、本機の画面表示ボタンを押します。消すときはもう一度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。
モノラル音声でお聞きになりたいときは市販の接続ケーブルをお使いください。

テープ撮影中に“メモリースティック”に静止画を撮る

［撮影スタンバイ中］または［テープ撮影中］に、“メモリースティック”に静止画を撮影することができます。

本機では、テープにも静止画を記録できます。（35ページ）

“メモリースティック”について
詳しくは94ページをご覧ください。

ご注意

- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、“メモリースティック”に静止画を撮ることができません。（表示が点滅します。）
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト
  – ピクチャーエフェクト
  – SUPER NIGHTSHOT
  – COLOR SLOW SHUTTER
  – ワイドTVモード
  – メモリーミックス

静止画の画像サイズは
「640×480」になります。違うサイズで静止画を撮影したいときは、「メモリーフォト撮影」を行ってください。（101ページ）

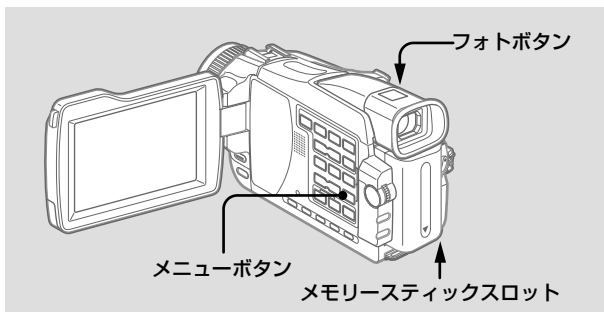
電源スイッチが「カメラ」のときは
画質を変更することができません。画質は電源スイッチを「メモリー」にしたときに設定したモードで撮影されます。（お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。）

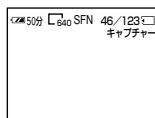
リモコンのフォトボタンで撮影すると
押したときに映っている画像が記録されます。

テープ撮影中に“メモリースティック”に静止画を撮影するときは
フォトボタンを軽く押して画像を確認することができません。深く押したときに映っている画像が記録されます。

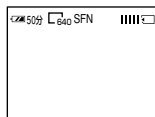
“メモリースティック”への
静止画記録中や、記録終了後も、テープ撮影は続きます。

より高画質の撮影をするときは
「メモリーフォト撮影」をおすすめします。（101ページ）

タイトルは
記録できません。

- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。（95ページ）
- 電源スイッチを「カメラ」にして、メニューの「フォト記録」を「メモリースティック」にしておいてください。
  （お買い上げ時は「メモリースティック」に設定されています。）

1 ［撮影スタンバイ中］に
フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき、録画はされません。

画像を選びなおすときは、フォトボタンを離してからもう一度軽く押す。

2 **フォトボタンを深く押す。**

画像が静止画になる。
バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録される。

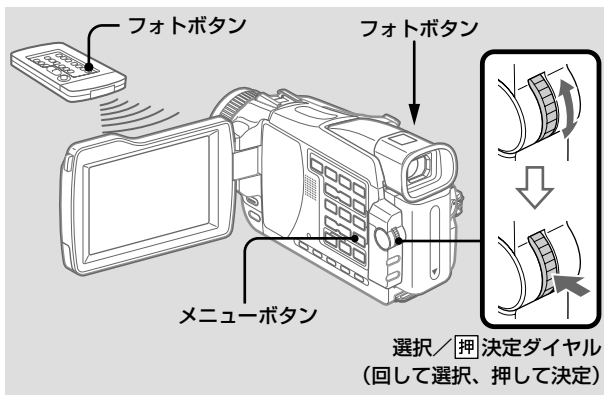
使いこなす－撮影－

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマー撮影は
撮影スタンバイ中のみ操作できます。

セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使用して、“メモリースティック”に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。（95ページ）
- メニューの「フォト記録」を「メモリースティック」にしてください。
  （お買い上げ時は「メモリースティック」に設定されています。）

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューでCの項目の「セルフタイマー」を選び、押して決定する。（168ページ）

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。**

3 **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**
（セルフタイマー）表示が出る。

4 **フォトボタンを深く押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にメニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。
リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

テープに静止画を撮る – テープフォト撮影

テープに静止画を記録できます。60分テープならSPモードで約510枚、LPモードで約765枚撮れます。

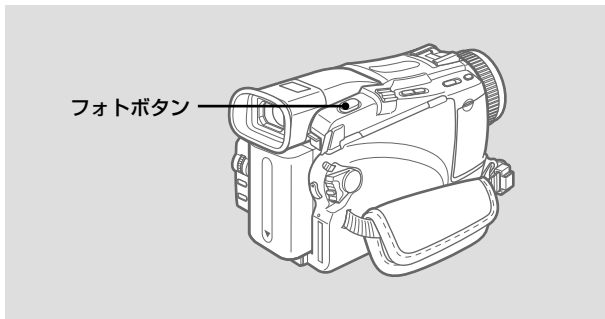
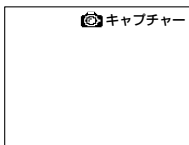
ご注意

- テープフォト撮影中はモードや設定を変更することはできません。
- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、テープフォト撮影できません。（表示が点滅します。）
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト

動きのある画像をテープフォト撮影すると
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

リモコンのフォトボタンで撮影すると
フォトボタンを押したときに映っている画像が記録されます。

カメラ録画中にテープフォト撮影するときは
フォトボタンを軽く押して画像を確認することができません。フォトボタンを深く押してください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

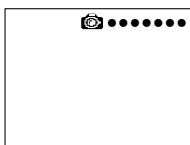
より高画質の撮影をするときは
“メモリースティック” を使った「メモリーフォト撮影」をおすすめします。（101ページ）

❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューでの項目の「フォト記録」を「テープ」にする。**（168ページ）**

❷ **フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。**

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう一度軽く押す。

使いこなす―撮影―

次のページへつづく

❸ フォトボタンを深く押す。

録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

ボタンを深く押したときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中に映る画像は静止画となります。

セルフタイマーでテープフォト撮影するとき

1 メニューで の項目の「フォト記録」を「テープ」にする。（168ページ）

2 34ページの手順1〜4を行う。

自然な色あいに調節する－ホワイトバランス

明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき

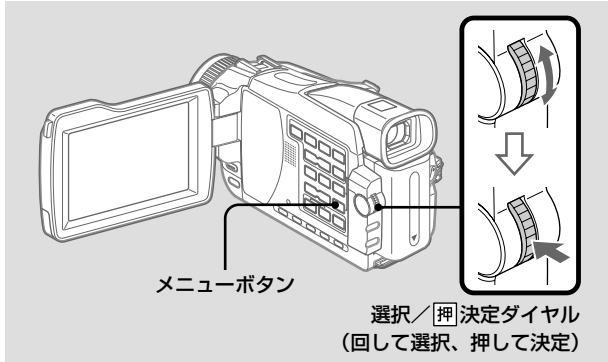
スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は
「オクナイ」に設定して撮影することをおすすめします。

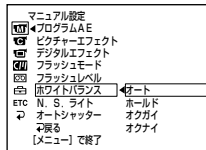
蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。「オクナイ」に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しく調整されない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」にしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。

- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。

- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

1 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき
メニューでMの項目の「ホワイトバランス」を選び、押して決定する。（167ページ）

2 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、希望のホワイトバランスを選び、押して決定する。**

HOLD（ホールド）
単一色の被写体や背景を撮るとき

（オクガイ）
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

（オクナイ）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

自動調節に戻す

メニューの「ホワイトバランス」で「オート」を選ぶ。

横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。ID-1/ID-2対応TVに接続した場合は自動的にTVのワイドモードが切り替わります。

接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドTVモードで撮影

ファインダー／液晶画面

通常のテレビで再生

ワイドテレビで再生

画像が縦長になります。

テレビをフルモードに切り換える

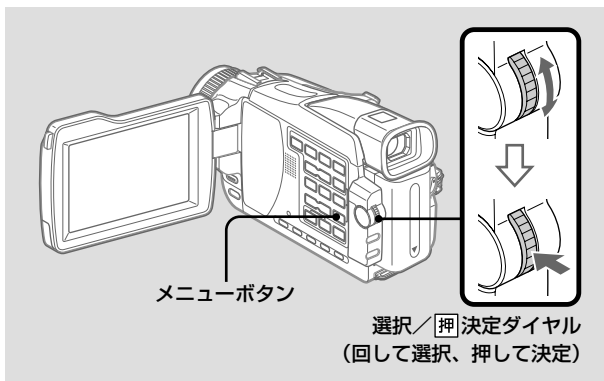
ワイドTVモード中は
以下の操作ができません。
– オールドムービー
– バウンド
– テープ撮影中、撮影スタンバイ中の“メモリースティック”記録

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、メニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

テレビの接続について
下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力端子に接続したとき。

ID-1方式とは
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムです。

ID-2方式とは
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

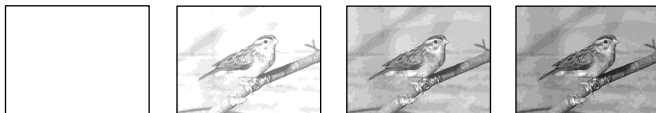
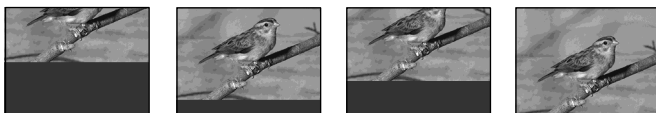
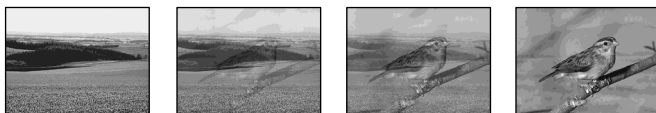
S1映像信号とは
通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されています。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューでCの項目の「ワイドTV」を選び、押して決定する。（168ページ）

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。**

ワイドTVモードを解除する

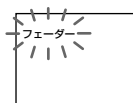
メニューの「ワイドTV」で「切」を選ぶ。

効果的な場面転換をする – フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

* フェードインのみ

使いこなす－撮影－

❶ • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
フェーダーボタンを押して希望のモードを選ぶ。

押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー→バウンド→モノトーンフェーダー→オーバーラップ→ワイプ→ドットフェーダー→表示なし

表示は前回使ったモードから表示されます。

❷ **スタート／ストップボタンを押す。**

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

スタート／ストップボタンを押す前に、フェーダーボタンを繰り返し押し、フェーダー表示を消す。

ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
– デジタルエフェクト
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– テープ撮影中、撮影スタンバイ中の“メモリースティック”記録
– テープフォト録画
– インターバル録画
– コマ撮り

「オーバーラップ」、「ワイプ」または「ドットフェーダー」を出すと

本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中は表示が速い点滅になり、画面が消えます。
このときテープの状態によっては、きれいな画像が撮影できないことがあります。

電源スイッチを「メモリー」にしたときは

フェードイン・フェードアウトはできません。

バウンド動作中には、以下の操作ができません

– フォーカス
– ズーム
– ピクチャーエフェクト
– カメラ明るさ調節

以下の操作中にはバウンドが表示されません

– メニューでデジタルズームの「20×」または「120×」を選択しているとき
– ワイドTVモード
– ピクチャーエフェクト
– プログラムAE

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

スリム
→縦に引き伸ばしたように

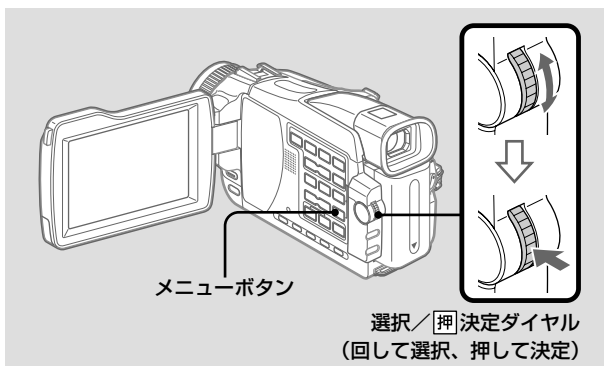
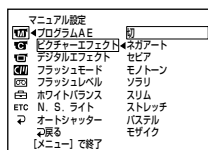
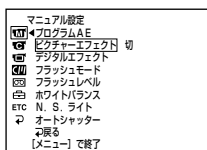
ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

パステル
→淡い色のパステル画のように

モザイク
→タイルを組み合わせたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクト中は
以下の操作ができません。
– オールドムービー
– バウンド
– テープ撮影中、撮影スタンバイ中の“メモリースティック”記録

電源スイッチを「カメラ」以外にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

1 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
メニューで M の項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、押して決定する。（167ページ）

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、希望のピクチャーエフェクトを選び、押して決定する。**

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

使いこなす―撮影―

特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル
あらかじめ取りこんだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取りこんだ静止画の明るい部分に、動画をはめこむ。

トレイル
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードを遅くする。暗いところで撮影しやすい。

オールドムービー
画面は横長、画像はセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

（スチル）

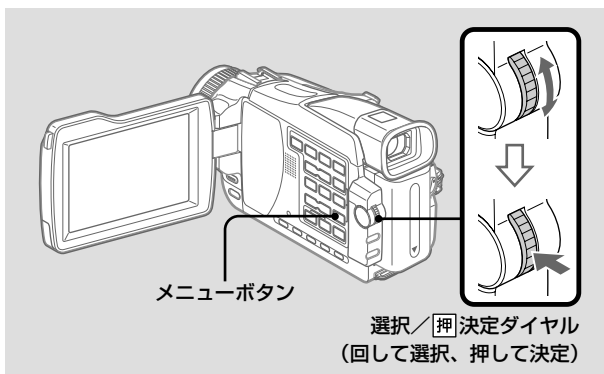
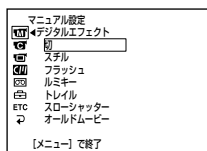
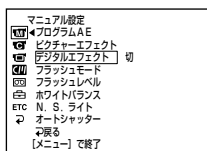
静止画　　動画

（ルミキー）

静止画　　動画

ご注意

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – フェーダー
  – SUPER NIGHTSHOT
  – COLOR SLOW SHUTTER
  – テープ撮影中、撮影スタンバイ中の“メモリースティック”記録
  – テープフォト撮影
- スローシャッターを選ぶとプログラムAEは使えません。
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTVモード
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

電源スイッチを「切（充電）」にすると
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

1 電源スイッチを「カメラ」にしたとき
メニューで の項目の「デジタルエフェクト」を選び、押して決定する。（167ページ）

スローシャッターでは
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

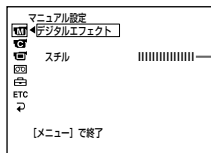
スローシャッターのシャッタースピードは

表示	シャッタースピード
スローシャッター1	1/30
スローシャッター2	1/15
スローシャッター3	1/8
スローシャッター4	1/4

❷ 選択／押決定ダイヤルを回して、希望のデジタルエフェクトを選び、押して決定する。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節し、押して決定する。

マニュアル設定
デジタルエフェクト
スチル
ETC
［メニュー］で終了

バー表示：大きくするほど効果が大きくなる。次のデジタルエフェクトを選択すると表示される。スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイル。

調節する内容は以下の通り。

スチル	撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。
フラッシュ	コマ送りの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取りこむ部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。
スローシャッター	シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。
オールドムービー	調節は必要ない。

デジタルエフェクトを解除する

メニューの「デジタルエフェクト」で「切」を選ぶ。

撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライト
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ビーチ&スキー
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ソフトポートレート
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

サンセット&ムーン
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

スポーツレッスン
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

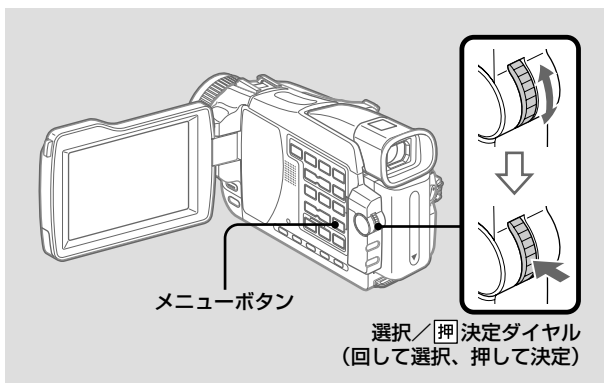
フウケイ
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

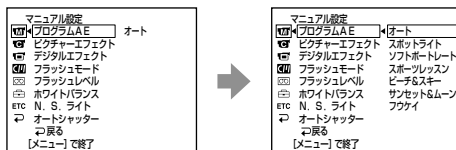
ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライト
  – スポーツレッスン
  – ビーチ＆スキー
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーン
  – フウケイ
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – COLOR SLOW SHUTTER
  – スローシャッター
  – オールドムービー
  – バウンド
- 電源スイッチを「メモリー」にしたとき、スポーツレッスンの操作ができません。（表示が点滅します）
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているとき、プログラムAEは使えません。（表示が点滅します）

ホワイトバランスを「オート」にしているときは
プログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。

プログラムAEで撮影中でも
明るさを調節できます。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレート
– スポーツレッスン

1 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき

メニューでMの項目の「プログラムAE」を選び、押して決定する。（167ページ）

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、希望のプログラムAEを選び、押して決定する。**

プログラムAEを解除する

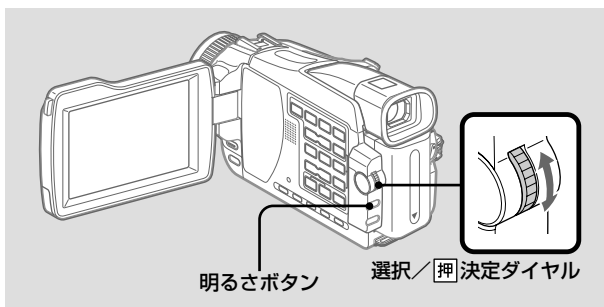
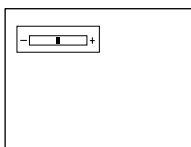
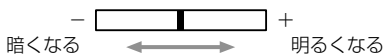
メニューの「プログラムAE」で「オート」を選ぶ。

手動で画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。通常は、自動的に明るさの調節が行われています。

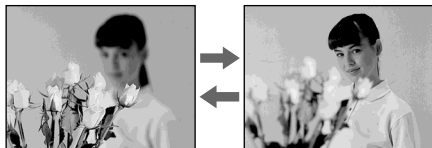
- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき

明るさ調節中は以下の操作ができません。
– COLOR SLOW SHUTTER
– 逆光補正

以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります。
- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき
明るさボタンを押す。
明るさ表示が出る。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

明るさボタンを押す。

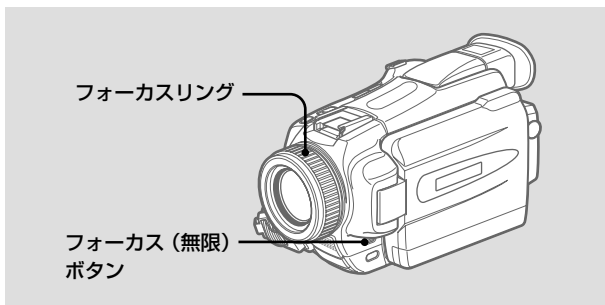
手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。通常は自動的にピントの調節が行われています。

- 自動ではピントが合いにくいとき
  - 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  - 被写体が横縞だけのもののとき
  - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、静止した被写体のピントを固定して撮るとき

正確にピントを合わせるには
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、Ⓕが次のようなマークに変わります。

- ▲ 無限遠にあるとき。
- 👤 それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にしたとき
フォーカス（無限）ボタンを軽く1回押す。
手動ピント合わせ表示Ⓕが出る。

❷ **フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻す

フォーカス（無限）ボタンを軽く押して、表示を消す。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカス（無限）ボタンを深く押しこむとピントは無限遠になり、▲表示が出る。
指を離すとピント合わせが手動に戻る。
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

一定時間おきに撮る – インターバル録画

あらかじめ設定した時間ごとに、録画と録画停止を交互に行います。

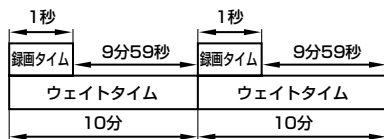
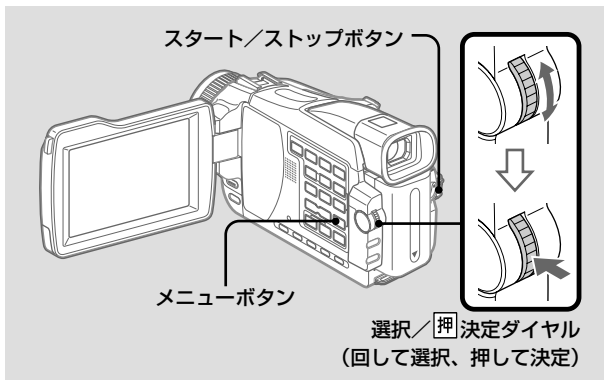
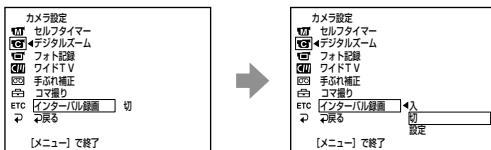
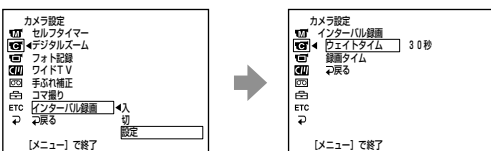
花の開花や、昆虫の羽化などの場面を時間をおいて撮影するとき。

例

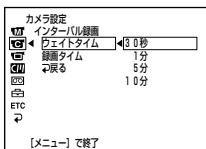
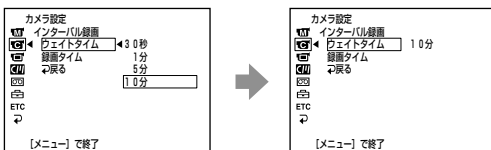
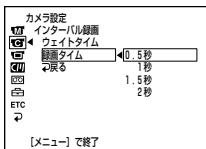
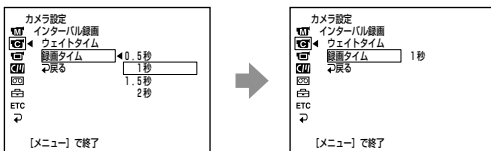
「ウェイトタイム」10分、「録画タイム」1秒を選んだ場合（約10分ごとに、約1秒録画されます。）

1秒 / 録画タイム / 9分59秒 / 1秒 / 録画タイム / 9分59秒

ウェイトタイム / ウェイトタイム

10分 / 10分

電源スイッチを「メモリー」にすると
インターバル録画は使えません。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューでⒸの項目の「インターバル録画」を選び、押して決定する。（168ページ）

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して「設定」を選び、押して決定する。**

録画タイムは
最大±6フレーム程度の誤差が出ることがあります。

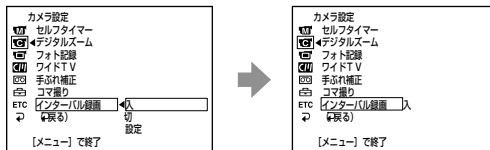
❸ 「ウェイトタイム」と「録画タイム」を設定する。

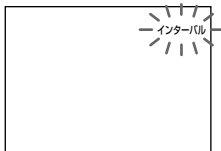
1 選択／押決定ダイヤルを回して「ウェイトタイム」を選び、押して決定する。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、希望のウェイトタイムを選び、押して決定する。

3 選択／押決定ダイヤルを回して「録画タイム」を選び、押して決定する。

4 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の録画タイムを選び、押して決定する。

5 選択／押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、押して決定する。

使いこなす―撮影―

次のページへつづく

録画タイム中にスタート／ストップボタンを押すと
インターバル録画が停止します。再開するには手順6を行ってください。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して「インターバル録画」を「入」にし、押して決定する。

❺ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

インターバル表示が点滅する。

❻ スタート／ストップボタンを押す。

インターバル録画が始まる。
インターバル録画中は、インターバル表示が点灯する。

インターバル録画を解除する

次のいずれかの操作を行います。

- メニューの「インターバル録画」で「切」を選ぶ。
- 電源スイッチを「カメラ」以外にする。

ウェイトタイム中に通常の録画をする

録画タイム以外のウェイトタイム中にスタート／ストップボタンを押すと、インターバル表示が点滅し、一回だけ通常の録画ができます。
インターバル録画を再開するには、録画を終了させ、もう一度スタート／ストップボタンを押す。インターバル表示は点滅から点灯に変わり、インターバル録画の録画タイムに入る。

アニメーションのように撮る – コマ撮り

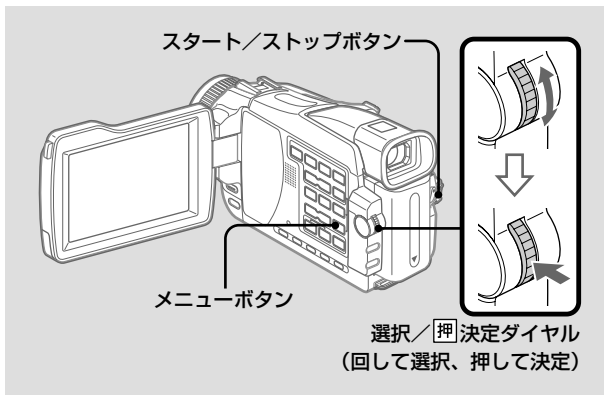
人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをすると、アニメーションのような効果を出せます。

本機を固定し、手順4以降をリモコンで操作することをおすすめします。

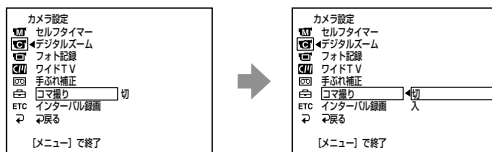
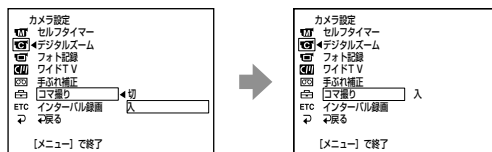
ご注意

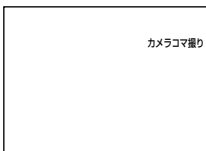
コマ撮りを連続して行うと、テープ残量表示は正しく表示されません。

電源スイッチを「メモリー」にすると
コマ撮りは使えません。

コマ撮りをすると
最終カットは通常の1コマよりも長くなります。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューで の項目の「コマ撮り」を選び、押して決定する。（168ページ）

2 **選択／押決定ダイヤルを回して「入」を選び、押して決定する。**

次のページへつづく

❸ **メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。**

カメラコマ撮り表示が点灯する。

❹ **スタート／ストップボタンを押す。**

1コマ（約6フレーム）分の撮影が行われ、撮影スタンバイに戻る。

❺ **被写体を動かし、手順4を繰り返す。**

コマ撮りを解除するには

次のいずれかの操作を行います。

- メニューの「コマ撮り」で「切」を選ぶ。
- 電源スイッチを「カメラ」以外にする。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

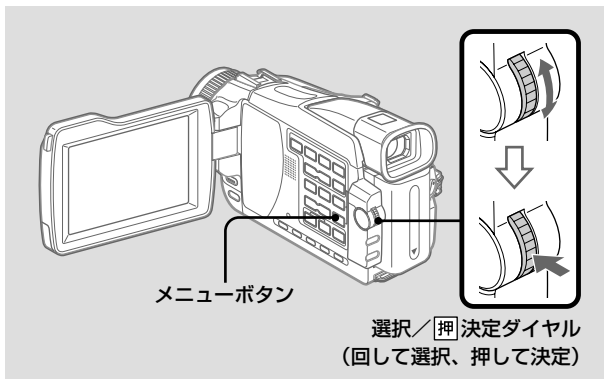
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

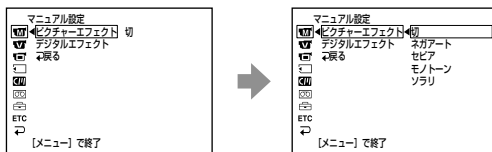
再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像を録画するには、“メモリースティック”に取りこむか（105、114ページ）本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は
DV入力／出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

1 ［再生中］または［再生一時停止中］に

メニューでMの項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、押して決定する。（167ページ）

2 選択／押決定ダイヤルを回して、希望のピクチャーエフェクトを選び、押して決定する。

各ピクチャーエフェクトについて詳しくは41ページをご覧ください。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

使いこなすー再生ー

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像を録画するには、"メモリースティック" に取りこむか（105、114ページ）、本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は

- i DV入力／出力端子からは出力されません。
- 再生ズームはできません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止するとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。

1 ［再生中］または［再生一時停止中］に
メニューで の項目の「デジタルエフェクト」を選び、押して決定する。（167ページ）

2 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、希望のデジタルエフェクトを選び、押して決定する。**
スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

3 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、効果を調節し、押して決定する。**
各デジタルエフェクトについて詳しくは42ページをご覧ください。

デジタルエフェクトを解除する

メニューの「デジタルエフェクト」で「切」を選ぶ。

撮影した画像を拡大する – テープ再生ズーム

テープに記録した動画や静止画を拡大できます。

本機では“メモリースティック”に記録した静止画も拡大できます。（129ページ）

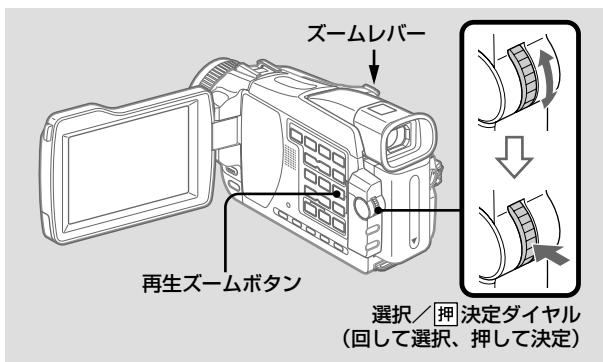
ご注意

- 外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。
- 再生ズームを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。
- 再生ズームを加えた画像は、本機の“メモリースティック”に動画として取りこむことはできません。

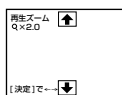
再生ズームを加えた画像は

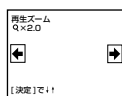
- i DV入力／出力端子から出力されません。
- ψ（USB）端子から出力されません。

再生ズーム中に以下の操作をすると再生ズームは自動的に解除されます。

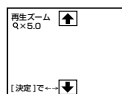
– 電源スイッチを「切（充電）」にする。
– 再生を停止する。
– メニューボタンを押す。
– “メモリースティック”を入れる。

1 ［再生中］または［再生一時停止中］に
再生ズームボタンを押す。

画像の中心部が約2倍に拡大され、画像を移動させる方向の↑ ↓が表示される。

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、画像を上下に動かし、押して決定する。**

↑：画像が下に移動する
↓：画像が上に移動する

3 **選択／押決定ダイヤルを回して、画像を左右に動かし、押して決定する。**

→：画像が左に移動する
（ダイヤルを上へ回す）
←：画像が右に移動する
（ダイヤルを下へ回す）

4 **ズームレバーで倍率を変える。**

ズームは約1.1倍から5倍までの間で選べます。

再生ズーム
Q×5.0
[決定]で←→

W：倍率を低くする

T：倍率を高くする

再生ズームを解除する

再生ズームボタンを押す。

使いこなすー再生ー

見たい場面にすばやく戻す – ゼロセットメモリー

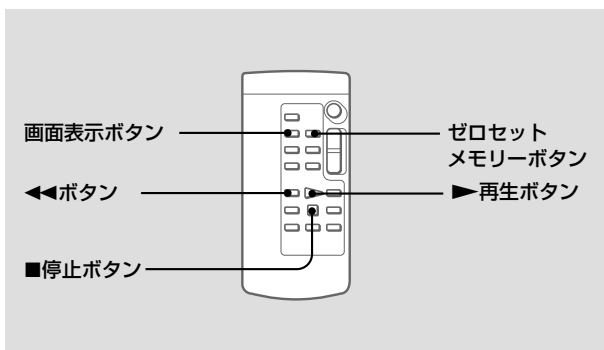
テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。
リモコンも使います。

再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったとき

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう一度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。

テープの途中に無記録部分があると
ゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

❶ [再生中] に
画面表示ボタンを押す。

❷ **後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。**

テープカウンター値が「0:00:00」になり、カウントを始める。

ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら■停止ボタンを押す。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **▶再生ボタンを押す。**

テープカウンター値が「0:00:00」の場面からもう一度再生される。

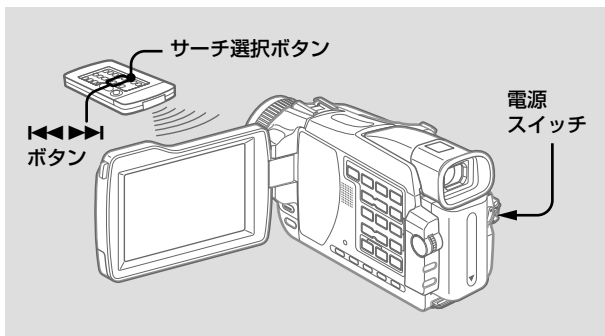
タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます。リモコンも使います。

タイトルを入れた場面を探したいとき

カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

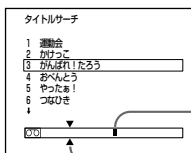
タイトルを入れるには
86ページをご覧ください。

メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。

タイトルサーチ画面が出る。

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。リモコンも使います。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するとき

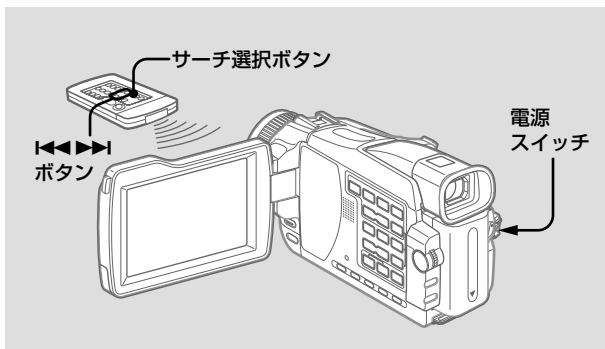
■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

テープの途中に無記録部分があると
日付サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは6つまでです。日付データが7つ以上あるときは、「カセットメモリーを使わずに頭出しする」（59ページ）の手順で検索してください。

カセットメモリーを使って頭出しする

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

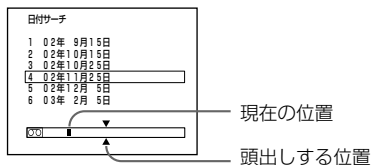
❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

日付サーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

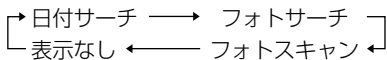
カセットメモリーを使わずに頭出しする

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューでの項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（171ページ）

❸ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

→ 日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → 表示なし →

❹ リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、⏮ボタンを、日付を進めるときは、⏭ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す – フォトサーチ／フォトスキャン

テープフォト撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。
また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。

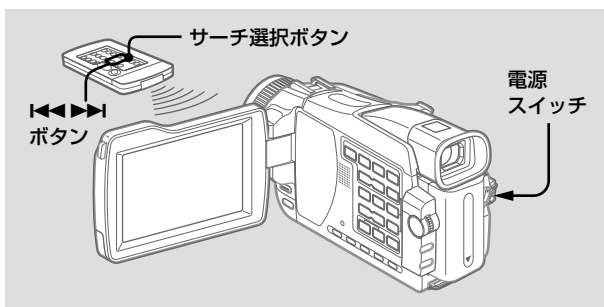
リモコンも使います。

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するとき

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

テープの途中に無記録部分があると
フォトサーチ／フォトスキャンが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

カセットメモリーを使って静止画を探す
－フォトサーチ

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

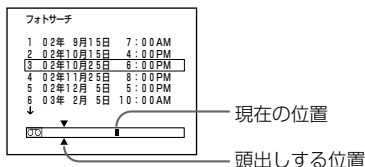
❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

フォトサーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし

3 リモコンの⏮またはボ⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画が出る。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

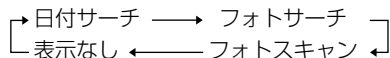
カセットメモリーを使わずに静止画を探す ーフォトサーチ

1 電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 メニューで[CM]の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。(171ページ)

3 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

→日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → 表示なし →（日付サーチへ戻る）

4 リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

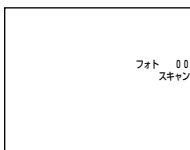
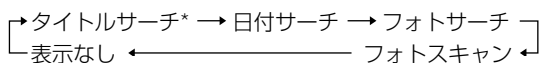
静止画を次々に出して探す－フォトスキャン

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトスキャン」を選ぶ。

フォトスキャン画面が出る。

次の順で変わります。

タイトルサーチ* → 日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → 表示なし → タイトルサーチ*

* メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にした時のみ、表示されます。

❸ リモコンの⏮ または⏭ボタンを押す。

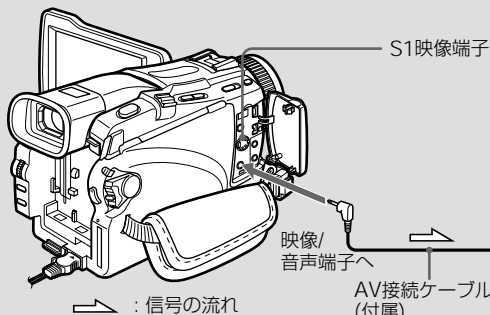
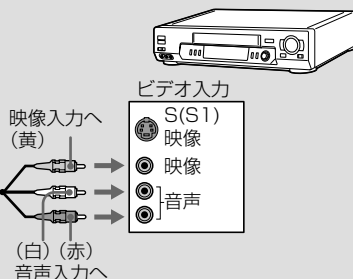
静止画が順に5秒ずつ表示される。

フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画・編集できます。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。

8, Hi8, VHS, VHS C, S VHS, S VHS C, β, ED Beta, Mini DV, DV, D8, MICROMV

録画機の音声入力がひとつ(モノラル)の場合

AV接続ケーブル（付属）の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色のプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

- メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 画面表示ボタン、リモコンのデータコードボタン／サーチ選択ボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングするとテープに記録されます。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

ビデオ入力端子にAV接続ケーブルをつなぐ。
入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

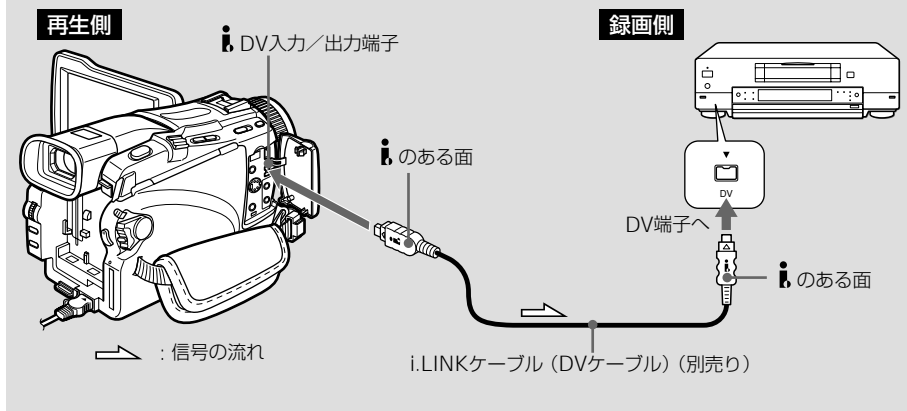
❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎダビング編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容、“メモリースティック”のインデックス画面の文字はダビングできません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです
i.LINKについて詳しくは、189ページをご覧ください。

「ピクチャーエフェクト」「デジタルエフェクト」「再生ズーム」を加えた画像は
DV入力／出力端子からは出力されません。

再生一時停止にしている画像は
DV入力／出力端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

1 カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

4 本機で再生する。

5 録画機で録画を始める。

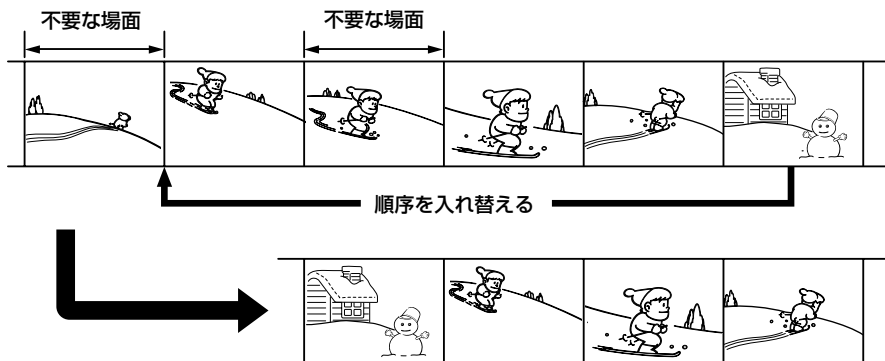
ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

必要な場面を選びダビングする
– デジタルプログラムエディット（他機のテープへ）

録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、録画機を操作せずに他機のテープに簡単にダビングできます。
場面はフレーム単位で選べます。
最大20プログラムまで設定できます。

本機の"メモリースティック"にもダビングできます。詳しくは116ページをご覧ください。

ご注意

- i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したとき、録画機の機種により正しく操作できない場合があります。本機の「コントロール選択」を「リモコン」に設定してください。
- 他機のテープへのデジタルプログラムエディットの操作信号は、LANC端子では送信できません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

他機のテープへのデジタルプログラムエディットには、次の準備が必要です

準備1： 録画機をつなぐ（65ページ）
準備2： 録画機を操作するための設定をする
– AV接続ケーブルでつなぐ（66ページ）
– i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ（69ページ）
準備3： 録画機のタイミングを補正する（71ページ）
上記の準備を一度行った録画機を使用する場合は準備2、3は不要です。

操作は以下の順で行います

操作1： プログラムをつくる（73ページ）
操作2： プログラムを実行する（ダビングする）（76ページ）

準備1 録画機をつなぐ

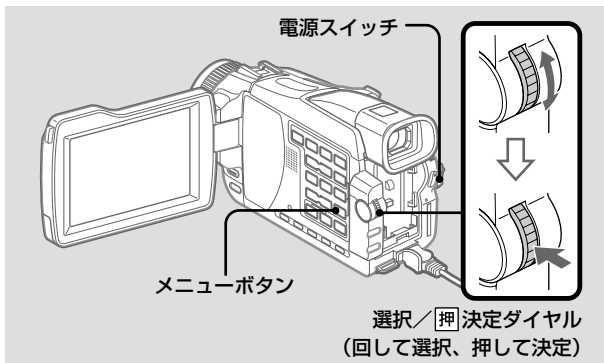
AV接続ケーブル、i.LINKケーブル（DVケーブル）どちらでも接続できます。AV接続ケーブルの場合は63ページ、i.LINKケーブル（DVケーブル）の場合は64ページの図のように接続します。

リモコンコードについて
本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの機器のリモコンコードを設定してください。お買い上げ時、本機は「3」に設定されています。

メーカー	リモコンコード
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キヤノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、56、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
ＮＥＣ	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	83
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90、98
東芝	39、40、68
ユピテル	47

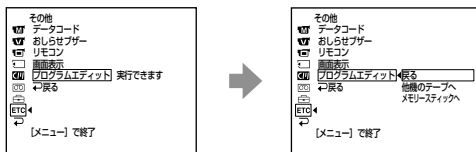
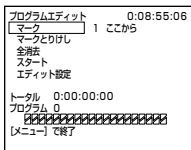
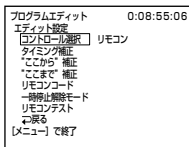
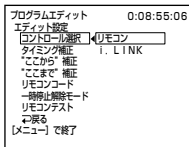
リモコンコードが対応していない機種は、デジタルプログラムエディットはできません。

準備2 録画機を操作するための設定をする ー AV接続ケーブルでつなぐ

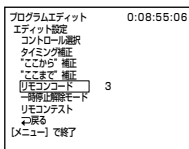
AV接続ケーブルで接続したときは、本機の赤外線発光部から録画機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。
正しく信号を送るために、以下の設定（❶～❹）を行ってください。

❶ リモコンコードを設定する。

1 **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

2 **録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。**
録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 **メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選び、押して決定する。**（174ページ）

4 **選択／押決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。**

5 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。**

6 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。**

7 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「リモコン」を選び、押して決定する。**

8 **選択／[押]決定ダイヤルを回して、「リモコンコード」を選んだのち、録画機のリモコンコード（番号）を選び、押して決定する。**

「リモコンコードについて」（66ページ）を参照する。

録画一時停止解除モードについて

お使いの録画機で録画一時停止を解除し、録画を始めるときに押すボタンを下記よりお選びください。（ボタンの種類は録画機により異なります。）

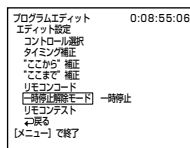
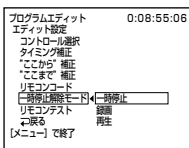
それぞれのボタンに合った録画一時停止解除モードを設定してください。

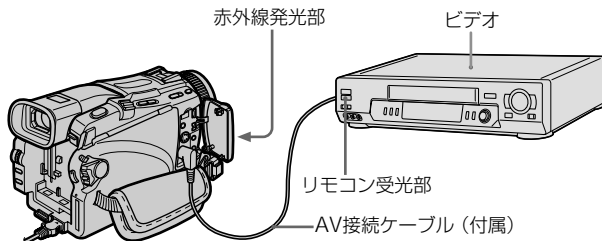
録画機のボタン	録画一時停止解除モード
❚❚（一時停止）	「一時停止」
●（録画）	「録画」
►（再生）	「再生」

❷ 録画機の録画一時停止解除モードを設定する。

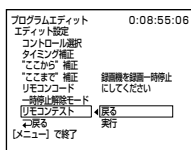
選択／[押]決定ダイヤルを回して、「一時停止解除モード」を選んだのち、録画機の録画一時停止解除モードを選び、押して決定する。

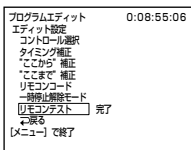
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

次のページへつづく

❸ 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm離し、間に障害物等がない状態にする。

❹ 録画機が正しく動作するか確認する。

1 **録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。**

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。
終了すると本機の表示は「完了」に変わる。

録画機が正しく動作しないときは

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコンコード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cmまで離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと
タイトル、画面表示はダビングできません。

準備2 録画機を操作するための設定をする ーi.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したときはこの設定を行います。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 録画機の電源を入れ、入力切換を「DV入力」にする。

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選び、押して決定する。（174ページ）

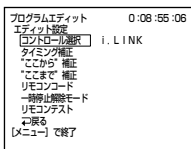
編集するーダビングなどー

次のページへつづく

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して、「i.LINK」を選び、押して決定する。

ご注意

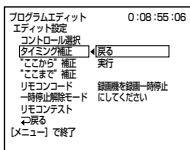
- タイミング補正用の画像が約50秒間録画されます。
- テープの頭から記録すると、始めの部分が切れることがあります。10秒ほどテープを送ってから記録してください。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）接続で録画機の操作がうまく行えないときは、接続はそのままで、AV接続ケーブルでの設定（66ページ）を行ってください。映像／音声はデジタル信号で送られます。

準備3 録画機のタイミングを補正する

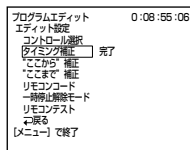
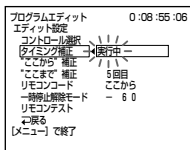
筆記具をご用意ください。
本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。
本機のテープを取り出しておいてください。

1 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは、録画一時停止にする必要はありません。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、「タイミング補正」を選び、押して決定する。

3 選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

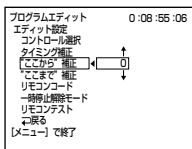
録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った画像が録画される。

終了すると本機の表示は「実行中」の点滅から「完了」の点灯に変わる。

4 録画機のカセットを巻き戻し、スロー再生する。

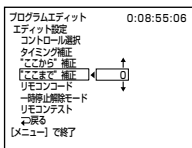
5回分の「ここから」のカウンター数値と「ここまで」のカウンター数値が表示される。これらのカウンター数値の中から、各回ごとに「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値をメモする。

次のページへつづく

❺ 「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、「"ここから" 補正」を選び、押して決定する。

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して、「ここから」の平均値の数値を選び、押して決定する。

録画開始のタイミングが補正される。

❽ 選択／押決定ダイヤルを回して、「"ここまで" 補正」を選び、押して決定する。

❾ 選択／押決定ダイヤルを回して、「ここまで」の平均値の数値を選び、押して決定する。

録画停止のタイミングが補正される。

❿ 選択／押決定ダイヤルを回して、「戻る」を選び、押して決定する。

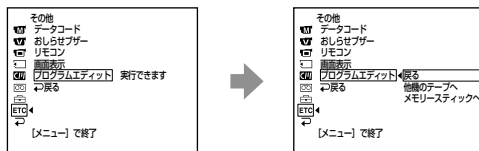
ご注意

デジタルプログラムエディット操作中は録画することはできません。

テープの無記録部分には
「ここから」「ここまで」の設定はできません。

「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があると
タイムコードが正しく表示されません。

操作1 プログラムをつくる

❶ 本機に再生するカセットを入れ、録画機に録画するカセットを入れる。

❷ メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選び、押して決定する。

❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。

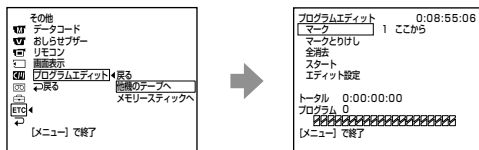
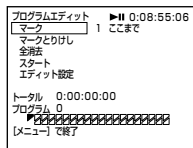
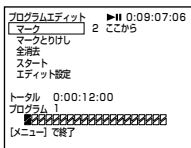
❹ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。

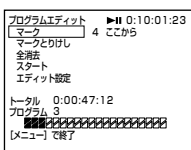
エディットサーチボタンで微調整できます。

❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「マーク」を選び、押して決定する。

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

❻ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。

次のページへつづく

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して、「マーク」を選び、押して決定する。

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

❽ 手順4〜7を繰り返し、プログラムを設定する。

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。
最大20プログラムまで設定できます。

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

1. **選択／押決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。**

2. **選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

   最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り消されます。

消去を中止する

手順2で「戻る」を選ぶ。

プログラムの全消去

1. **選択／押決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選択したのち、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。**

2. **選択／押決定ダイヤルを回して「全消去」を選択したのち、「実行」を選び、押して決定する。**

   設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り消されます。

全消去を中止する

手順2で「戻る」を選ぶ。

プログラムを中止する

メニューボタンを押す。

設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

操作2 プログラムを実行する（ダビングする）

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。（i.LINKケーブル（DVケーブル）での接続のときは不要です。）
録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❶ 選択／押決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選択したのち、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。

❷ 選択／押決定ダイヤルを回して、「スタート」を選択したのち、「実行」を選び、押して決定する。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。

本機には、サーチ中は「サーチ中」、録画中は「エディット中」が表示される。

ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に変わる。

ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する

ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

デジタルプログラムエディットを終了する

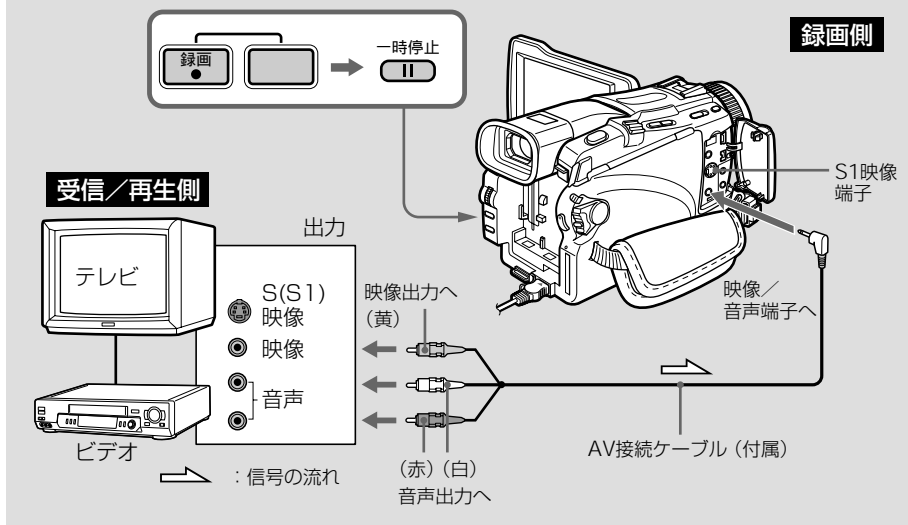
ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。
メニューボタンを押し、表示を消す。

以下の場合には、録画機で録画できません
- テープが終わりになっている。
- カセットが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。（「リモコン」に設定したとき）
- 録画一時停止解除モードがまちがっている。（「リモコン」に設定したとき）

以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません
- プログラムが未設定
- i.LINKケーブル（DVケーブル）を接続していない。（「i.LINK」に設定したとき）
- 接続している録画機の電源が入っていない。（「i.LINK」に設定したとき）

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、再生側のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色のプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：ビデオから録画するときは、録画済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

編集する―ダビングなど―

次のページへつづく

❹ **再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。**

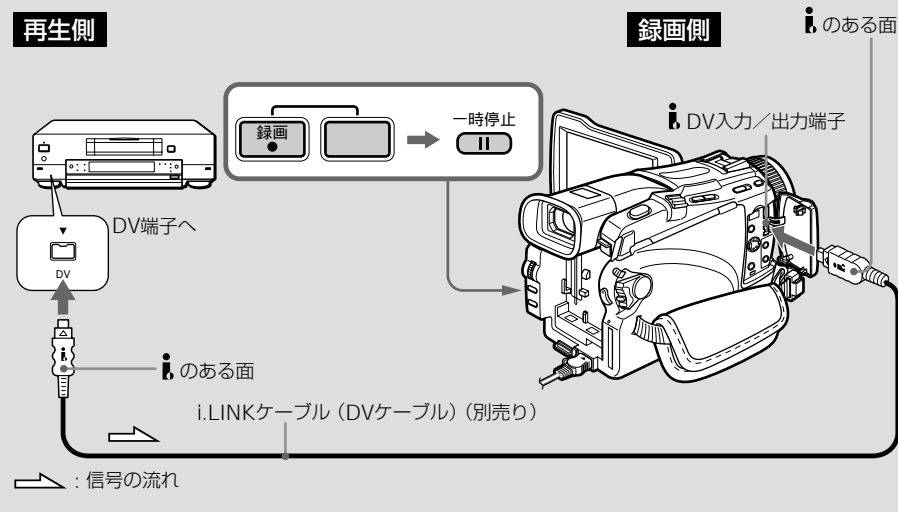
ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに映る。

❺ **録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。**

ダビングが終わったら

本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎ、本機で録画･編集ができます。
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです。

デジタルダビング編集中は
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

再生一時停止にしている画像は
DV入力／出力端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

録画を始める前に
画面表示ボタンを押して、「DV入力」の表示が出ることを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：録画済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにII一時停止ボタンを押す。

編集する―ダビングなど―

次のページへつづく

❹ 再生側のビデオを再生する。

DV機器の画像が液晶画面またはファインダーに映る。

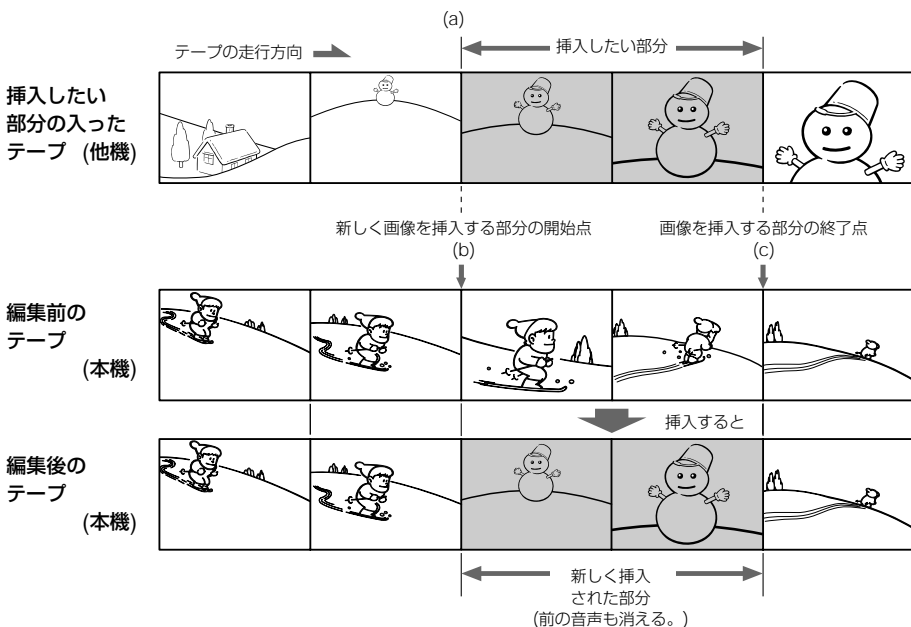
❺ 録画したい場面でⅡ一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

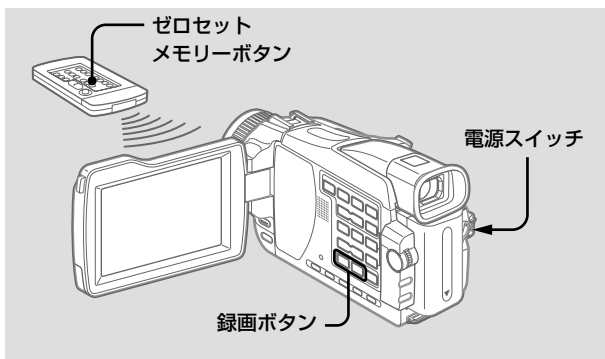
撮影したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。
リモコンも使います。

77ページまたは79ページの接続と準備をし、挿入したい部分の入ったテープを他機に入れておきます。

ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

他のビデオで録画したテープに挿入すると
画質や音質が劣化することがあります。本機で録画されたテープに挿入することをおすすめします。

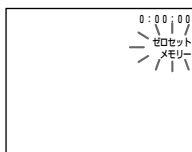
新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

次のページへつづく

終了点を設定せずに録画するときは
手順3、4をとばします。
終了したいところで本機の■停止ボタンを押します。

❷ **他機（再生側）で、挿入したい部分（a）の少し前で、再生一時停止状態にする。**

❸ **本機で、挿入部分の終了点（c）を探し、再生一時停止状態にする。**

❹ **リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。**

「ゼロセットメモリー」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。

❺ **本機で、挿入部分の開始点（b）を探し、録画一時停止状態にする。**

録画ボタンを2つ同時に押す。

❻ **他機（再生側）の❚❚一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機の❚❚一時停止ボタンを押す。**

本機の挿入部分に、新たに他機（再生側）の映像と音声が記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

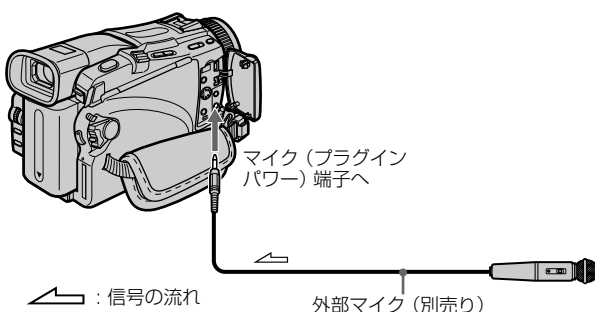
終了点の位置を変える

手順5の後でリモコンのゼロセットメモリーボタンをもう一度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

記録済みテープに音声を追加する – アフレコ

12BITの音声モードで記録されたテープの指定した部分に、音声を追加できます。撮影時の音声は消えません。

次のいずれかで、音声を録音してください。

別売りの外部マイクをマイク端子につなぐ

AV接続ケーブルでテレビなどとつないで画像と音声を確認することができます。アフレコする音声はスピーカーから出力されません。テレビかヘッドホンで確認してください。

別売りの外部マイクをインテリジェントアクセサリーシューにつなぐ

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- i DV入力／出力端子からはアフレコできません。
- テープの無記録部分にはアフレコできません。

すべての接続をすると

追加する音声は、以下の順番で優先されて録音されます。
- マイク（プラグインパワー）端子
- インテリジェントアクセサリーシュー
- 映像／音声端子
- 内蔵マイク

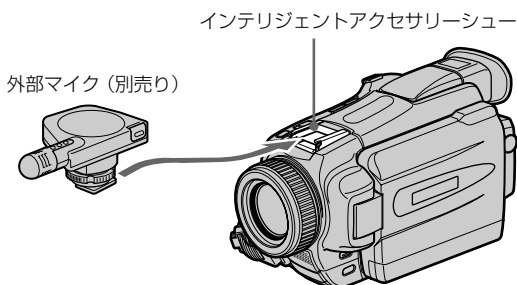
i.LINKケーブル（DVケーブル）が接続されていると

アフレコできません。

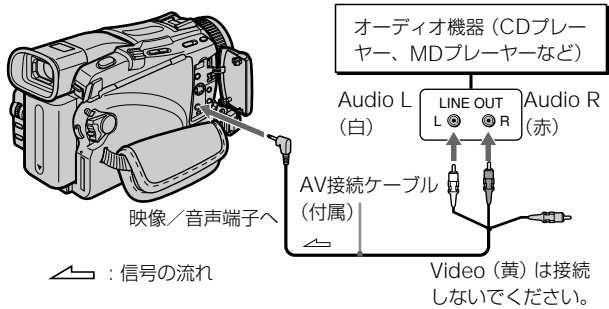
本機で録画されたテープに

アフレコすることをおすすめします。
他のビデオで録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

誤消去防止状態のカセットでは

アフレコできません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

ご注意

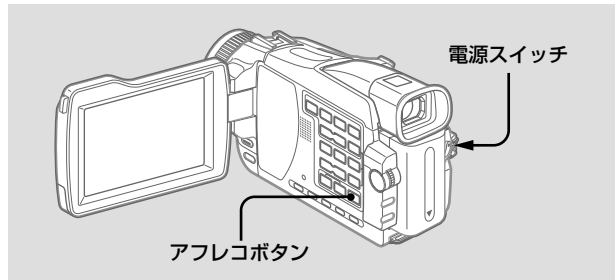
映像／音声端子または内蔵マイクでアフレコするときは、S1映像端子、映像／音声端子から映像は出力されません。画像は液晶画面またはファインダーで確認してください。アフレコする音声はヘッドホンで確認してください。

映像／音声端子にオーディオ機器などをつなぐ

内蔵マイクを使う

接続は不要です。

アフレコする

より正確にアフレコするには
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコを始めると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

上記のいずれかの接続をして、次の操作をします。

❶ **本機に録画済みカセットを入れる。**

❷ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❸ **アフレコの開始点を決める。**

►再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところで❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ **アフレコボタンを押す。**

緑色の⊖❚❚マークが出る。

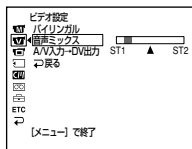
❺ **❚❚一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。**

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録する。
アフレコ中は画面上に赤色の⊖マークが出る。

❻ **アフレコを終了したいところで■停止ボタンを押す。**

アフレコした音声を聞く

❶ **アフレコしたテープを再生する。**

❷ **メニューで[VTR]の項目の「音声ミックス」を選び、押して決定する。（169ページ）**

❸ **選択／[押]決定ダイヤルを回して、撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整して、押して決定する。**

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音声が出る設定に戻ります。

タイトルを入れる

カセットメモリー付きカセットを使うと、タイトルを入れることができます。再生すると、タイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

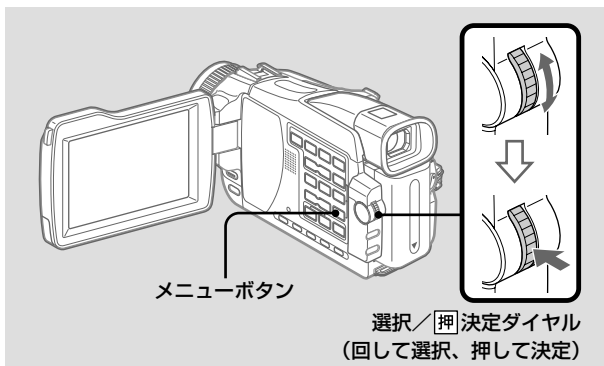
オリジナルタイトルを入れるときは
手順2で「[T]」を選びます。

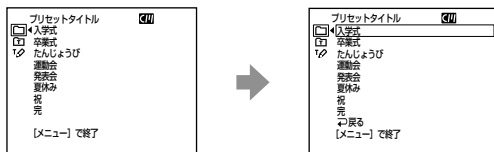
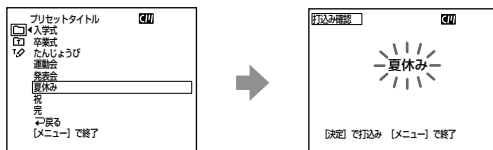
テープの無記録部分には
タイトルを入れられません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルが正しく表示されないことがあります。

本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのMini DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

タイトルがたくさん打ちこまれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

タイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。（171ページ）

1 ［撮影スタンバイ中］、［撮影中］、［再生中］または［再生一時停止中］に
メニューで[CM]の項目の「タイトル」を選び、押して決定する。

2 **選択／押 決定ダイヤルを回して、[□]を選び、押して決定する。**

3 **選択／押 決定ダイヤルを回して、入れたいタイトルを選び、押して決定する。**
タイトルが点滅する。

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ⟷きいろ⟷むらさき⟷あか⟷みずいろ⟷みどり⟷あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい⟷おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズ決定後、「ちいさい」サイズに戻ります。
- 「位置設定」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

1つのカセットに記憶できるタイトルは

平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ／フォトデータ／カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。

- 日付データ　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル　1つ

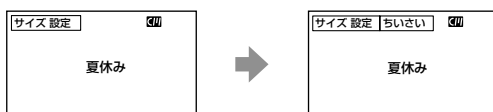
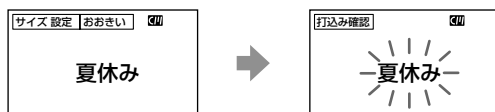
カセットメモリーの容量がいっぱいのときは

「カセットメモリーがいっぱいです」のお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

❹ 色、サイズ、位置を選択する。

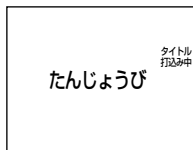
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

1 選択／押決定ダイヤルを回して、「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。

選べる項目が出る。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❺ タイトルを確認し、選択／押決定ダイヤルを押して決定する。

[再生中]、[再生一時停止中] または [撮影中] のとき

[打込み中] の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

[撮影スタンバイ中] のとき

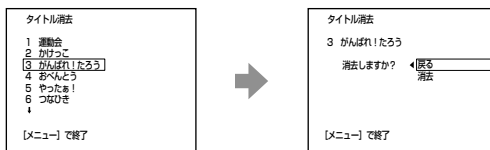
[打込みよやく] の表示が出る。スタート／ストップボタンを押して撮影を始めると同時に [打込み中] の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

タイトルを消す

❶ **電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。**

❷ **メニューでの項目の「タイトル消去」を選び、押して決定する。（171ページ）**

❸ **選択／押決定ダイヤルを回して、消したいタイトルを選び、押して決定する。**

「消去しますか？」の表示が出る。

❹ **消去するタイトルを確認し、選択／押決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。**

「消去」が「消去します」の表示にかわる。

❺ **選択／押決定ダイヤルを回して、「消去します」を選び、押して決定する。**

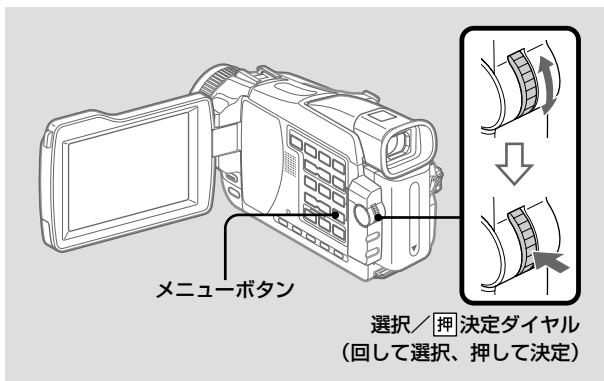
「消去中」の表示が点滅する。
消去されると、「完了」と表示される。

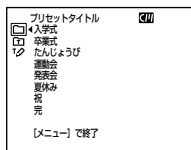
タイトルの消去を中止する

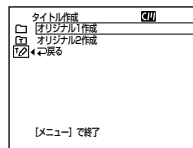
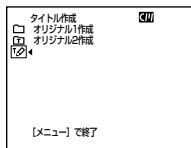
手順4または5で「戻る」を選ぶ。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類まで本機に記憶できます。

撮影スタンバイ中で、タイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切（充電）」にして、はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときは電源スイッチを「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

1 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。

2 メニューで▣の項目の「タイトル」を選び、押して決定する。（171ページ）

3 選択／押決定ダイヤルを回して、▣を選び、押して決定する。

編集する―ダビングなど―

オリジナルタイトルを作る（つづき）

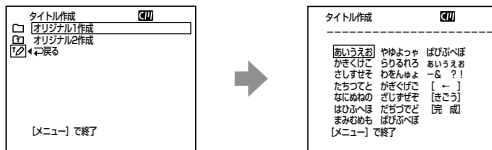
［きごう］を選ぶと
アルファベットと記号が選べます。［かな］を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

文字を消すとき
［←］を選ぶと一番後ろの文字が消えます。

空白をいれたいときは
［ー&　？！］の文字列の、空白部分を選んでください。

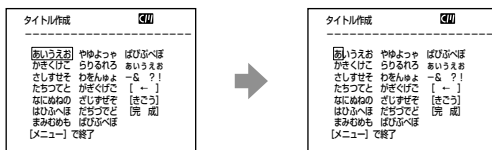
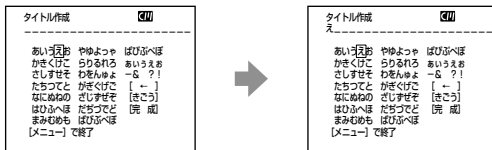
---

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、押して決定する。

---

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。

---

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。

---

❼ 手順5、6を繰り返して希望のタイトルを作る。

---

❽ 選択／押決定ダイヤルを回して、［完成］を選び、押して決定する。

タイトルが記憶される。

---

❾ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

作成したタイトルを変更する

手順4で、変更したいオリジナルタイトルを選び、選択／押決定ダイヤルを押す。［←］を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

カセットに名前を付ける – カセットラベル

カセットメモリー付きカセットには、10文字までの名前を付けることができます。

名前を付けたカセットを入れ、電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にすると、付けた名前が自動的に約5秒間表示されます。

誤消去防止状態のカセットでは
カセットに名前をつけられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

タイトルがたくさん打ちこまれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でカセットに名前をつけられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

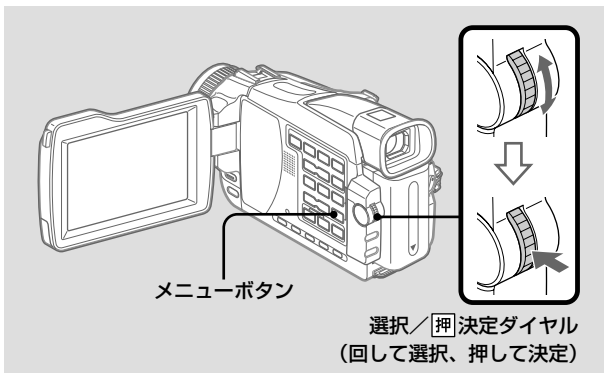
タイトルが入れてあると
カセットの名前が表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

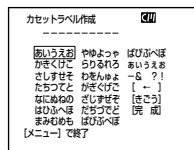
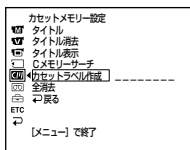
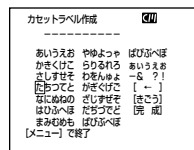
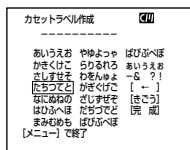
[きごう]を選ぶと
アルファベットと記号が選べます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

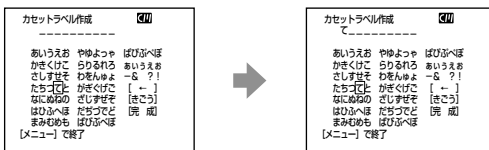
文字を消すとき
[←] を選ぶと、一番後ろの文字が消えます。

空白をいれたいときは
［−&　？！］の文字列の、空白部分を選んでください。

❶ **名前を付けたいカセットを入れる。**

❷ **電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。**

❸ **メニューでCMの項目の「カセットラベル作成」を選び、押して決定する。（171ページ）**
カセットラベル作成画面が出る。

❹ **選択／押決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。**

次のページへつづく

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。

❻ 手順4、5を繰り返して希望のカセットラベルを作る。

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して、［完成］を選び、押して決定する。

カセットラベルが記憶される。

❽ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

作成したカセットラベルを消す

手順4で［←］を選んで消す。

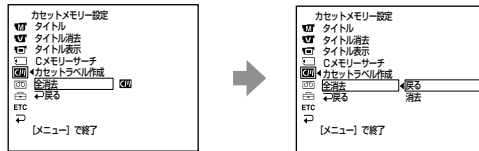
作成したカセットラベルを変更する

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

カセットメモリーのデータを全て消去する

カセットメモリーに保存されている全てのデータを一度に消去することができます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。

❷ メニューでの項目の「全消去」を選び、押して決定する。（171ページ）

❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示にかわる。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「消去します」を選び、押して決定する。

「消去中」の表示が点滅する。
消去されると「完了」と表示される。

消去を中止する

手順4で「戻る」を選び決定する。

“メモリースティック”を使う – はじめに

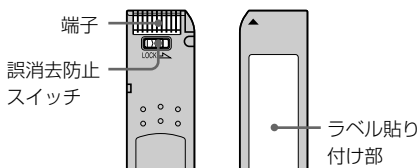
別売りの“メモリースティック”は、画像を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。

– 画像をテープから“メモリースティック”、“メモリースティック”からテープへ取りこむ。
– 別売りのパソコン接続キット等を使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
– 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

静止画の圧縮形式（JPEG）
本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

動画の圧縮形式（MPEG）
本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. mpg」です。

画像のデータファイル名
静止画の場合
– 本機の画面表示：100-0001
– パソコンの画面表示：Dsc00001.jpg
動画の場合
– 本機の画面表示：MOV00001
– パソコンの画面表示：Mov00001.mpg

“メモリースティック”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
- モデルによっては、誤消去防止スイッチの位置や形状が異なる場合があります。
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読みこみ中、書きこみ中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。

パソコンでフォーマット（初期化）した“メモリースティック”は

パソコン（Windows OS/Macintosh OS）でフォーマットした“メモリースティック”は、本機での動作を保証致しません。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rules for Camera File systems”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900, DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック”が本機で使えないときは、171ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。
  フォーマットすると“メモリースティック”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

- “Memory Stick”（“メモリースティック”）MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

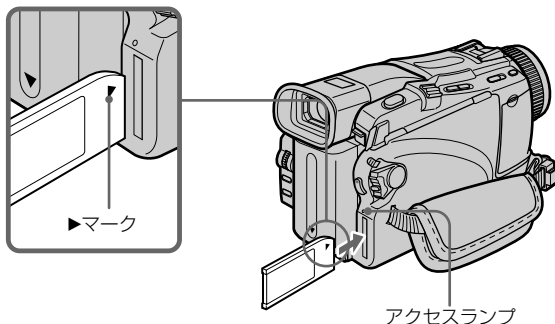
アクセスランプ点灯中および点滅中は

データの読みこみ、または書きこみを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”を取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

「メモリースティックエラー」と表示されたときは

“メモリースティック”を2、3度入れ直してください。それでも表示が出るときは、“メモリースティック”が壊れていることがあります。“メモリースティック”を交換してください。

“メモリースティック”を入れる

▶マークを図のようにして奥まで押し込む。

“メモリースティック”を取り出す

“メモリースティック”を軽く1回押して取り出す。

ご注意

画像によっては、画質を変えても、差がないことがあります。

画質モードの違いは
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は、画質と画像サイズにより、次のようになります。
（画像サイズは、メニューで1152×864、640×480から選ぶことができます。）

＜画像サイズが1152×864のとき＞

画質	メモリー容量
スーパーファイン	約600Kバイト
ファイン	約300Kバイト
スタンダード	約200Kバイト

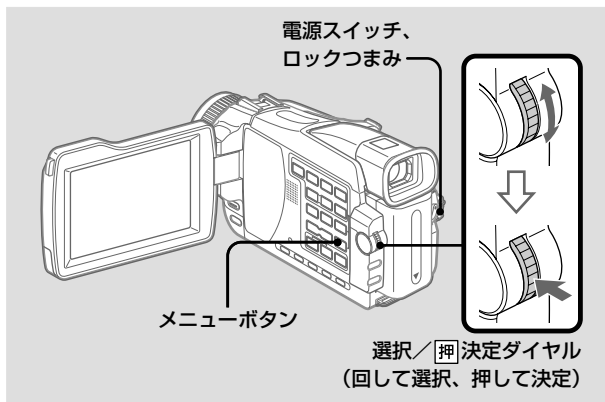
＜画像サイズが640×480のとき＞

画質	メモリー容量
スーパーファイン	約190Kバイト
ファイン	約100Kバイト
スタンダード	約60Kバイト

画質表示は
再生時は表示されません。

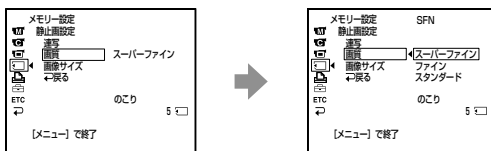
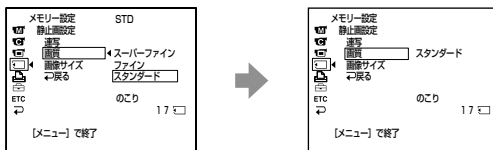
画質を選ぶと
画質に合った記録可能枚数が表示されます。

静止画の画質を選ぶ

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

❶ **電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ **メニューで□の項目の「静止画設定」を選び、押して決定する。（170ページ）**

❸ **選択／押決定ダイヤルを回して、「画質」を選び、押して決定する。**

❹ 選択／[押]決定ダイヤルを回して、希望の画質を選び、押して決定する。

画質について

設定	意味
スーパーファイン 表示：SFN	最も高画質で記録するときに使います。記録可能な静止画の数は、「ファイン」より減ります。約1/3に圧縮されます。
ファイン 表示：FINE	画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。
スタンダード 表示：STD	標準の画質です。約1/10に圧縮されます。

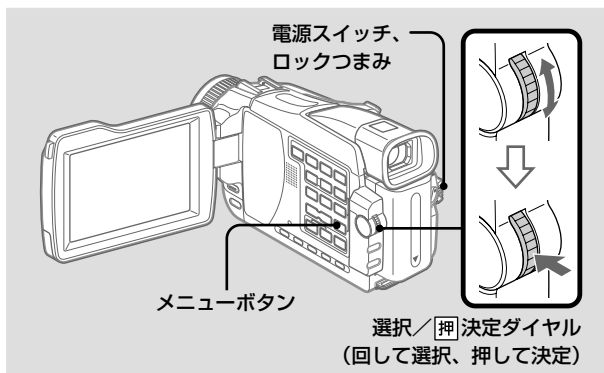
ご注意

本機で画像サイズ「1152×864」で記録した静止画ファイルを、「1152×864」の画像サイズのない他機で再生した場合、小さな画像が表示されることがあります。

画像サイズを選ぶ

記録時の画像サイズには2種類あります。

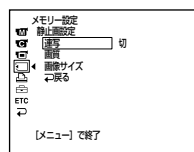
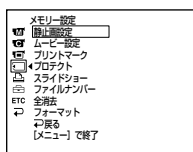
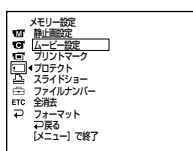
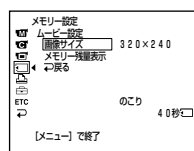
静止画：「1152×864」または「640×480」
（電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にしたときは、「640×480」のみになります。）
お買い上げ時は「1152×864」に設定されています。

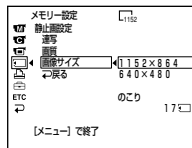
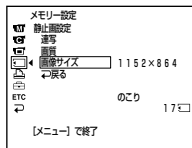
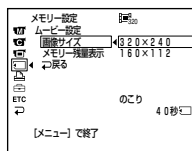
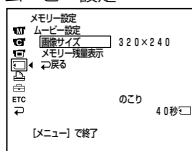
動画：「320×240」または「160×112」
お買い上げ時は「320×240」に設定されています。

1 **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

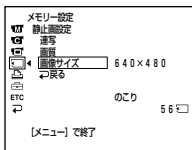
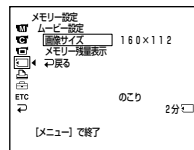
2 **メニューでの項目の「静止画設定」または「ムービー設定」を選び、押して決定する。（170ページ）**

静止画設定

または

ムービー設定

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、「画像サイズ」を選び、押して決定する。

静止画設定

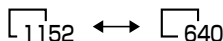
ムービー設定

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の画像サイズを選び、押して決定する。

静止画設定

ムービー設定

表示は次のように変わります。

静止画設定　　　　　　　　　ムービー設定

1152 ←→ 640　または　320 ←→ 160

画像サイズについて

設定	意味	表示
1152×864	静止画を1152×864サイズで記録する。	1152
640×480	静止画を640×480サイズで記録する。	640
320×240	動画を320×240サイズで記録する。	320
160×112	動画を160×112サイズで記録する。	160

1枚の "メモリースティック" に記録できる静止画枚数の目安

画質と画像サイズの設定および被写体の状況で撮影枚数が異なります。

画質	画像サイズ	"メモリースティック" 容量				
		8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
スーパーファイン	1152×864	約12枚	約25枚	約51枚	約100枚	約205枚
	640×480	約40枚	約80枚	約160枚	約325枚	約650枚
ファイン	1152×864	約25枚	約50枚	約100枚	約205枚	約415枚
	640×480	約80枚	約160枚	約325枚	約650枚	約1310枚
スタンダード	1152×864	約37枚	約74枚	約150枚	約300枚	約600枚
	640×480	約120枚	約240枚	約485枚	約980枚	約1970枚

（"メモリースティック" は別売り）

1枚の "メモリースティック" に記録できる動画の記録時間の目安

画像サイズの設定および被写体の状況で撮影時間が異なります。

画像サイズ	"メモリースティック" 容量				
	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
320×240	約1分20秒	約2分40秒	約5分20秒	約10分40秒	約21分20秒
160×112	約5分20秒	約10分40秒	約21分20秒	約42分40秒	約1時間25分20秒

（"メモリースティック" は別売り）

上の表の数字は、本機でフォーマットした "メモリースティック" に記録できる静止画の枚数と動画の記録時間です。

“メモリースティック”に静止画を撮る – メモリーフォト撮影

“メモリースティック”に静止画を記録できます。

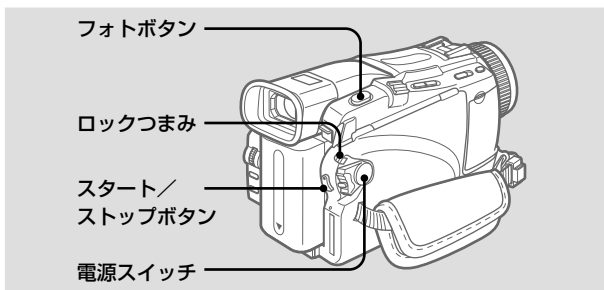
電源スイッチを「メモリー」にすると
以下の機能が使えません。
– ワイドTVモード
– デジタルズーム
– 手ぶれ補正
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– フェーダー
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト
– タイトル
– プログラムAEのスポーツレッスン（表示が点滅します）

静止画を記録中は
電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

手順2でフォトボタンを軽く押すと
画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

撮影日時／カメラデータは
画面には出ません。自動で“メモリースティック”上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと見ることができます。

電源スイッチを「メモリー」にして撮影すると
電源スイッチを「カメラ」にして撮影している時にくらべて画角が少し広くなります。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

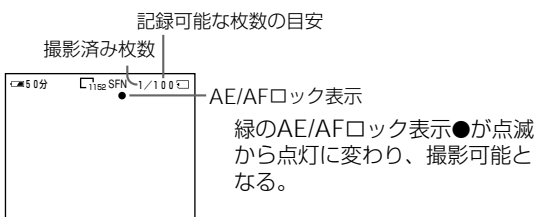
❷ フォトボタンを軽く押す。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になる。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

記録可能な枚数の目安

撮影済み枚数

AE/AFロック表示

緑のAE/AFロック表示●が点滅から点灯に変わり、撮影可能となる。

❸ フォトボタンを深く押す。

「カシャ」とシャッター音がして、画像が静止画になる。
バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録される。

撮影スタンバイ中またはテープ撮影中にも“メモリースティック”に静止画を撮ることができます
詳しくは33ページをご覧ください。

連写の枚数は
画像サイズと“メモリースティック”の残量によって変わることがあります。

連写をしているときは
フラッシュ（別売り）の発光はできません。

セルフタイマーまたはリモコンを使って撮影したときは
自動的に最大枚数まで連続して撮影します。

ブラケット撮影の効果
液晶画面上では効果が見えにくい場合があります。テレビモニターやパソコンの画面などで画像を確認することをおすすめします。

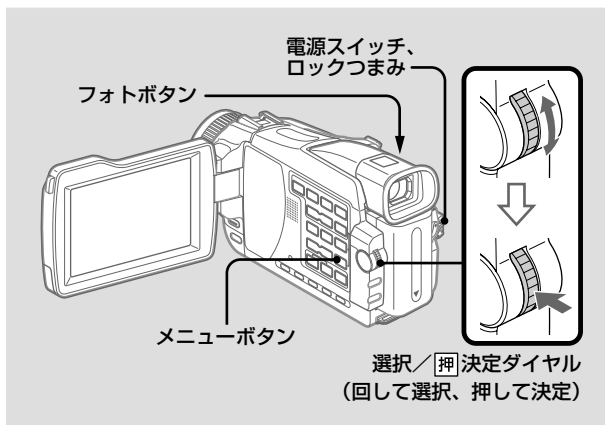
“メモリースティック”の残量が3枚より少ないと
ブラケット撮影はできません。フォトボタンを押すと「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示されます。

連続して撮る（連写）

あらかじめメニューで「連写」の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

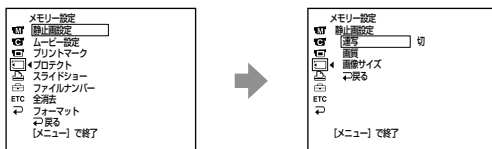
ノーマル連写
約0.5秒間隔で1152×864で4枚、640×480で13枚までの静止画を連続して撮影します。（□）

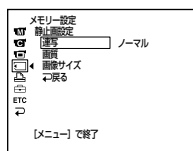
ブラケット撮影
約0.5秒間隔で自動で露出を変えて3枚の画像を連続して撮影します。（BRK）

マルチ画面連写
約0.4秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。このとき、静止画の画像サイズは640×480で記録されます。（⊞）

「ノーマル連写」では
フォトボタンを深く押している間、最大枚数まで連続して撮影します。ボタンを深く押すのをやめると、撮影は終わります。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メニューで□の項目の「静止画設定」を選び、押して決定する。（170ページ）

❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「連写」を選び、押して決定する。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、 希望の連写を選び、押して決定する。

❺ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

❻ フォトボタンを深く押す。

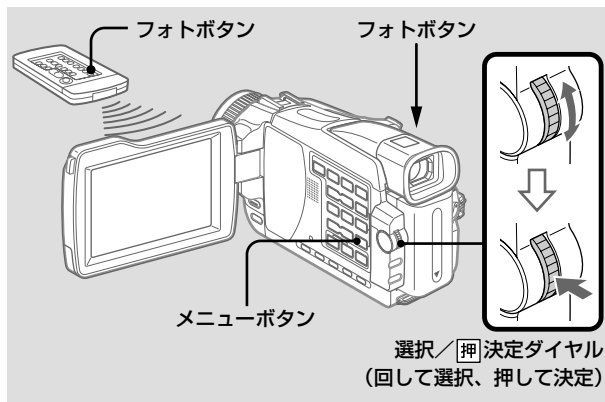
“メモリースティック” の容量がいっぱいになると

「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影ができません。

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーメモリーフォト撮影

セルフタイマーを使って “メモリースティック” に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

❶ **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ **メニューでの項目の「セルフタイマー」を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して、「入」を選び押して決定する。**

❹ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

（セルフタイマー表示）が出る。

❺ **フォトボタンを深く押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

セルフタイマーを止めるとき

メニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

テープの画像を静止画として取りこむ

テープに記録された画像を、“メモリースティック”に静止画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“メモリースティック”に静止画として記録できます。

静止画の画像サイズは
「640×480」になります。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”を取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

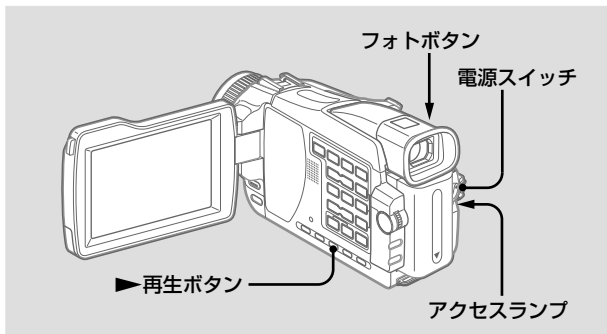
画面に「メモリースティックフォーマットエラー」と表示されたら
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“メモリースティック”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

再生中にフォトボタンを軽く押すと
テープは一時停止します。

テープに記録された音声は
記録できません。

タイトルは
記録できません。フォトボタンを押しこんで画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

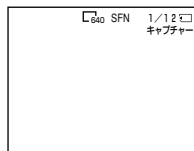
テープに記録されたデータコードは
“メモリースティック”には記録できません。
“メモリースティック”に取りこんだ時の撮影日時が記録されます。
カメラデータは記録できません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

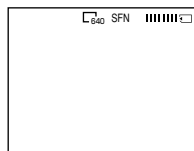
❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **►再生ボタンを押す。**

テープの画像が映る。

❸ **画像を取りこみたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。**

テープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出る。このとき記録はされません。

画像を選びなおすときは、フォトボタンを離してからもう一度軽く押す。

❹ **フォトボタンを深く押す。**

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録される。テープの画像は再生に戻る。

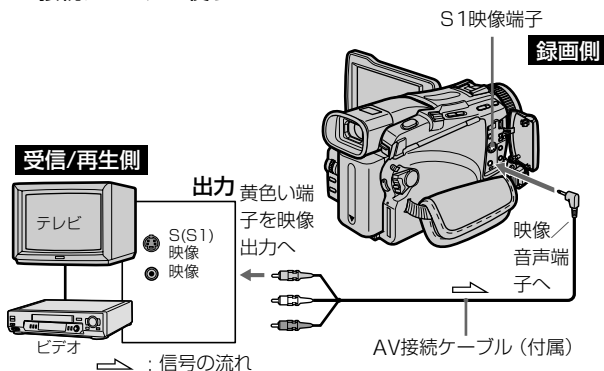
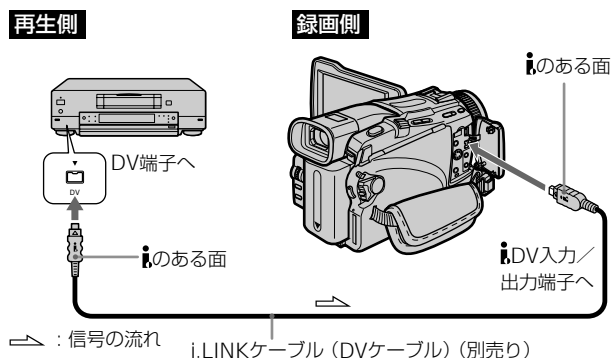
ご注意

次の場合、記録が途中で終了したり、"メモリースティック記録エラー"が表示されます。
- ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき

別売りのS映像ケーブルを使うと

再生画像がより忠実に再現されます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色のプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。

他機をつないで静止画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❸ 105ページの手順3〜4を行う。

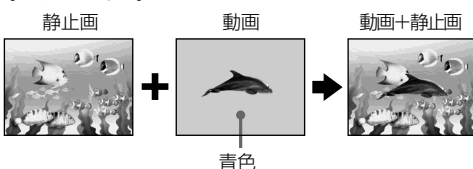
静止画を重ねて撮る – メモリーミックス

“メモリースティック”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。重ねた画像はテープまたは“メモリースティック”に記録できます。（“メモリースティック”には静止画のみ記録できます。）

M. クロマキー（メモリークロマキー）
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分のみを抜いて動画と重ねる。

M. ルミキー（メモリールミキー）
手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルを“メモリースティック”に入れておくと便利です。

C. クロマキー（カメラクロマキー）
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。(青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分のみを抜く。）

M. オーバーラップ*
（メモリーオーバーラップ）
“メモリースティック”に記録してある静止画から、カメラで撮影している動画にフェードインをする。
* テープにのみ記録できます。

“メモリースティック”を使う

ご注意

- MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。

パソコンで加工したり他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

重ねた画像をテープに記録するとき

- 記録用のテープを入れておいてください。
- 静止画が記録された“メモリースティック”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「カメラ」にする。

2 メモリーミックスボタンを押す。

最後に“メモリースティック”に記録した画像が画面の右下の小画面に出る。

3 メモリー －／＋ボタンを押して、重ねたい静止画を選ぶ。

－：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

4 選択／押決定ダイヤルを回して、 希望のモードを選ぶ。

次の順で変わります
M. クロマキー↔M. ルミキー↔C. クロマキー↔M. オーバーラップ

5 選択／押決定ダイヤルを押す。

静止画が動画と重なる。
M. オーバーラップを選んだときは、静止画と動画がオーバーラップし、スタンバイ状態になる。

M. オーバーラップを選ぶと
静止画やモードを選び直すことはできません。

撮影中は
モードを選び直すことはできません。

手順7でフォトボタンを深く押すと
テープに静止画を記録できます。
あらかじめメニューの「フォト記録」を「テープ」にしておいてください。（168ページ）

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

M. クロマキー	静止画の、青色部分のみの抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色部分のみの抜き具合。
M. オーバーラップ	調節の必要はありません。

バー表示を減らすほど効果が大きくなる。

❼ スタート／ストップボタンを押して撮影を始める。

静止画を選び直す

手順7の前でメモリー －／＋ボタンを押す。または、手順7の前で選択／押決定ダイヤルを押すと、手順4に戻る。（M. オーバーラップを除く）

モードを選び直す

手順7の前で選択／押決定ダイヤルを押す。手順4に戻る。
（M. オーバーラップを除く）

メモリーミックスを解除する

メモリーミックスボタンを押す。

ご注意

- MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。

パソコンで加工したり他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

重ねた画像を“メモリースティック”に静止画として記録するとき

静止画が記録された“メモリースティック”を入れておいてください。記録される画像サイズは640×480になります。

1 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 メモリーミックスボタンを押す。

最後に“メモリースティック”に記録した画像が画面の右下の小画面に出る。

静止画

3 メモリー −／＋ボタンを押して、重ねたい静止画を選ぶ。

−：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

4 選択／押決定ダイヤルを回して、希望のモードを選ぶ。

静止画

次の順で変わります
M. クロマキー↔M. ルミキー
↔C. クロマキー

5 選択／押決定ダイヤルを押す。

静止画が動画と重なる。

撮影中は
モードを選び直すことはできません。

“メモリースティック”にメモリーミックスするときは
プログラムAEは働きません。(表示が点滅します)

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

M. クロマキー	静止画の、青色の部分のみの抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色の部分のみの抜き具合。

バー表示を減らすほど効果が大きくなる。

❼ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録される。

静止画を選び直す

手順7の前でメモリー －／＋ボタンを押す。または、手順7の前で選択／押決定ダイヤルを押すと、手順4に戻る。

モードを選び直す

手順7の前で選択／押決定ダイヤルを押す。手順4に戻る。

メモリーミックスを解除する

メモリーミックスボタンを押す。

“メモリースティック”に動画を撮る – MPEGムービー撮影

“メモリースティック”に音声つきで動画を記録することができます。

“メモリースティック”の残量分、記録することができます。（MPEGムービーEX）

ご注意

音声はモノラルで記録されます。

電源スイッチを「メモリー」にすると

以下の機能が使えません。

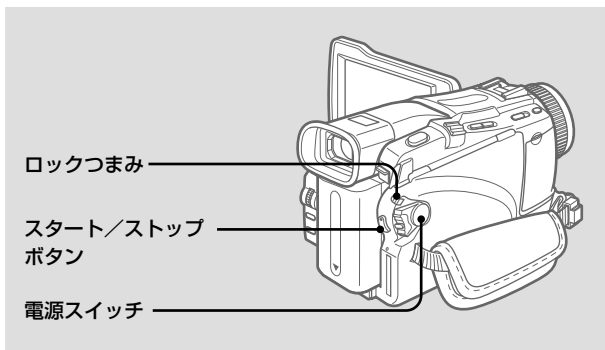
– ワイドTVモード
– デジタルズーム
– 手ぶれ補正
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– フェーダー
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト
– タイトル
– プログラムAEのスポーツレッスン（表示が点滅します）

撮影日時は

画面には出ません。自動で“メモリースティック”上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと見ることができます。カメラデータは記録できません。

撮影中は

カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中の動作音が記録されます。

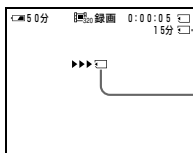
電源スイッチを「メモリー」にして撮影すると

電源スイッチを「カメラ」にして撮影している時にくらべて画角が少し広くなります。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ スタート／ストップボタンを押す。

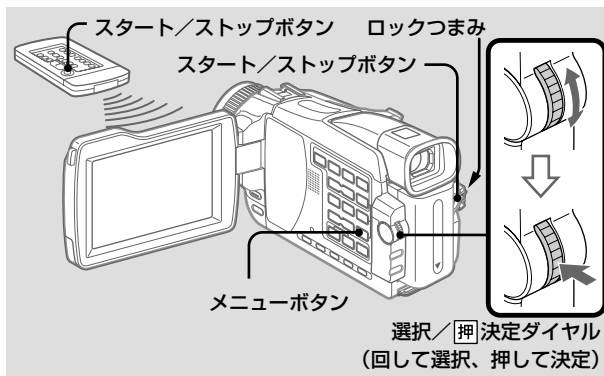
撮影が始まり、録画ランプが点灯する。
“メモリースティック”の残量分、画像と音声を記録します。記録時間について詳しくは100ページの表を参照してください。

撮影を中止する

スタート／ストップボタンを押す。

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーMPEGムービー撮影

セルフタイマーを使って“メモリースティック”に動画を記録できます。リモコンも使えます。

1 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 メニューでの項目の「セルフタイマー」を選び、押して決定する。

3 選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び押して決定する。

4 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

（セルフタイマー）表示が出る。

5 スタート／ストップボタンを押す。

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まる。

秒読みを停止するとき

スタート／ストップボタンを押す。再開するにはもう一度押す。

セルフタイマーを止めるとき

メニューの「セルフタイマー」で「切」を選ぶ。リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

テープの画像を動画として取りこむ

テープに記録された画像を、“メモリースティック”に動画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“メモリースティック”に動画として記録できます。

ご注意

- テープの音声が48KHzでも、32KHzに変換されて記録されます。
- ステレオで記録された音声はモノラルに変換されて記録されます。

アクセスランプ点灯中および点滅中は

本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”を取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

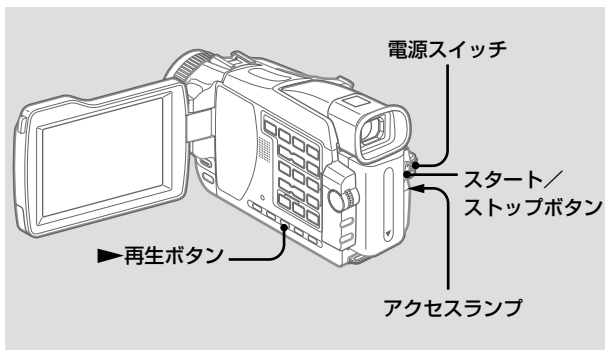
タイトルは

記録できません。スタート／ストップボタンを押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

テープに記録されたデータコードは

“メモリースティック”には記録できません。
“メモリースティック”に取りこんだ時の撮影日時が記録されます。カメラデータは記録できません。

「メモリースティック音声エラー」と表示されたときは

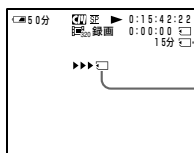
本機では取りこめない音声で記録されています。他機を再生機としてAV接続ケーブルを使って外部入力してください。（115ページ）

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

2 **►再生ボタンを押す。**

テープの画像が映る。
画像を取りこみたい部分の開始点で再生一時停止にする。

3 **スタート／ストップボタンを押す。**

“メモリースティック”の残量分、画像と音声を記録します。記録時間について詳しくは100ページの表を参照してください。

撮影を中止する

スタート／ストップボタンを押す。

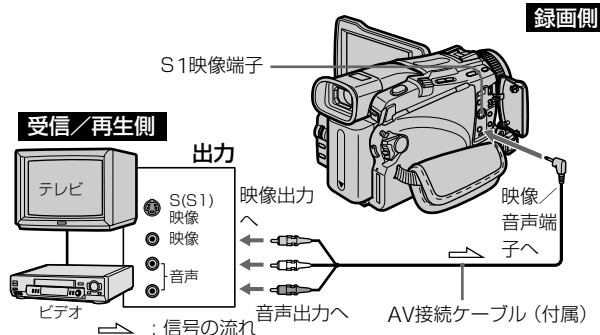
ご注意

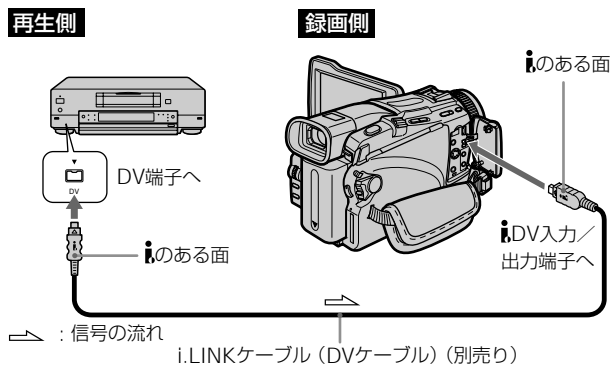
次の場合、記録が途中で終了したり、“メモリースティック記録エラー”が表示されて、記録ができません。
- ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき
- 入力信号が途絶えたとき

別売りのS映像ケーブルを使うと

再生画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色のプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオ、またはテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。

他機をつないで動画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

音声はモノラルで記録されます。

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。

（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビ番組を受信する。

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映る。

3 画像を取りこみたい部分の開始点で114ページの手順3を行う。

テープの画像を編集して取りこむ
– デジタルプログラムエディット（“メモリースティック”へ）

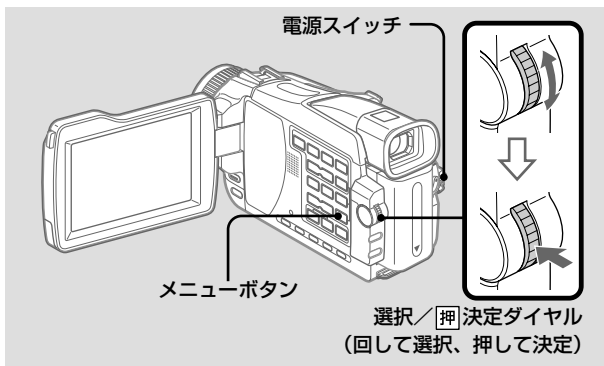
録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、“メモリースティック”に取りこむことができます。

ご注意

- タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。
- デジタルプログラムエディット操作中は録画することはできません。

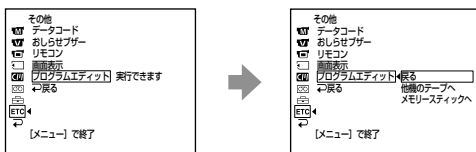
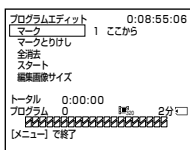
テープの無記録部分には
「ここから」「ここまで」の設定はできません。

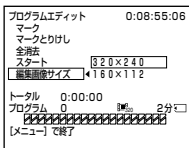
「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があると
トータルタイムが正しく表示されません。

プログラム作成中に
カセットを取り出すと「実行できません」と表示され、プログラムは消去されます。

プログラムをつくる

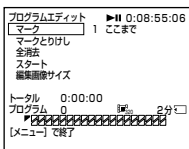
1 電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 本機に再生するカセットと録画する“メモリースティック”を入れる。

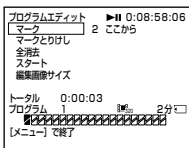
3 メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選び、押して決定する。（174ページ）

4 選択／押決定ダイヤルを回して、「メモリースティックへ」を選び、押して決定する。

❺ **選択／押決定ダイヤルを回して、「編集画像サイズ」を選び、押して決定する。**

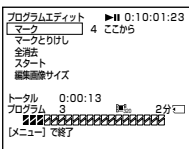
希望の画像サイズを選ぶ。

❻ **ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。**

エディットサーチボタンで微調整できます。

❼ **選択／押決定ダイヤルを回して、「マーク」を選び、押して決定する。**

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

❽ **ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。**

❾ **選択／押決定ダイヤルを押す。**

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

❿ **手順6〜9を繰り返し、プログラムを設定する。**

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。
最大20プログラムまで設定できます。

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

1 **選択／押決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。**

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り消されます。

消去を中止する

手順2で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムの全消去

1 **選択／押決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選択したのち、「メモリースティックへ」を選び、押して決定する。**

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、「全消去」を選択したのち、「実行」を選び、押して決定する。**

設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り消されます。

全消去を中止する

手順2で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムを中止する

メニューボタンを押す。
設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません

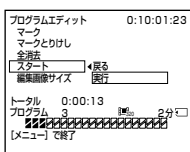
- プログラムが未設定
- “メモリースティック”が入っていない
- “メモリースティック”の誤消去防止つまみがLOCKになっている

“メモリースティック”の残量がたりないときは

「メモリースティックのメモリーがたりません」と表示されます。ただし、残量表示されている秒数までは、記録することができます。

プログラムを実行する（“メモリースティック”へダビングする）

❶ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選択したのち、「メモリースティックへ」を選び、押して決定する。

❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「スタート」を選択したのち、「実行」を選び、押して決定する。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。

本機には、サーチ中は「サーチ中」、本機に記憶中は「エディット中」、“メモリースティック”にダビング中は「記録中」が表示される。

ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に変わる。

ダビングが終わると自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する

ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

押したところまで“メモリースティック”に記録されます。

デジタルプログラムエディットを終了する

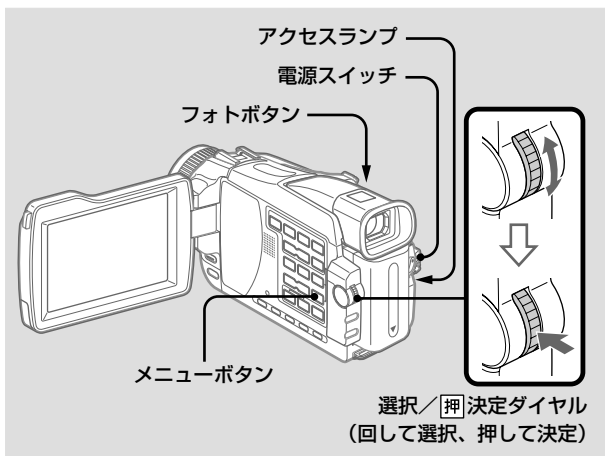
ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。
メニューボタンを押し、表示を消す。

テープの静止画を自動記録する – オートフォトコピー

サーチ機能を使って、テープに記録されている静止画のみを“メモリースティック”に順次取りこんで、記録できます。

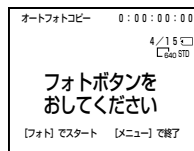
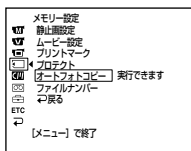
静止画の画像サイズは
「640×480」になります。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”を取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

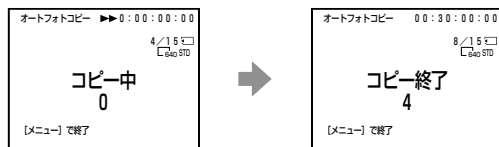
“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
「実行できません」と表示されます。

- 録画済みのテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューでの項目の「オートフォトコピー」を選び、押して決定する。（171ページ）

「フォトボタンをおしてください」と表示される。

途中で“メモリースティック”を入れかえると
前の“メモリースティック”に記録した画像データの続きの画像から記録し始めます。

❸ フォトボタンを深く押す。

テープの静止画が“メモリースティック”に記録される。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」と表示される。

コピーを中止する

メニューボタンまたは■停止ボタンを押す。

“メモリースティック”の容量がいっぱいになると

「メモリーフル」と表示され、コピーは終了します。
“メモリースティック”を入れ換え、もう一度手順2から操作してください。

静止画を見る – メモリーフォト再生

“メモリースティック”に記録してある静止画を見ることができます。

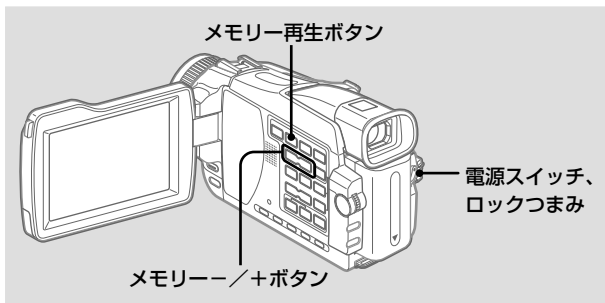
また、インデックス表示をすると、データファイル順に動画も含めた画像を6枚ずつ表示できます。

ご注意

次の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 撮影に使った機器以外で画像データを再生する場合

データファイル名について
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと、ディレクトリ番号は表示されず、ファイル名のみ表示される場合があります。
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと「メモリースティックディレクトリエラー」と表示されることがあります。このとき、再生は可能ですが、記録することはできません。
- データファイル名が点滅したときは、ファイルが壊れているか、本機で扱えないファイル形式です。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

“メモリースティック”内部に表示できる画像が1枚もないときは
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メモリー再生ボタンを押す。

最後に撮影した画像が出る。

❸ メモリー－／＋ボタンを押して、静止画を選ぶ。

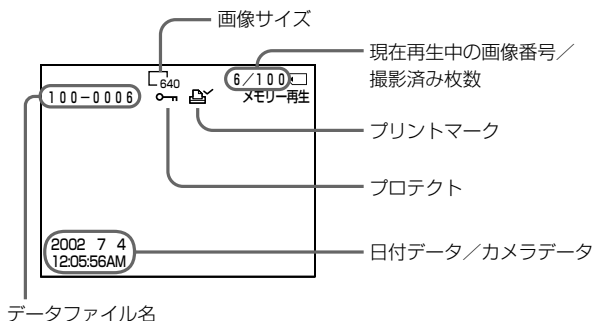
－：前の画像を見るとき

＋：次の画像を見るとき

メモリーフォト再生を止める

メモリー再生ボタンを押す。

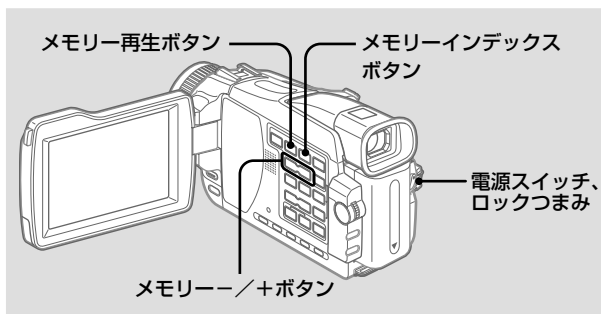
撮影日時／カメラデータは
リモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

静止画再生中の画面表示

ご注意

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、"メモリースティック"の記録順を示す番号です。データファイル名（94ページ）とは違いますのでご注意ください。

パソコンで加工したり他機で撮影した画像データは
インデックス表示ができない場合があります。

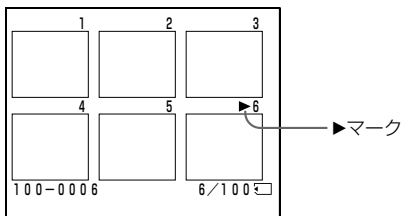
画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

1 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

"メモリースティック"を使う

❷ メモリーインデックスボタンを押す。

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。

−：前の6枚を見るとき

＋：次の6枚を見るとき

1枚の表示（シングル表示）に戻す

メモリー−／＋ボタンで▶マークを表示したい画像に移動し、メモリー再生ボタンを押す。

動画を見る – MPEGムービー再生

“メモリースティック”に記録した動画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に静止画も含めた画像を6枚ずつ表示することができます。

ご注意

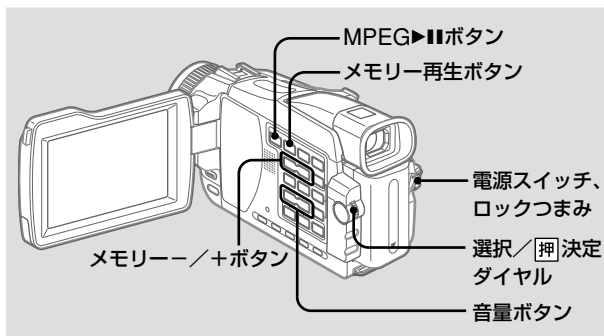
次の場合、正しく再生できないことがあります。

- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 撮影に使った機器以外で画像データを再生する場合

テレビで見るときは

- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

“メモリースティック”内部に表示できる画像が1枚もないときは

「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

❷ メモリー再生ボタンを押す。

最後に撮影した画像が出る。

❸ メモリー－／＋ボタンを押して、動画を選ぶ。

－：前の画像を見るとき

＋：次の画像を見るとき

❹ MPEG▶❚❚ボタン、または選択／押決定ダイヤルを押して、再生を始める。

❺ 音量ボタンを押して、音量を調節する。

－：小さくするとき

＋：大きくするとき

MPEGムービー再生を止める

MPEG▶❚❚ボタン、または選択／押決定ダイヤルを押す。

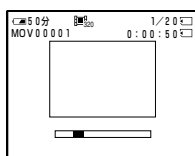
録画時間が短いと
23等分されない場合がありま す。

見たい場面から再生する

撮影した動画を23等分して、見たい場面から再生できます。

❶ 125ページの手順1～3を行う。

❷ 選択／押決定ダイヤルを回して、頭出ししたい場面を選ぶ。

↑：次の場面を見るとき
↓：前の場面を見るとき

選択／押決定ダイヤルを回すと、カウンター値と画像の下のバーが動きます。

❸ MPEG▶IIボタン、または選択／押決定ダイヤルを押して、再生を始める。

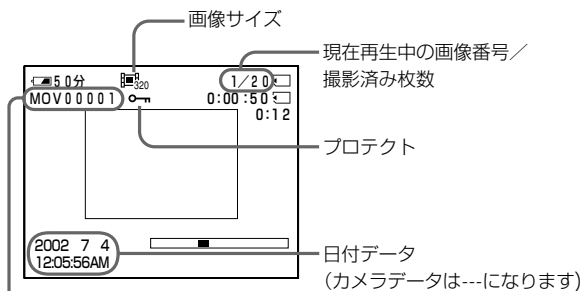
❹ 音量ボタンを押して、音量を調節する。

－：小さくするとき
＋：大きくするとき

MPEGムービー再生を止める

MPEG▶IIボタン、または選択／押決定ダイヤルを押す。

撮影日時は
リモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

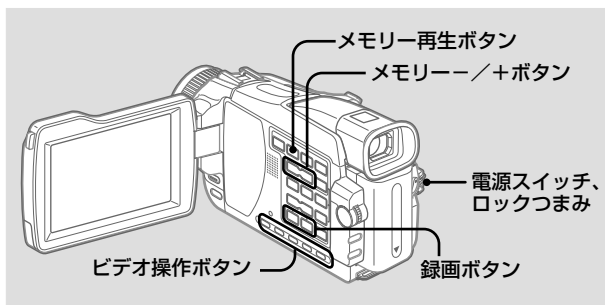
動画再生中の画面表示

“メモリースティック”に撮った画像をテープにダビングする

“メモリースティック”に記録した画像を
テープにダビングできます。

ダビング中は以下の操作ができません
– メモリー再生
– メモリーインデックス
– メモリー消去
– メモリー－／＋
– メモリーミックス

インデックス画面は
録画できません。

ダビング一時停止中にエディットサーチをすると
メモリー再生は停止します。

パソコンで加工したり他機で撮影した画像データは
ダビングできないことがあります。

• 記録用のテープを入れておいてください。
• あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ ビデオ操作ボタンを使って、画像をダビングしたい場所を探し、テープを再生一時停止にする。

❸ 録画ボタンを2つ同時に押し、録画一時停止にする。

❹ メモリー再生ボタンを押す。

最後に撮影した画像が出る。

次のページへつづく

録画中または録画スタンバイ中に画面表示ボタンを押すと
タイムコードなど、テープに関する表示以外に、メモリー再生表示、ファイル名表示も見ることができます。

動画をダビングするときは
手順6のあとにMPEG▶❚❚ボタン、または選択／押決定ダイヤルを押して、画像を再生してください。

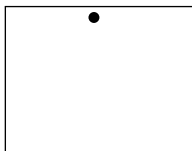
❺ **メモリー －／＋ボタンを押して、画像を選ぶ。**

－：前の画像を見るとき

＋：次の画像を見るとき

❻ **❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。**

録画中は●表示が出ます。

録画を止めたいところでもう一度❚❚一時停止ボタンを押す。

❼ **他にもダビングする場合は、手順5、6を繰り返す。**

ダビングを中止するときは

■停止ボタンを押す。

“メモリースティック”に撮った静止画を拡大する
– メモリー再生ズーム

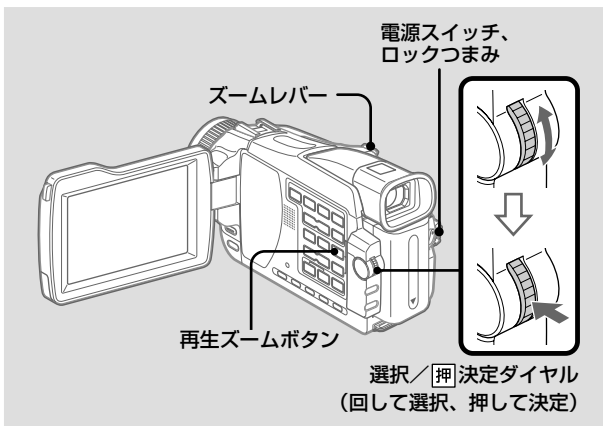
“メモリースティック”に記録した静止画を拡大して見ることができます。

拡大した静止画は見たい部分を選べ、本機のテープや“メモリースティック”にダビングできます。

再生ズーム中に以下のボタンを押すと解除されます。
- メニュー
- メモリー再生
- メモリーインデックス
- メモリー－／＋

MPEGムービーを撮影した画像は
再生ズームはできません。

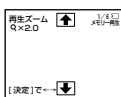
再生ズームした画像を“メモリースティック”に保存するには
フォトボタンを押すと、表示中の画像を保存することができます。（画像サイズは640×480になります。）

再生ズームした画像をテープに保存するには
127ページの手順に従って操作してください。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

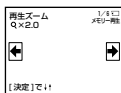
❷ ［メモリー再生中］に
再生ズームボタンを押す。

画像の中心部が約2倍に拡大され、画像を移動させる方向の↑ ↓が表示される。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、画像を上下に動かし、押して決定する。

再生ズーム ↑ 1／6 メモリー再生
Q×2.0
［決定］で←→↓

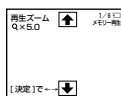
↑：画像が下に移動する
↓：画像が上に移動する

“メモリースティック”を使う

❹ **選択／押 決定ダイヤルを回して、画像を左右に動かし、押して決定する。**

→：画像が左に移動する（ダイヤルを上へ回す）

←：画像が右に移動する（ダイヤルを下へ回す）

❺ **ズームレバーで倍率を変える。**

ズームは約1.1倍から5倍までの間で選べます。

W：倍率を低くする

T：倍率を高くする

メモリー再生ズームを解除する。

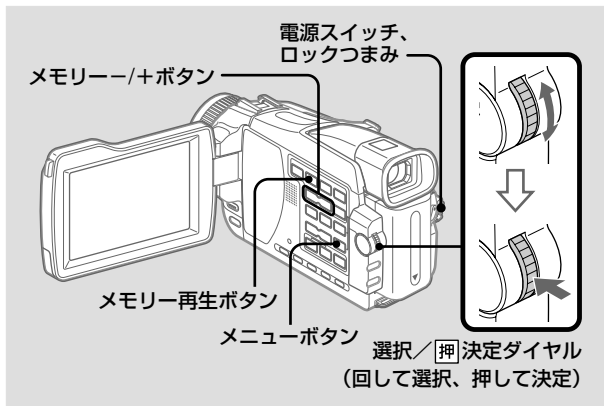
再生ズームボタンを押す。

画像を順番に自動再生する – スライドショー

画像を順番に自動再生します。

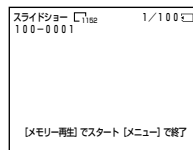
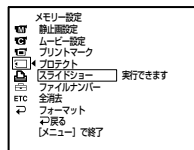
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでください。

設定中に“メモリースティック”を入れ換えると
スライドショーは動作しません。“メモリースティック”を入れ換えたら、始めから操作し直してください。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 メニューでの項目の「スライドショー」を選び、押して決定する。（170ページ）

3 メモリー再生ボタンを押す。

“メモリースティック”の画像が順番に再生される。

スライドショーを中止する

メニューボタンを押す。

スライドショーを一時停止する

メモリー再生ボタンを押す。

お好みの画像からスライドショーを始める

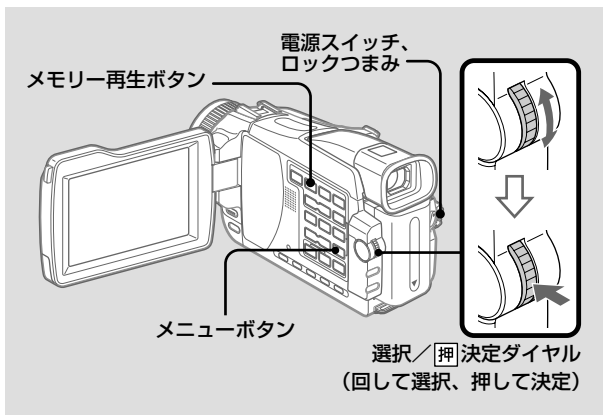
手順2の前にメモリー－／＋ボタンで最初の画像を選んでおく。

大事な画像を残す–プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

ご注意

画像にプロテクトがかかっていても“メモリースティック”をフォーマットすると“メモリースティック”の内容はすべて失われます。
フォーマットする前に内容を確認してください。

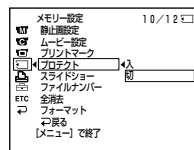
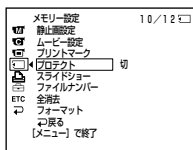
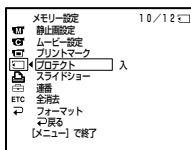
“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プロテクトは実行できません。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 プロテクトする画像を再生する。

3 メニューで の項目の「プロテクト」を選び、押して決定する。（170ページ）

（170ページ）

4 選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。

5 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

選択された画像にプロテクトがかかり、「⊶」マークが表示されます。

プロテクトを解除する

手順4で「切」を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。解除された画像からは、「⊶」マークが消える。

画像を消す – 消去

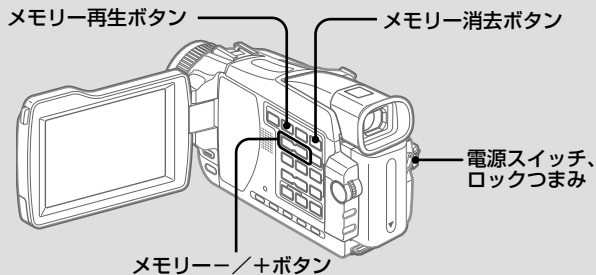
不要になった画像を消去できます。

撮影したすべての画像を消去したり、画像を選んで消去したりできます。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

“メモリースティック” の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
消去できません。

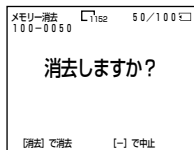
不要になった画像を消去する

あらかじめ “メモリースティック” を入れておいてください。

1 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 消去したい画像を再生する。

3 メモリー消去ボタンを押す。

「消去しますか？」の表示が出る。

4 もう一度メモリー消去ボタンを押す。

画像が消去される。

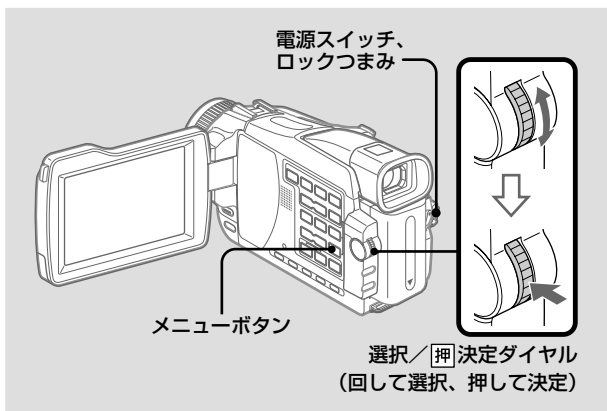
画像の消去を中止する

手順4でメモリー－ボタンを押す。

インデックス表示している画像を消す

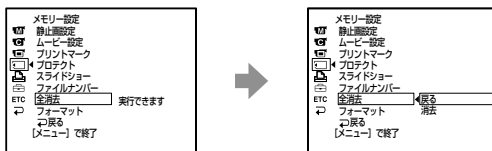
メモリー－／＋ボタンで▶マークを表示したい画像に移動してから、手順3と4を行ってください。

すべての画像を消去する

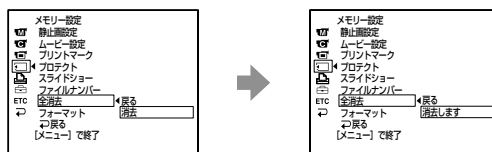
プロテクトのかかっていない画像をすべて消去します。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

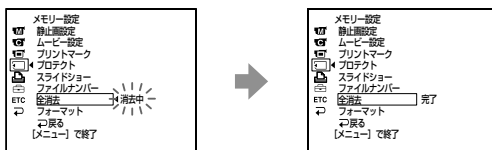
2 **メニューで□の項目の「全消去」を選び、押して決定する。（170ページ）**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して、「消去」を選び、押して決定する。**

「消去」が「消去します」の表示に変わる。

次のページへつづく

「消去中」と表示されているときは

電源スイッチを切り換えたり、ボタン操作を行わないでください。

❹ 選択／押決定ダイヤルで「消去します」を選び、押して決定する。

「消去中」の表示が点滅する。
プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示される。

全消去を中止する

手順3または4で「戻る」を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。

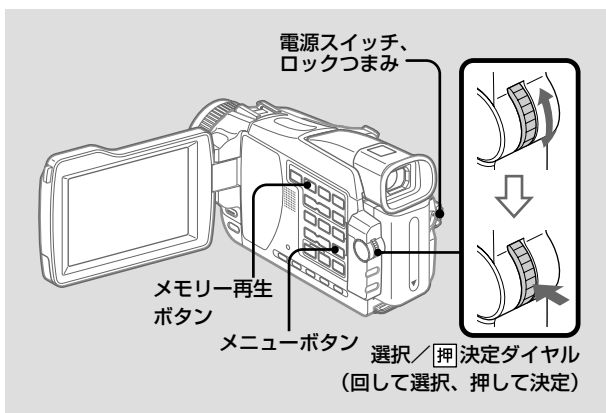
プリントマークを付ける – プリントマーク

“メモリースティック”に撮影した静止画の中からプリントしたい画像を直接指定してマークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF (Digital Print Order Format) 規格に対応しています。

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プリントマークは実行できません。

動画には
プリントマークを付けることができません。

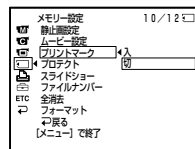
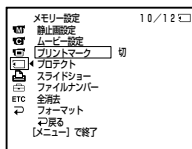
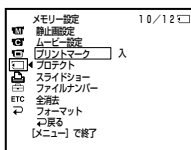
ファイル名が点滅している時は
プリントマークを付けることができません。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 **電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。**

ロックつまみが右側になっているときは、左側（解除）にする。

2 **プリントマークを付ける画像を再生する。**

3 **メニューで の項目の「プリントマーク」を選び、押して決定する。（170ページ）**

“メモリースティック”を使う

4 **選択／押決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。**

5 **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

プリントマークを付けた画像に「」マークがつきます。

プリントマークを解除する

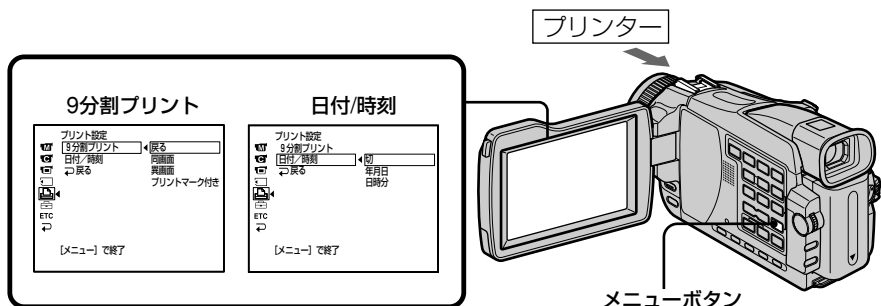
手順4で「切」を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。

解除された画像からは「」マークが消えます。

別売りのプリンターを使う

別売りのプリンターを使ってプリントペーパーに画像をプリントできます。

詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

静止画をプリントするには、いろいろなプリント方法があります。ここでは本機のメニューで[プリントアイコン]を選んでプリント設定する方法を説明します。

マルチ画面連写した画像は
シールプリントできません。

"メモリースティック" に記録した動画は
プリントできません。

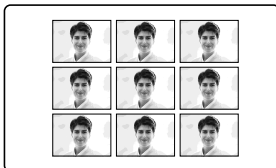
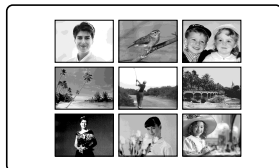
ファイルがない時は
「ファイルがありません」のメッセージが出ます。

プリントマーク付ファイルがない時は
「プリントマークが付いていません　確認してください」のメッセージが出ます。

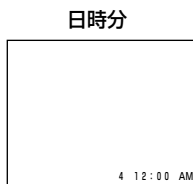
9分割プリントを選択したときは
日付／時刻表示を入れることはできません。

- あらかじめ"メモリースティック"を入れておいてください。
- 別売りのプリンターを本機に取り付けておいてください。

"メモリースティック"に記録した画像をステッカータイプ／9分割サイズに分割プリントすると9枚のシールプリントができます。
メニューで希望のモードを選んでください。

同画面分割プリント

異画面分割プリント／プリントマーク付き*

* プリントマークを付けた静止画9枚をプリントします。

記録した日時もプリントできます。

メニューで希望のモードを選んでください。

画像をパソコンで見る – はじめに

テープ、“メモリースティック”の画像をパソコンで見るには、以下の接続方法があります。

メモリースティックスロットを装備したパソコンでご覧になるときは、“メモリースティック”を本機から取り出して、パソコンのメモリースティックスロットに入れてご使用ください。

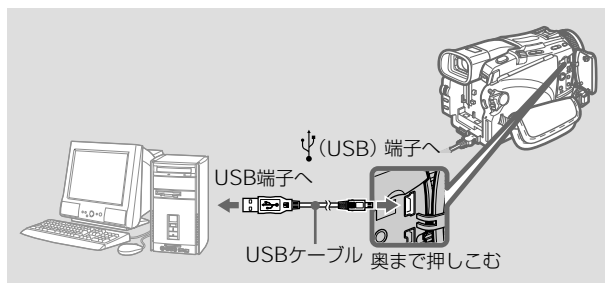
	本機の接続端子	接続ケーブル	パソコンに必要な環境
テープの静止画・動画	USB端子	USBケーブル（別売り）	USB端子、編集ソフト
	DV端子	i.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）	DV端子、編集ソフト
“メモリースティック”の静止画・動画	USB端子	USBケーブル（別売り）	USB端子、編集ソフト

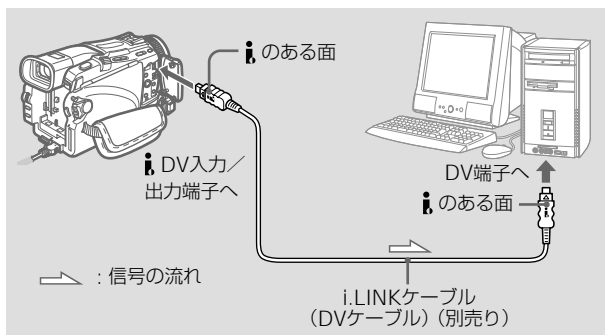
USB端子でパソコンに接続する場合、本機とパソコンはUSBドライバのインストールが完了してから接続して下さい。先に接続すると、USBドライバが正しくインストールできません。

お持ちのパソコンの各端子、編集ソフトについては、パソコンメーカーにお問い合わせください。

テープの画像を見る

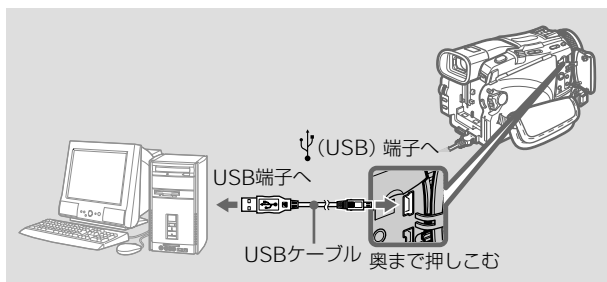
USB端子でパソコンと接続するとき

詳しくは143ページをご覧ください。

DV入力／出力端子でパソコンと接続するとき

お持ちのパソコンにDV端子が装備されていて、ビデオ信号の取りこみができる編集ソフトがインストールされていることが必要です。

"メモリースティック"の画像を見る

USB端子でパソコンと接続するとき

USB接続には「標準」と「PTP」の2通りの接続方法があり、お買い上げ時は「標準」に設定されています。ここでは「標準」での使い方を説明します。

Windowsをお使いの方は143ページを、Macintoshをお使いの方は160ページをご覧ください。

この接続のほかに、別売りのメモリースティックリーダー／ライターもご使用できます。

USB端子で接続できないパソコンのとき

別売りのメモリースティック用フロッピーディスクアダプター、メモリースティック用PCカードアダプターをご使用ください。

アクセサリーご購入の際は、アクセサリーの推奨使用環境をカタログでご確認の上ご購入ください。

パソコンを使用するときのご注意

“メモリースティック”

- パソコンでフォーマットした“メモリースティック”を本機に使用した場合や、USB接続時に本機内の“メモリースティック”をパソコンからフォーマットした場合の動作は保証致しません。
- “メモリースティック”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- レタッチソフト等を使って加工した画像をパソコンから本機に取りこむ場合、または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることがあります。その際は下記のホームページで最新ドライバーをダウンロードしてください。

http://www.vaio.sony.co.jp

[ダウンロード] から適当なアップデートプログラムを選びダウンロードする。

USB端子でパソコンに接続する
－Windowsをお使いの方へ

本機とパソコンは、USBドライバのインストールが完了してから接続してください。先に接続すると、USBドライバが正しくインストールできません。

USB端子で本機をパソコンに接続するには

お手持ちのパソコンに**USBドライバのインストール**が必要です。USBドライバはパソコン接続キット（DPCK-US20）（別売り）に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。

本機とパソコンをUSB接続すると、本機の撮影画像や再生画像をパソコンで見ることができます（USBストリーミング機能）。さらに画像を取りこむと、パソコンのソフトウェアで加工したり、Eメールに添付したりできます。"メモリースティック"に記録した画像をパソコンで見ることもできます。

USB接続をしてテープの画像をパソコンで見るときのパソコンの推奨使用環境

OS：Microsoft Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional

上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。

上記のOS内でもアップグレードされた場合は保証いたしません。

Windows 98では音声が出ませんが、静止画の取りこみはできます。

CPU：Pentium Ⅲ 500 MHz以上が必要です。（Pentium Ⅲ 800 MHz以上を推奨します。）

必要ソフトウェア：
DirectX 8.0a以降が必要です。

サウンドカード：
16bitのステレオサウンドカード及びスピーカ

メモリ：64 MB以上が必要です。

ハードディスク：
インストールに必要な空きディスク容量：
約200MB以上
推奨するハードディスクの空き容量：
1GB以上（編集する画像ファイルのサイズにより異なります。）

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）、Direct Drawドライバ対応（800×600 ドット未満、256色以下では正常に動作しません。）

その他：DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際は DirectXが組みこまれている必要があります。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

この機能はMacintoshではご使用になれません。

USB接続をして"メモリースティック"の画像をパソコンで見るときのパソコンの推奨使用環境

推奨Windows環境

OS：Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional

上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。

上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

CPU：MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

Windows Media Playerがインストールされていること（動画再生時）。

ご注意

- 1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
- WindowsおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお本文ではTM、®マークは明記していません。

ご注意

USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。149ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

Windows XPをお使いの方へ

メニューの「USB接続」で「PTP」を選ぶと、USBドライバをインストールしなくても、本機からパソコンに"メモリースティック"の画像をコピーすることができます。本機からパソコンへコピーのみ行うという方に最適です。詳しくは173ページをご覧ください。

USBドライバをインストールする

以下の操作はUSBケーブルを接続しないで行ってください。

USBケーブルは「パソコンに本機を認識させる」で接続してください。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合はAdministrator、Windows XPをお使いの場合はコンピュータの管理者権限が必要です。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。

アプリケーションソフトが起動し、タイトル画面が表示されます。

3 「USB Driver」をクリックする。

USBドライバのインストール画面が起動します。

4 画面の指示に従ってUSBドライバをインストールする。

5 画面の指示に従って、CD-ROMを取り出してからパソコンを再起動する。

パソコンに本機を認識させる

パソコンでテープの画像を見る場合

パソコンで“メモリースティック”の画像を見る場合は、148ページへ進んでください。

テープの画像を見るには、「PIXELA ImageMixer 」がインストールされていることが必要です。パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMからインストールしてください。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合、Power UsersまたはAdministratorsの権限が必要です。Windows XPをお使いの場合、コンピュータの管理者権限が必要です。

1 パソコンの電源を入れる。

パソコンを使用中の場合には、使用中のアプリケーションはすべて終了させてください。

2 パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。

しばらくすると、タイトル画面が表示されます。

タイトル画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックしたあと「ImageMixer」（CD-ROMドライブ）をダブルクリックしてしばらくすると表示されます。

3 「PIXELA ImageMixer」をクリックする。

インストールウィザードプログラムが起動し、「設定言語の選択」画面が表示されます。

4 インストール時の設定言語を選択する。

5 画面の指示に従って操作する。

インストールが終了すると、インストール画面が消えます。

❻ 「DirectX」をクリックする。

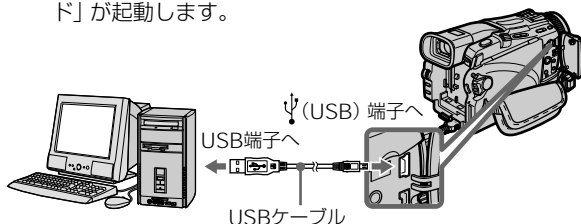
画面の指示に従って操作し、DirectXをインストールする。インストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

❼ 本機にACアダプター／チャージャーを接続する。

❽ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❾ メニューで⊟の項目の「USBストリーム」を「入」にする。（173ページ）

❿ CD-ROMを入れた状態でパソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機のψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

パソコンが本機を認識し、「ハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

⓫ 「ハードウェアの追加ウィザード」画面の指示に従ってハードウェアを認識させる。

3種類のUSBドライバをインストールするため、「ハードウェア追加ウィザード」は3回起動します。
途中で中断せずに最後までインストールしてください。

パソコンと接続する

Windows 2000 Professional、またはWindows XPをお使いの場合：

⓬ 「ファイルが必要」と表示されたら「参照...」→「マイコンピュータ」→「IMAGEMIXER」→「Sonyhcb.sys」の順番で開き、「OK」をクリックする。

“メモリースティック”が入っていないと、インストールできません
必ず本機に“メモリースティック”を入れてください。

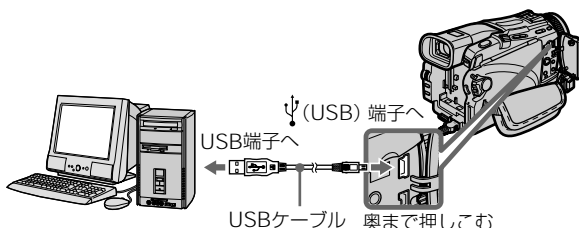
パソコンで“メモリースティック”の画像を見る場合

メニューの「USB接続」を「標準」にしてください。
（お買い上げ時は「標準」に設定されています。）

❶ 本機に“メモリースティック”を入れる。

❷ ACアダプター／チャージャーを接続して本機の電源スイッチを「メモリー」にする。

❸ パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

本機の液晶画面に「USB モード」と表示され、パソコンからの通信が始まります。パソコンが本機を認識し、Windowsのドライバをインストールします。

❹ 画面の指示に従ってハードウェアを認識させる。

2種類のUSBドライバをインストールするため、ハードウェア追加ウィザードは2回起動します。途中で中断せずに最後までインストールしてください。

USBドライバがインストール出来ない場合

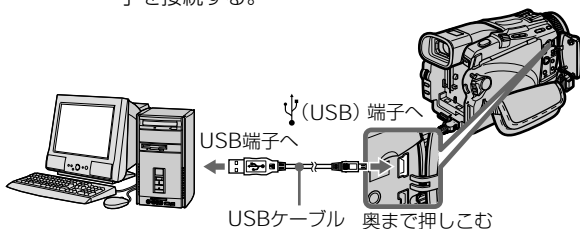
USBドライバのインストールが完了する前に本機とパソコンを接続したためUSBドライバが誤って登録されています。正しくインストールするためには、以下の手順を行ってください。

パソコンでテープの画像を見ようとしたとき

手順1：誤って登録されたUSBドライバをアンインストールする

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 本機にACアダプター／チャージャーを接続して本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機のψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

4 パソコンの「デバイスマネージャ」を開く。

Windows XPをお使いの場合：

「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」の順で開き、「デバイスマネージャ」をクリックする。
「コントロールパネル」をクリックし「作業する分野を選びます」の中に「システム」がない場合、「クラシック表示に切り替える」をクリックする。

Windows 2000 Professional をお使いの場合：

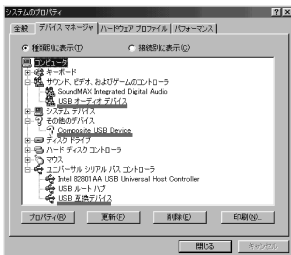
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」の順で開き、「デバイスマネージャ」をクリックする。

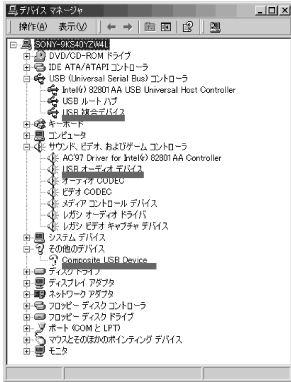
Windows 98SE/Windows Meをお使いの場合：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」の順で開き、「デバイスマネージャ」をクリックする。

パソコンと接続する

次のページへつづく

5 下線で示したデバイスを選び削除する。

Windows 98SE

Windows Me

Windows 2000 Professional

Windows XP

6 本機の電源を切り、USBケーブルを抜く。

7 パソコンを再起動する。

手順2：パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする

145ページの「USBドライバをインストールする」の手順を行ってください。

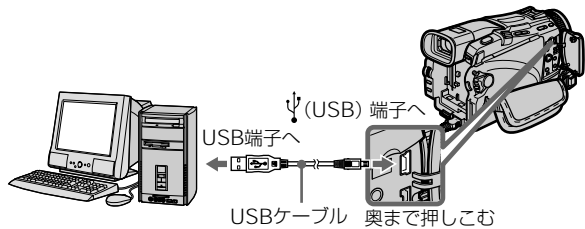
パソコンで“メモリースティック”の画像を見ようとしたとき

手順1：誤って登録したUSBドライバをアンインストールする

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 本機に“メモリースティック”を入れる。

3 ACアダプター／チャージャーを接続して本機の電源スイッチを「メモリー」にする。

4 パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

5 パソコンの「デバイスマネージャ」を開く。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウエア」の順で開き、「デバイスマネージャ」をクリックする

上記OS以外：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」の順で開き、「デバイスマネージャ」をクリックする

6 「その他のデバイス」を選択する。

（？）マークが付いた機器を選択して削除します

例：（？）Sony Handycam

7 本機の電源を切り、USBケーブルを抜く。

8 パソコンを再起動する。

手順2：パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする

145ページの「USBドライバをインストールする」の手順を行ってください。

パソコンでテープの画像を見る
ーWindowsをお使いの方へ

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」で画像を取りこむ

パソコンでテープの画像を見るには、USBドライバとPIXELA ImageMixer がインストールされていることが必要です（145ページ）。Windows 2000 Professionalをお使いの場合、Power UsersまたはAdministratorsの権限が必要です。Windows XPをお使いの場合、コンピュータの管理者権限が必要です。

テープに記録された画像を見る

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

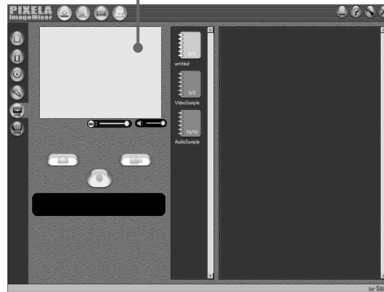
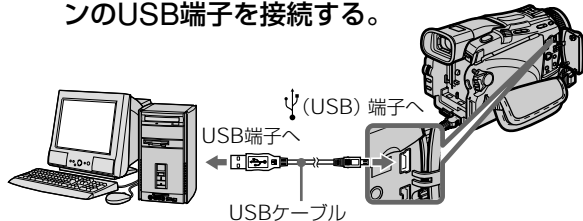
❷ 本機にACアダプター／チャージャーを接続し、カセットを入れる。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にして、メニューで⊟の項目の「USBストリーム」を「入」にする。（173ページ）

❹ Windows上で「スタート」→「プログラム」→「PIXELA」→「ImageMixer」→「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」の順に開く。

5 **画面一番左の（アイコン）をクリックする。**

PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sonyが起動し、タイトル画面が表示されます。

6 **（USB）を選択する。**

7 **パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機の ψ(USB) 端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

8 **本機の►再生ボタンを押して、テープの再生を始める。**

パソコン上のプレビュー画面にテープの画像が表示されます。

ご注意

- 以下のことが起こる場合がありますが、故障ではありません。
  - －画像が上下に揺れる。
  - －画像によってはノイズが出るなど、正しく表示されない。
  - －本機とカラー方式が異なる画像が正しく表示されない。
- テープを入れた状態で撮影スタンバイ中が5分以上続くと、自動的に電源が切れます。
- テープが入っていない状態で撮影スタンバイ中のときは、メニューで「デモモード」を「切」にしておくことをおすすめします。
- 本機の画面表示は、パソコンには取りこまれません。

USB接続をして、パソコンに画像が映らないときは
USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。145ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

不具合が生じたときは
起動しているすべてのアプリケーションを終了し、再起動してください。

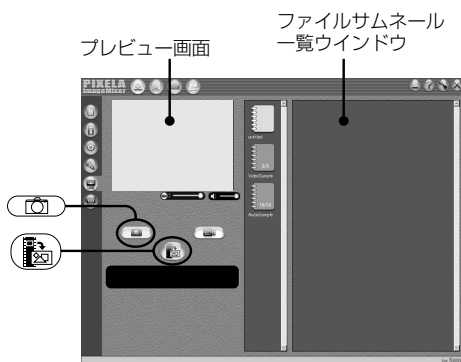
以下の操作を行うときは、アプリケーションを終了してから行ってください
– USBケーブルを抜く
– 電源スイッチを切り換える、または「切（充電）」にする

カメラに映っている画像を見る

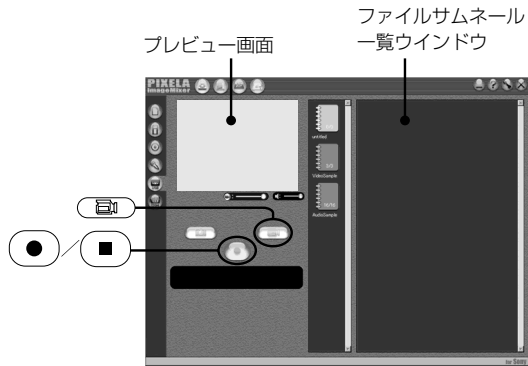
1 152ページの手順1、2を行う。

2 本機の電源スイッチを「カメラ」にして、メニューで⊟の項目の「USBストリーム」を「入」にする。（173ページ）

3 152、153ページの手順4から7を行う。
パソコンのプレビュー画面にカメラに映っている画像が表示されます。

静止画を取りこむ

1 📷 をクリックする。

2 プレビュー画面を見ながら取りこみたい静止画のところで 🎞 をクリックする。
静止画が取りこまれます。
取りこまれた画像は、ファイルサムネール一覧ウインドウに表示されます。

動画を取りこむ

1. をクリックする。

2. プレビュー画面を見ながら取りこみたい動画の最初の場面で ● をクリックする。
   ● が ■ へと変わります。

3. プレビュー画面を見ながら取りこみたい場面の最後で ■ をクリックする。
   取りこまれた画像は、ファイルサムネール一覧ウインドウに表示されます。

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」のオンラインヘルプ（取扱説明）を使う

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」には、「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」の詳しい操作方法を調べることができるオンラインヘルプが用意されています。

1 画面右上の？ボタンをクリックする。

オンラインヘルプ画面が表示されます。

2 知りたい内容について目次から調べる。

オンラインヘルプを閉じる

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sonyヘルプ」画面右上の☒ボタンをクリックします。

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」に関するお問い合わせ

「ImageMixer Ver.1.0 for Sony」はピクセラ社製です。お問い合わせはピクセラ社までお願い致します。

詳しくは、パソコン接続キットに付属の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使用するときのご注意

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

パソコンで“メモリースティック”の画像を見る

– Windowsをお使いの方へ

画像を見る

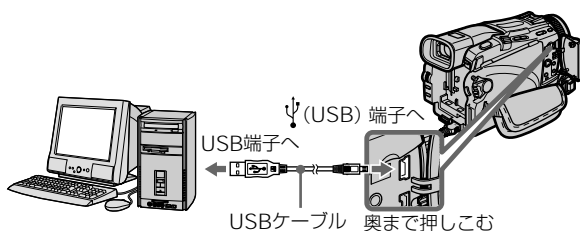
- パソコンで“メモリースティック”の画像を見るには、USBドライバのインストールが必要です（145ページ）。動画再生時には、Windows Media Playerなどの動画再生ソフトがインストールされていることが必要です。
- メニューの「USB接続」を「標準」にしてください。
  （お買い上げ時は「標準」に設定されています。）

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 本機に“メモリースティック”を入れ、ACアダプター／チャージャーを接続する。

3 本機の電源スイッチを「メモリー」にする。

4 パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで本機の ψ(USB) 端子とパソコンのUSB端子を接続する。

本機の液晶画面に「USB モード」と表示されます。

5 Windows上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ（例：「リムーバブルディスク（E:)」）をダブルクリックする。

“メモリースティック” 内のフォルダが表示されます。

パソコンと接続する

次のページへつづく

❻ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名」をご覧ください。

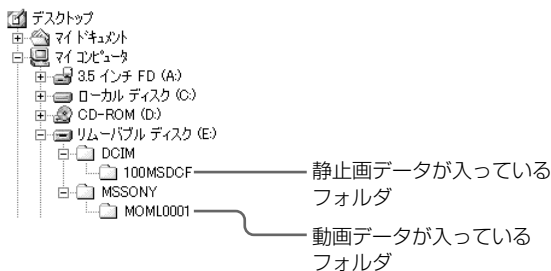
再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。“メモリースティック”から直接再生すると、画像／音声がとぎれることがあります。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。

ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

Windows Meで見たときの例
（本機が認識されたドライブは（E:））

フォルダ名	ファイル名	意味
100MSDCF	DSC0□□□□.JPG	静止画ファイル
MOML0001	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル

USBケーブルを抜く、“メモリースティック”を取り出す、または電源スイッチを切る

Windows 2000 Professional/Me、Windows XPをお使いの方へ

USBケーブルを抜く、“メモリースティック”を取り出す、または電源スイッチを切るには、以下の操作が必要です。

---

❶ **タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより該当するドライブを停止する。**

---

❷ **「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから、USBケーブルを抜く、“メモリースティック”を取り出す、または本機の電源スイッチを切る。**

USB端子でパソコンに接続する
− Macintoshをお使いの方へ

Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.0/v10.1）は
USBドライバのインストールは必要ありません。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、ドライブとして認識します。

USB端子で本機をパソコンに接続するには

お手持ちのパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバは、パソコン接続キット（DPCK-US20）（別売り）に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。

推奨Macintosh環境

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X（v10.0/v10.1）が工場出荷時にインストールされているMacintosh。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1/9.2にアップグレードしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディング方式のiMac

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

QuickTime 3.0以降がインストールされていること（動画再生時）

ご注意

- 1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeはApple Computer Inc.の商標です。
- その他本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお本文ではTM、®マークは明記していません。

USBドライバをインストールする

USBドライバのインストールが完了するまでは、パソコンにUSBケーブルを接続しないでください。

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0をお使いの場合

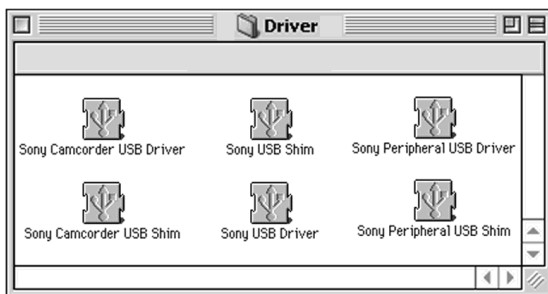
パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。

---

❷ **パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

アプリケーションソフトの画面が起動します。

❸ **「USB Driver」のボタンをクリックする。**

6つのドライバファイルが入ったフォルダが開きます。

❹ **以下の2つのファイルを「システムフォルダ」のアイコンの上に、ドラッグ・アンド・ドロップする。**

- Sony Camcorder USB Driver
- Sony Camcorder USB Shim

❺ **「機能拡張フォルダに入れますか？」と表示されたら「OK」をクリックする。**

USBドライバがパソコンにインストールされます。

❻ **パソコンからCD-ROMを取り出す。**

❼ **パソコンを再起動する。**

パソコンで“メモリースティック”の画像を見る
－ Macintoshをお使いの方へ

画像を見る

パソコンで“メモリースティック”の画像を見るには、USBドライバのインストールが必要です（145ページ）。動画再生時にはQuickTime 3.0以降がインストールされていることが必要です。

❶ パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。

❷ 本機に“メモリースティック”を入れ、ACアダプター／チャージャーを接続する。

❸ 本機の電源スイッチを「メモリー」にする。

❹ パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで本機の ψ(USB) 端子とパソコンのUSB端子を接続する。

本機の液晶画面に「USB モード」と表示されます。

❺ デスクトップ上で新しく認識された“メモリースティック”のアイコンをダブルクリックする。

“メモリースティック”内のフォルダが表示されます。

❻ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。“メモリースティック”から直接再生すると、画像／音声がとぎれることがあります。

Mac OS X（v10.0）をお使いの場合は
パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源スイッチを切る。

USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または電源スイッチを切る

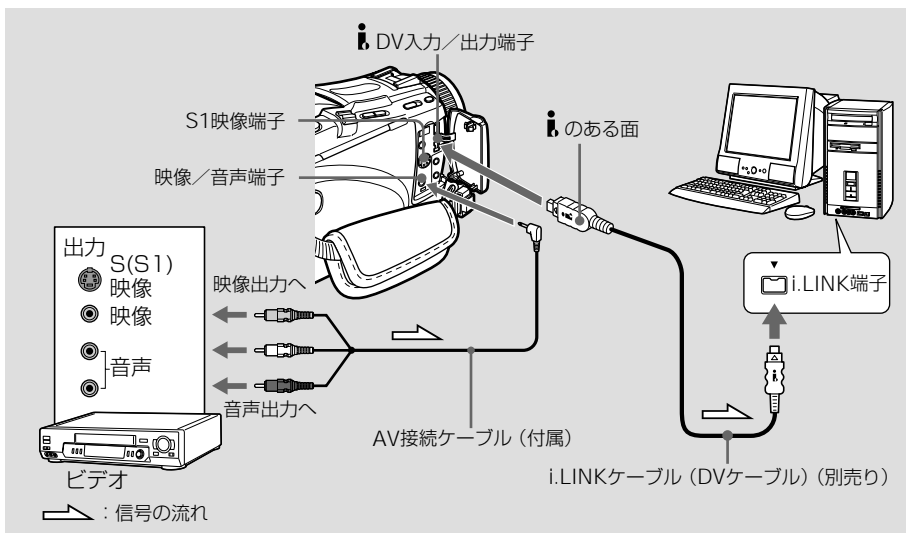
USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または電源スイッチを切るには以下の操作が必要です。

1. **ソフトウェアを閉じる。**
   本機のアクセスランプが点灯していないことを確認してください。

2. **"メモリースティック"アイコンを「ごみ箱」に捨てる。または、"メモリースティック"アイコンを選んだ状態にして、画面左上の「特別」メニューから「取り出し」を選択する。**

3. **USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源スイッチを切る。**

アナログ機器とパソコンをつなげて使う
ー デジタル変換機能

アナログビデオ機器に録画した映像音声を本機を通じて、i.LINK端子を持つパソコンに接続して取りこめます。

ご注意

- ビデオ信号の取りこみや送り出しができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しい映像を出力することができないことがあります。
- 著作権保護の為の信号（ID-2方式など）が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取りこむことはできません。
- AV接続ケーブル（付属）のかわりにS映像ケーブル（別売り）を使ってパソコンに取りこむことができます。

USB端子があるパソコンでは
USBケーブルを使って接続することができますが、映像がなめらかに映らないことがあります。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 メニューで[VTR]の項目の「A/V入力→DV出力」を「入」にする。（169ページ）

3 アナログビデオ機器で再生を始める。

4 パソコンで取りこみを始める。

取りこむ操作は、お使いになるパソコンのソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いになるソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

取りこみが終わったら

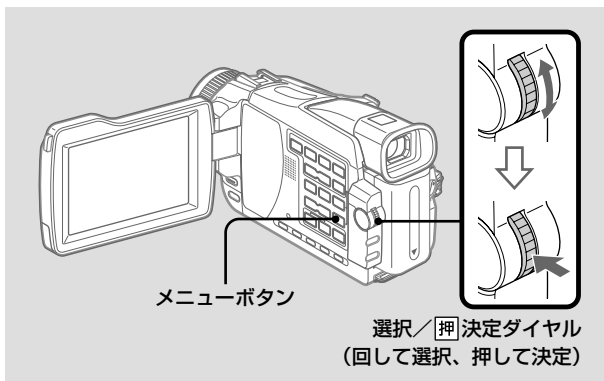
パソコンで取りこみ動作を停止し、アナログビデオ機器で再生を停止する。

メニューでお買い上げ時の設定を変える

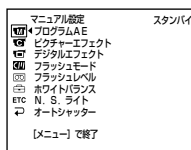
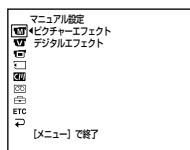
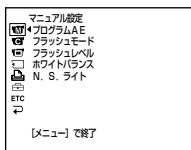
画面上のメニュー項目を、選択／押決定ダイヤルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

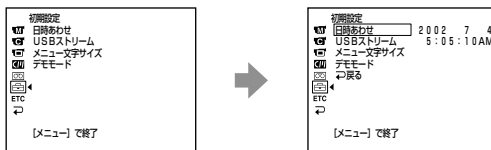
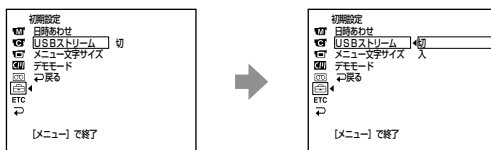
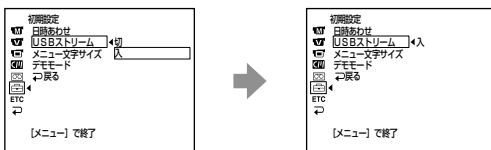
次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- M マニュアル設定
- C カメラ設定
- V ビデオ設定
- パネル/VF設定
- メモリー設定
- プリント設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

❶ 電源スイッチを「カメラ」、「ビデオ」または「メモリー」にしたときに
メニューボタンを押す。

「カメラ」のとき

マニュアル設定　スタンバイ
◀プログラムAE
ピクチャーエフェクト
デジタルエフェクト
フラッシュモード
フラッシュレベル
ホワイトバランス
N. S. ライト
オートシャッター
［メニュー］で終了

「ビデオ」のとき

「メモリー」のとき

2 選択／押決定ダイヤルを回して、希望のアイコンを選び、押して決定する。

3 選択／押決定ダイヤルを回して、希望の項目を選び、押して決定する。

4 選択／押決定ダイヤルを回して、設定を変更し、押して決定する。

5 **必要なだけ手順2～4を繰り返す。**

手順2に戻るには、選択／押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（167ページ）をご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン／項目		設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
M マニュアル設定				
	プログラムAE	—	被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（44ページ）	「カメラ」「メモリー」
	ピクチャーエフェクト	—	画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（41、53ページ）	「ビデオ」「カメラ」
	デジタルエフェクト	—	デジタル機能を使って、画像に演出を加える。（42、54ページ）	「ビデオ」「カメラ」
	フラッシュモード	●入	周囲の明るさにかかわらず発光する。	「カメラ」「メモリー」
		オート	フラッシュ（別売り）が自動的に発光する。	
		オート◉	撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制する。	
	フラッシュレベル	明るい	フラッシュ（別売り）の発光量を通常より多くする。	「カメラ」「メモリー」
		●ノーマル	通常の設定	
		暗い	フラッシュの発光量を通常より少なくする。	
	ホワイトバランス	—	ホワイトバランスを調整する。（37ページ）	「カメラ」「メモリー」
	N.S.ライト	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（25ページ）	「カメラ」「メモリー」
		切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
	オートシャッター	●入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。	「カメラ」
		切	明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。	

フラッシュモード、フラッシュレベルは
別売りのフラッシュを取り付けたときのみ使えます。

フラッシュレベルは
フラッシュレベルに対応していない外部フラッシュでは設定できません。

メニューでお買い上げ時の設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
カメラ設定			
セルフタイマー	●切	セルフタイマーを使わない。	「カメラ」「メモリー」
	入	セルフタイマーを使って撮影する。（26ページ）	
デジタルズーム	●切	デジタルズームが働かない。10倍までのズームが働く。	「カメラ」
	20×	ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（22ページ）	
	120×	ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（22ページ）	
フォト記録	●メモリースティック	[撮影中]、[撮影スタンバイ中]に、フォトボタンを押し“メモリースティック”に静止画を記録する。（33ページ）	「カメラ」
	テープ	[撮影中]、[撮影スタンバイ中]に、フォトボタンを押しテープフォト撮影する。（35ページ）	
ワイドTV	●切	ワイド録画モードにしない。	「カメラ」
	入	ワイド録画モードにする。（38ページ）	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。	
コマ撮り	●切	コマ撮り機能を働かせない。	「カメラ」
	入	コマ撮り機能を働かせる。（51ページ）	
インターバル録画	入	インターバル録画機能を働かせる。（48ページ）	「カメラ」
	●切	インターバル録画機能を働かせない。	
	設定	インターバル録画機能の「ウェイトタイム」と「録画タイム」を設定する。	

手ぶれ補正は

- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると

本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示が出ます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ビデオ設定			
バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。（187ページ）	「ビデオ」
	メイン	左音声または主音声で再生する。	
	サブ	右音声または副音声で再生する。	
音声ミックス	ー	音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。（85ページ） ST1 ▲ ST2	「ビデオ」
A/V入力→DV出力	●切	本機を通してデジタルの画像音声をアナログ出力します。	「ビデオ」
	入	本機を通してアナログの画像音声をデジタル出力します。（164ページ）	
パネル/VF設定			
パネル明るさ	ー	パネルの明るさを選択／押決定ダイヤルを回し、バーで調整する。 暗くなる ▲ 明るくなる	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面の明るさを標準にする。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	明るい	液晶画面を明るくする。	
パネル色のこさ	ー	液晶画面の色のこさを選択／押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 うすくなる ▲ こくなる	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
VFバックライト	●明るさノーマル	ファインダーの明るさを標準にする。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	明るい	ファインダーを明るくする。	

「パネルバックライト」、「VFバックライト」は

- 「明るい」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

「パネル明るさ」、「パネルバックライト」、「パネル色のこさ」、「VFバックライト」は

調節しても記録される画像に変化はありません。

メニューでお買い上げ時の設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
メモリー設定			
静止画設定			
連写	●切	連写しない。	「メモリー」
	ノーマル	1152×864の場合は最大4枚まで、640×480の場合は最大13枚まで連写できます。（102ページ）	
	ブラケット	露出を変えて3枚の画像を連写する。	
	マルチ画面	9連写して9分割の画面にする。	
画質	●スーパーファイン	最も高画質で静止画を記録する。（96ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	ファイン	高画質で静止画を記録する。	
	スタンダード	標準の画質で静止画を記録する。	
画像サイズ	●1152×864	静止画を1152×864サイズで記録する。（98ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	640×480	静止画を640×480サイズで記録する。	
ムービー設定			
画像サイズ	●320×240	動画を320×240サイズで記録する。（98ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	160×112	動画を160×112サイズで記録する。	
メモリー残量表示	●オート	以下の時にメモリー残量を表示する。 • 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にしてから5秒間。 • 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にして、“メモリースティック”を入れてから5秒間。 • 電源スイッチを「メモリー」にして、メモリー残量が2分未満になったとき。 • 動画記録が開始してから5秒間。 • 動画記録が終了してから5秒間。	「ビデオ」「メモリー」
	入	メモリー残量を常に表示する。	
プリントマーク	入	プリントしたい静止画にプリントマークをつける。（137ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	●切	静止画のプリントマークを解除する。	
プロテクト	入	画像を誤消去しないようにする。（132ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	●切	画像の誤消去防止指定を解除する。	
スライドショー	—	スライドショーをする。（131ページ）	「メモリー」
ファイルナンバー	●連番	“メモリースティック”を取り換えてもファイル番号を連続して付ける。	「ビデオ」「メモリー」
	リセット	“メモリースティック”ごとにファイル番号を0001から付ける。	
全消去	●戻る	全消去を中止する。	「メモリー」
	消去	プロテクトのかかっていない全ての静止画を消去する。（135ページ）	

アイコン／項目		設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
メモリー設定				
	フォーマット	●戻る	フォーマットを中止する。	「メモリー」
		フォーマット	本機に入れた“メモリースティック”をフォーマット（初期化）する。フォーマット（初期化）すると“メモリースティック”の記録内容は消去されます 1「フォーマット」の項目を選び、選択／押決定ダイヤルを押す。 2 選択／押決定ダイヤルを回し、「フォーマット」を選び、押して決定する。 3 画面に「フォーマットします」と表示されたら、選択／押決定ダイヤルを押す。「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。	
	オートフォトコピー	—	テープの静止画を“メモリースティック”にコピーする。（120ページ）	「ビデオ」
プリント設定				
	9分割プリント	●戻る	分割プリントを中止する。	「メモリー」
		同画面	同画面分割プリントを実行する。（139ページ）	
		異画面	異画面分割プリントを実行する。	
		プリントマーク付き	プリントマークを付けた画像を記録順に並べてプリントする。	
	日付/時刻	●切	日付／時刻を入れずにプリントする。	「メモリー」
		年月日	年月日を入れてプリントする。（139ページ）	
		日時分	日時分を入れてプリントする。	
カセットメモリー設定				
	タイトル	—	タイトルを入れたり、オリジナルタイトルを作ることができる。（86、89ページ）	「ビデオ」「カメラ」
	タイトル消去	—	タイトルを消去する。（88ページ）	「ビデオ」「カメラ」
	タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	「ビデオ」
		切	タイトルを出さない。	
	Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。（57ページ）	「ビデオ」
		切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。	
	カセットラベル作成	—	カセットに名前を付ける。（91ページ）	「ビデオ」「カメラ」
	全消去	—	カセットメモリーのデータをすべて消去する。（93ページ）	「ビデオ」「カメラ」

フォーマットについて

- 別売りの“メモリースティック”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマット（初期化）する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間に以下の操作をしないでください。
  – 電源スイッチを切り換える
  – ボタン操作
  – “メモリースティック”を抜く
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット（初期化）できません。
- 「メモリースティックフォーマットエラー」と表示されたときは、フォーマット（初期化）してください。
- 画像にプロテクトをかけていても消去されます。

プリント設定は

外部プリンタ（別売り）を取り付けたときのみ使えます。

設定を変える

次のページへつづく

メニューでお買い上げ時の設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
テープ設定			
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	「ビデオ」「カメラ」
	LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	
音声モード	●12BIT	12ビット（2つのステレオ音声）の記録ができる。	「ビデオ」「カメラ」
	16BIT	16ビット（高音質で1つのステレオ音声）の記録ができる。	
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • 電源/テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 • ►再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。 • 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	「ビデオ」「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	

LPモードについて

- 本機のLPモードで記録したテープは本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モードを「16BIT」にすると

アフレコできません。

音声モードが16ビットで記録されたテープでは

音声ミックスのバランス調節をすることができません。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
初期設定			
日時あわせ	—	日付・時刻を合わせる。（15ページ）	「カメラ」「メモリー」
USBストリーム	●切	USBストリーミング機能を使用しない。	「カメラ」「ビデオ」
	入	USBストリーミング機能を使用する。	
USB接続	●標準	“メモリースティック”がドライブとして認識される接続。	「メモリー」
	PTP	本機からパソコンに“メモリースティック”の画像コピーのみ行う接続。（Windows XP/Mac OS Xのみ、ご使用になれます。） 1 選択／押決定ダイヤルを回して、「USB接続」を選んだのち、「PTP」を選び、押して決定する。 2 本機に“メモリースティック”を入れて、USBケーブルで本機とパソコンを接続する。コピーウィザードが自動的に起動します。	
メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

デモモードについて

- カセットまたは“メモリースティック”が入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
  カセットまたは“メモリースティック”を入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、「カメラ」に戻します。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、“NIGHTSHOT”が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

次のページへつづく

メニューでお買い上げ時の設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ETC その他			
データコード	●日付／カメラデータ	リモコンのデータコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。（30ページ）	「ビデオ」「メモリー」
	日付データ	リモコンのデータコードボタンを押したとき、日付・時刻を表示する。	
時差補正	ー	時差の設定をする。選択／押決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「カメラ」「メモリー」
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	ビデオ出力/パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」「メモリー」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	
プログラムエディット	●戻る	プログラムエディットを中止する。	「ビデオ」
	他機のテープへ	プログラムを作成し、他機のテープへダビングする。（65ページ）	
	メモリースティックへ	プログラムを作成し、“メモリースティック”へダビングする。（116ページ）	

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

電源をはずして5分以上たつと

「プログラムAE」、「音声ミックス」、「リモコン」、「バイリンガル」、「ホワイトバランス」はお買い上げ時の設定に戻ります。その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき

「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。183ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	18
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	17、31
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。	17
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	193
電源が途中で切れる。	•撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	•電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう一度「カメラ」にする。	—
	•バッテリーが消耗している。	•充電されたバッテリーを取り付ける。	—
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	21
手ぶれ補正が働かない。	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	メニューで「入」にする。	168
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•フォーカスボタンを押し、自動調節にする。	47
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	47

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	20
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	—	—
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。	スローシャッターやSUPER NIGHTSHOT、COLOR SLOW SHUTTERモードのときに出る現象で、故障ではありません。	—	—
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットおよび“メモリースティック”を入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットまたは“メモリースティック”を入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	173
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	24
画面が白すぎて画像が見えない。	•明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。 •逆光補正が働いている。	•「切」にする。 •解除する。	24 24
[撮影中]または[撮影スタンバイ中]に“メモリースティック”に静止画を撮ることができない。	メニューの「フォト記録」が「テープ」になっている。	メニューの「フォト記録」を「メモリースティック」にする。	168
テープフォト撮影ができない。	メニューの「フォト記録」が「メモリースティック」になっている。	メニューの「フォト記録」を「テープ」にする。	168
シャッター音が出ない。	メニューの「お知らせブザー」が「切」になっている。	「お知らせブザー」を「メロディー」または「ノーマル」にする。	174
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	—	メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。	168

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	「ビデオ」にする。	28
ビデオ再生ボタンが働かない。	テープが終わりになっている。	テープを巻き戻す。	31
画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	193
音声が小さい。または聞こえない。	•メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。 •音量を最小にしている。 •メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。	•「バイリンガル」を「切」にする。 •音量を大きくする。 •「音声ミックス」を調節する。	169 29 169
撮影日を画面に出して日付サーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 —	58 171 58
タイトルサーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •タイトルが入っていない。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 •タイトルを入れる。 —	57 171 86 57
アフレコした音声が聞こえない。	メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。	「音声ミックス」を調節する。	85
タイトルが出ない。	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	171

次のページへつづく

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「ビデオ」／「カメラ」／「メモリー」にしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／消耗が近い／取り付けられていない。 •ACアダプター／チャージャーのプラグがコンセントからはずれている。 •ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが「充電」になっている。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差しこむ。 •「ビデオ／カメラ」にする。	10、13 14
エンドサーチが働かない。	•カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。 •カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、一度も撮影していない。	— —	27 27
エンドサーチが誤動作する。	テープの始めや途中に無記録部分がある。	—	27
バッテリーの消耗が早い。	•周囲の温度が極端に低い。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	— •満充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	— 10 13
バッテリー残量表示が正しくない。	•温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 •バッテリーそのものの寿命。 •バッテリーが消耗している。 •残量表示にズレが生じた。	— •新しいバッテリーに交換する。 •満充電されたバッテリーを取り付ける。 •満充電すると残量が正しく表示される。	— 13 10、13 10
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	残量表示にズレが生じた。	満充電すると残量が正しく表示される。	10
カセットが取り出せない。	•電源（バッテリーやACアダプター／チャージャー）がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	13、14 10、13
💧や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	193
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	187
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	172

“メモリースティック” 操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
操作を受け付けない。	•電源スイッチが「メモリー」になっていない。 • “メモリースティック”が入っていない。	•「メモリー」にする。 • “メモリースティック”を入れる。	101 95
撮影ができない。	• すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。 • フォーマットの形式の異なる“メモリースティック”を入れた。 • “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	• 不要な画像を消去してから撮影する。 • フォーマットするか、別の“メモリースティック”を入れる。 •「LOCK」を解除する。	134 171 94
画像を消去できない。	• プロテクトされている。 • “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	• プロテクトを解除する。 •「LOCK」を解除する。	132 94
フォーマットが実行できない。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	94
全消去が実行できない。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	94
プロテクトが実行できない。	• “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 • プロテクト操作をしたい画像が表示されていない。	•「LOCK」を解除する。 • メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。	94 122
プリントマークが実行できない。	• “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 • プリントマーク操作をしたい画像が表示されていない。 • 動画にプリントマークを付けようとしている。	•「LOCK」を解除する。 • メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。 • 動画にはプリントマークを付けることができません。	94 122 —
オートフォトコピーが実行できない。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	94
正しい画像サイズで再生できない。	他機で撮影した画像を再生しようとすると画像サイズが正しく表示されないことがありますが故障ではありません。	—	—
画像データが再生できない。	• パソコンなどで加工した画像は再生できない場合があります。（ファイル名が点滅します。） • 他機で撮影した画像は再生できないことがあります。	— —	— —

次のページへつづく

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	186
	•カセットのメモリーがいっぱいになっている。	•不要なタイトルを消去する。	88
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	17
	•無記録部分にタイトルを入れようとしている。	•録画された部分にタイトルを入れる。	86
カセットに名前を付けられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	186
	•カセットのメモリーがいっぱいになっている。	•不要なタイトルを消去する。	88
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	17
他機のテープへのデジタルプログラムエディットが働かない。	•録画機側の入力切換ができていない。	•接続を確認して録画機側の入力切換スイッチを設定し直す。	65
	•ソニー以外のDV機器とi.LINKケーブル（DVケーブル）を使用して接続している。	•操作を「リモコン」にする。	69
	•無記録部分にプログラム設定しようとしている。	•録画された部分に設定し直す。	73
	•本機と録画機の録画のタイミングが合わない。	•タイミング補正をする。	71
	•リモコンコードが違う。	•正しいリモコンコードを設定する。	66
“メモリースティック”へのデジタルプログラムエディットが働かない。	無記録部分にプログラムを設定しようとしている。	録画された部分に設定し直す。	116
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	174
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	—
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	200
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	200
外部入力しているのに液晶画面やファインダーに画像が映らない。	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」になっている。	「パネル」にする。	174

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。 •本機に異常が発生している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 •カセットを入れ直し、再度操作し直す。	193 —
電源が入っているのに操作できない	—	バッテリーまたはACアダプター／チャージャーのDKケーブルを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACアダプター／チャージャーのDKケーブルを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタンを先のとがったもので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。)	14、197
バッテリーを充電中に表示窓に何も表示が出ない。	•ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが、「充電」になっている。 •バッテリーが正しく取り付けられていない。	•「ビデオ／カメラ」側にする。 •正しく取り付ける。	190 13
本体に取り付けたバッテリーを充電できない。	本機の電源スイッチが「切(充電)」になっていない。	電源スイッチを「切(充電)」にする。	190
ACアダプター／チャージャーで充電できない。	ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが「ビデオ／カメラ」になっている。	「充電」にする。	10

故障かな？と思ったら（つづき）

その他

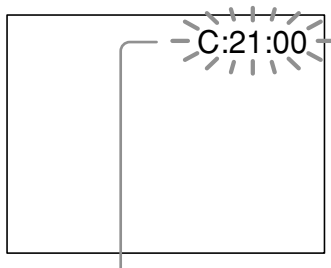
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
バッテリーを充電中にACアダプター／チャージャーの表示窓のバッテリーマークが点滅する、または充電異常が表示される。	•バッテリーが正しく取り付けられていない。 •バッテリーが故障している。	•正しく取り付ける。 •テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。	10 —
電源スイッチを「ビデオ」または「切(充電)」にして本機を動かすと、本体内部で「カタカタ」という音がする。	—	本機の機能の一部にリニア機構を採用しているためです。故障ではありません。	—
USB接続ができない。	•USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続した。 •電源スイッチが「メモリー」のとき、メニューの「USB接続」が「PTP」になっている。	•正しく認識されなかったドライブを削除してから、USBドライバをインストールする。 •メニューの「USB接続」を「標準」にする。	149 173
カセットぶたを開けてもテープが出てこない。	本機が結露しかけている。	—	193

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、ファインダー、液晶画面または表示窓にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面、ファインダーまたは表示窓

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせしていただく状態

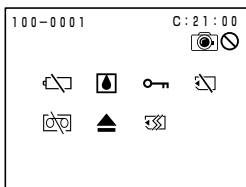
表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	188
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	193
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	193
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。 • 電源を一度取りはずし、取り付け直してから再度操作し直す。	— —
E:20:□□ E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。

詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

100−0001 ファイル関連の警告
遅い点滅
- ファイルが壊れている
- 扱えないファイル
- 動画ファイルをメモリーミックスしようとした（107ページ）

C:21:00 自己診断表示（183ページ）

バッテリー残量に関する警告
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
  使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5分から10分でも警告表示が点滅することがあります。

結露の警告*
速い点滅
- テープが結露している
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（193ページ）

“メモリースティック”関連の警告
遅い点滅
- “メモリースティック”が入っていない

速い点滅*
- 認識できない“メモリースティック”が入っている（94ページ）
- 取りこめない画像を記録しようとした

“メモリースティック”フォーマット関連の警告*
速い点滅
- “メモリースティック”が壊れている（94ページ）
- “メモリースティック”が正しくフォーマットされていない（171ページ）

テープ関連の警告
遅い点滅
- テープ残量が5分を切っている
- テープが入っていない*
- テープが誤消去防止状態になっている*（17ページ）

速い点滅
- テープが終わっている*

テープを取り出す必要がある警告*
遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている（17ページ）

速い点滅
- 結露している（193ページ）
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている（183ページ）

画像プロテクトの警告*
遅い点滅
- 画像が消去できないようになっている（132ページ）

静止画記録関連の警告
遅い点滅
- テープや“メモリースティック”に静止画を記録できない状態になっている（33ページ）

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（13ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（13ページ）
- "インフォリチウム" バッテリーをつかってください（11ページ）
- テープが終わっています*1)
- カセットを入れてください*1)
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*1)（17ページ）
- メニューで日付　時刻をあわせてください（15ページ）
- ⊗ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（193ページ）
- 結露しています　カセットを取りだしてください*1)（193ページ）
（テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ダビングプロテクトされています　録画できません*1)（186ページ）
- 音声モードがちがいます　確認してください*1)（172ページ）
- 録画モードがちがいます　確認してください*1)（172ページ）
- テープを確認してください*1)（83ページ）
- "i. LINK" ケーブルをぬいてください（83ページ）
- カセットメモリー付きカセットに入れかえてください*1)
- カセットメモリーがいっぱいです*1)（87ページ）
- メモリースティックを確認してください*1)
- メモリーフル（121ページ）
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです*1)（103ページ）
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください*1)（94ページ）
- ファイルがありません*1)
- メモリースティックを入れてください*1)
- メモリースティック音声エラー*1)（114ページ）
- メモリースティックエラー*1)（95ページ）
- メモリースティックフォーマットエラー*1)（171ページ）
- メモリースティックディレクトリエラー*1)（122ページ）
- メモリースティック再生エラー*1) *2)
- メモリースティック記録エラー*1)（106、115ページ）
- プリントマークが付いていません　確認してください*1)（139ページ）
- 静止画ファイルがありません
- 全消去中です*1)
- フォーマット中です*1)
- 充電中です*1)

*1) 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。
*2) "メモリースティック" を入れなおして再生してください。

ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8方式や、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta、DV、D8、MICROMV方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。カセットメモリー付きカセットにはCIII（Cassette Memory）マークが付いています。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

  カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトルなど）を書きこんだり、呼び出したりします。

  カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの始めや途中に1度無記録部分を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部分を作らないために、下記の操作を行ってください。

撮影の途中でテープを出し入れしたり、テープを再生したり、またはエディットサーチを使った場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

  無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、左記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。

  カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に、機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。
このようなカセットを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています　録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

カセットのCIII 4K マークについて

この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CIII 16K マークが本体側面についています）まで対応しています。

これらは商標です。

Mini DV Digital Video Cassette
ミニDVカセットのマークです。

CIII Cassette Memory
カセットメモリーのマークです。

音声多重記録テープを再生するとき

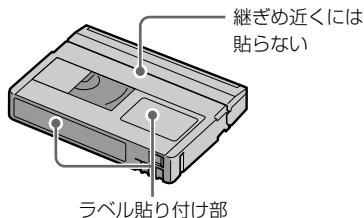
ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。（169ページ）

メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

本機では二重音声は記録できません。

カセットについてのご注意

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

カセットの使用後は

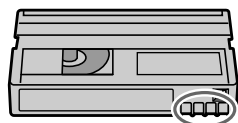
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れなおしてください。金メッキ端子にゴミ等が付着して機能が働かないことがあります。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されなっかたり、カセットメモリーを使う機能が正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター／チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の環境で、表示窓に「FULL」が表示される（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、DKケーブルを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  - 高容量バッテリー「NP-FM70/QM70/QM71/FM90/FM91/QM91（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生／早送り／巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FM70/QM70/QM71/FM90/FM91/QM91（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。
  水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで撮影状態にしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK（アイリンク）について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力／出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）

S200（最大転送速度　約200Mbps）

S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。
100Mbpsならば
100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については64、79ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV）対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

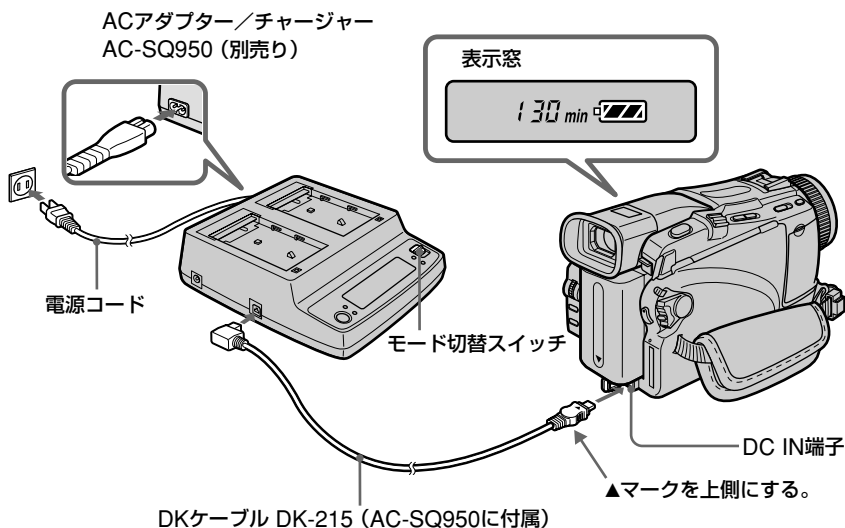
必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

4ピン←→4ピン（DVダビング時）

i.LINK、i.は商標です。

本体に取り付けたバッテリーを充電する

本機に取り付けたバッテリーを充電することができます。（本体内充電）

表示窓に示されている数値は一例です。

ご注意

ACアダプター／チャージャーに接続したDKケーブルを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

本体内充電中は

ACアダプター／チャージャーに取り付けたバッテリーは充電されません。

1. ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」側にする。
2. バッテリーを本機に取り付ける。（13ページ）
3. DC IN端子カバーを開け、DKケーブルを▲マークを上側にして、本機のDC IN端子につなぐ。
4. DKケーブルをACアダプター／チャージャーにつなぐ。
5. 電源コードをコンセントにつなぐ。

❻ 本機の電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。

130 min

145 min FULL

充電が終わると、バッテリー残量表示が「」になる**（実用充電）**。さらに「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える**（満充電）**。

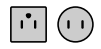
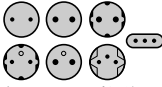
❼ DKケーブルを本機から取りはずす。

バッテリーの充電が終わったら、DKケーブルを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

充電時間

バッテリー	満充電時間	（実用充電時間）
NP-FM50	150	（90）
NP-FM70/QM70	240	（180）
NP-QM71	260	（200）
NP-FM90	330	（270）
NP-FM91/QM91	360	（300）

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。

海外で使う

本機は海外でもお使いになれます

別売りのACアダプター／チャージャーAC-SQ950は、全世界の電源（AC100V～240V・50/60Hz）でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACアダプター／チャージャーのプラグを直接差しこみます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

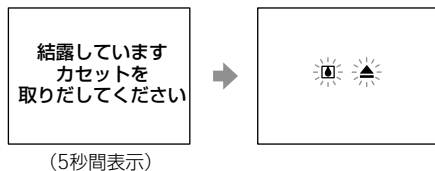
時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「ETC時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは174ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ちこんだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、開く/⏏カセット取出しつまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットぶたを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても💧が点滅しなければ使用できます。

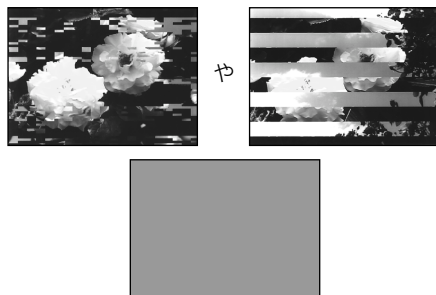
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットぶたを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットぶたを閉めないでください。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 録画中に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ちこんだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ちこむときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズのお手入れおよび保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や、海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的におこなってください。
またビデオカメラレコーダーを良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に一回程度、ビデオカメラレコーダーの電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し4ヶ月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を別売りのACアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz （ステレオ1、ステレオ2） 16ビット48kHz（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークのついたミニDV カセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画／再生時間	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時：約2分30秒 （DVM60使用時） ACアダプター/チャージャー使用 時：約2分30秒（DVM60使用時）
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	3.8mm（1/4.7型）CCD固体撮像 素子 総画素数：約107万画素 静止画時有効画素数：約100万画素 動画時有効画素数：約69万画素
ズームレンズ	カールツァイス 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=3.7～37mm （35mmカメラ換算では カメラモード時：50～500mm、 メモリーモード時：42～ 420mm） F1.8～2.0 フィルター径30mm
色温度切り換え	自動追尾／HOLDホールド、 屋内（3 200K）、 屋外（5 800K）
最低被写体照度	15 lx（ルクス）（F1.8） 0 lx（ルクス）（NIGHTSHOT時）

入・出力端子

S1映像端子	入力／出力自動切り換え Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p 75Ω
映像／音声端子	AVミニジャック 入力／出力自動切り換え 映像：1 Vp-p75Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2kΩ 入力インピーダンス47kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
USB端子	mini B
LANC端子	ステレオミニミニジャック （Ø2.5）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
DV入力／出力端子	i.LINK（IEEE1394．4ピン特殊 コネクター）

液晶画面

画面サイズ	8.8cm（3.5型）
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	3.4W （ファインダー使用時、明るさ標準） 4.6W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	–20℃～+60℃
外形寸法（最大突起部を除く）	76 × 93 × 163 mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 660 g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 760 g * バッテリーパックNP-FM50、テープ(DVM60)、レンズキャップ含む。
付属品	レンズキャップ（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） AV接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） 保証書兼カスタマーご登録はがき（1） カスタマーご登録 CD-ROM（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

各部の名前

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

本体

スピーカー

液晶画面（18ページ）

液晶画面OPEN
ボタン（18ページ）

視度調節つまみ
（21ページ）

メモリー操作ボタン
（107ページ）

メモリー
MPEG ►II
再生
インデックス
消去
－　＋
メモリーミックス

再生ズームボタン
（55、129ページ）

メニューボタン
（165ページ）

録画ボタン
（77、79、82、127
ページ）

DC IN端子カバー

画面表示ボタン
（30ページ）

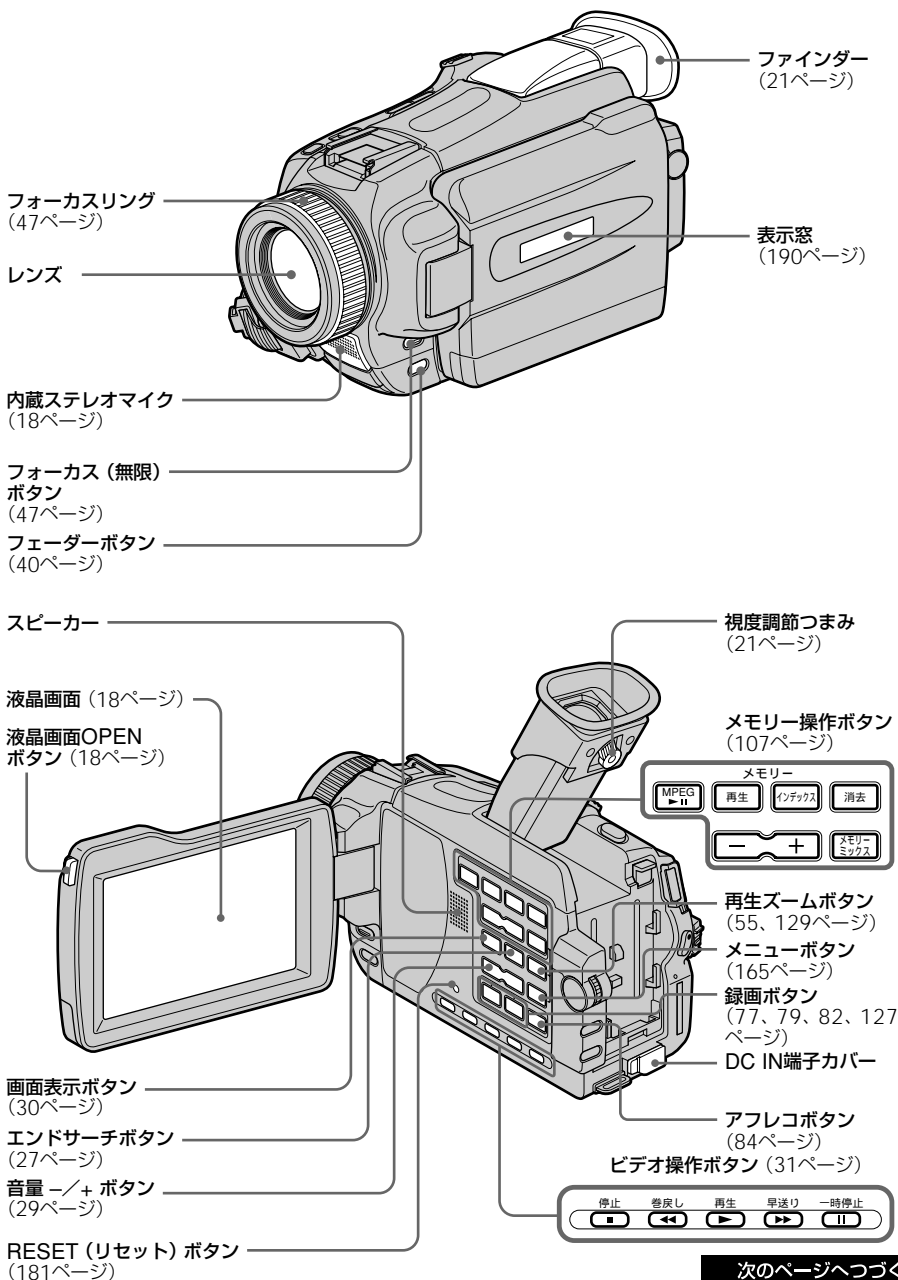
エンドサーチボタン
（27ページ）

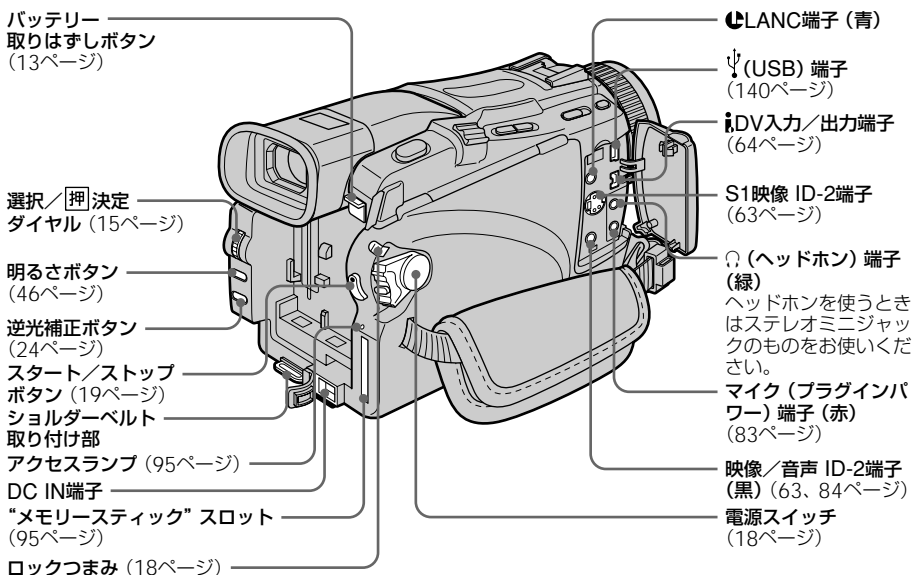
音量 −／+ ボタン
（29ページ）

RESET（リセット）ボタン
（181ページ）

アフレコボタン
（84ページ）

ビデオ操作ボタン（31ページ）

停止　巻戻し　再生　早送り　一時停止

検索する

各部の名前（つづき）

マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合
マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

ズームレバー
（22ページ）

フォトボタン
（33ページ）

ショルダーベルト取り付け部

クリップベルト

エディットサーチボタン（27ページ）

NIGHTSHOT スイッチ（24ページ）

COLOR SLOW S/ SUPER NS ボタン
（24ページ）

インテリジェントアクセサリーシュー
（83ページ）

端子カバー

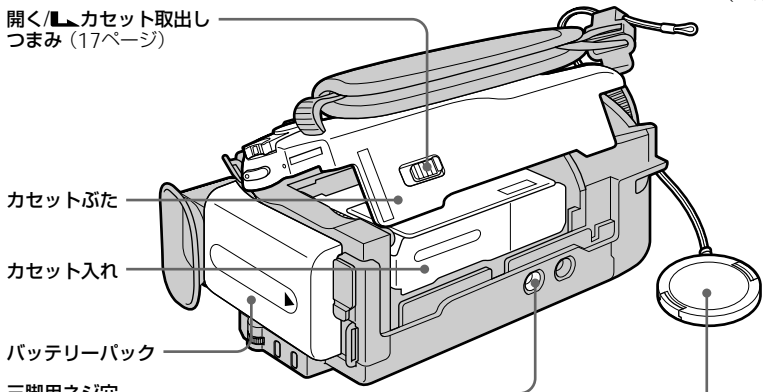
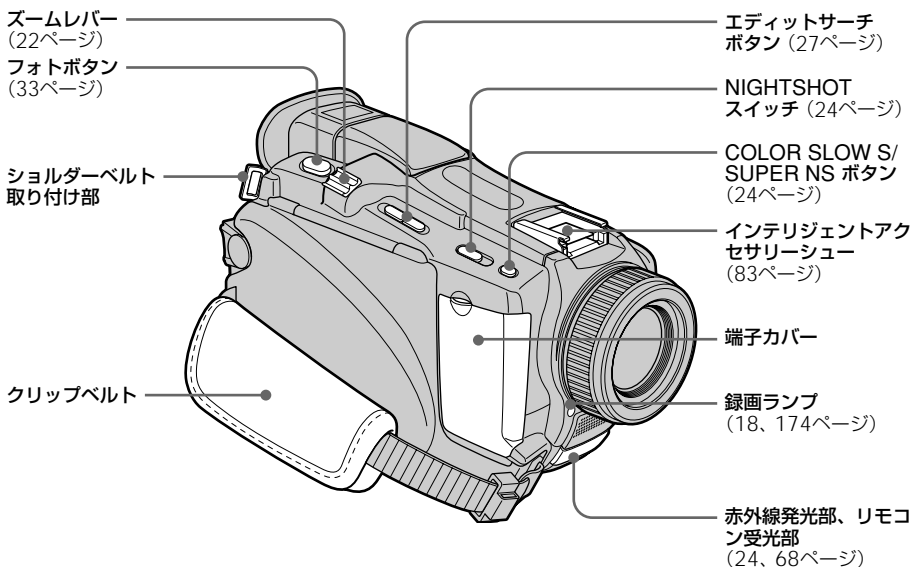
録画ランプ
（18、174ページ）

赤外線発光部、リモコン受光部
（24、68ページ）

開く/⏏カセット取出しつまみ（17ページ）

カセットぶた

カセット入れ

バッテリーパック

三脚用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

レンズキャップ
（18ページ）

Intelligent Accessory Shoe

インテリジェントアクセサリーシューについて

- 別売りの専用マイク、ビデオライト、プリンターなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリーの電源の入／切ができます。
（お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。）
- 取り付けたアクセサリーがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリーを取り付けるときは、押しながら奥まで差しこみ、取り付けネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリーを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

グリップベルトのしめ方

グリップベルトはしっかりとしめてください。

検索する

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

リモコンについて

- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

カセットメモリー
（23、186ページ）

バッテリー残量
（23ページ）

ズーム（22ページ）/
明るさ（20ページ）/
データファイル名
（94ページ）

デジタルエフェクト
（42、54ページ）/
メモリーミックス
（107ページ）/
フェーダー（39ページ）

ワイドTVモード
（38ページ）

ピクチャーエフェクト
（41、53ページ）

データコード
（30ページ）

音量調節（29ページ）/
日付（23ページ）/
時刻（23ページ）

プログラムAE
（44ページ）

逆光補正（24ページ）

手ぶれ補正「切」
（168ページ）

手動フォーカス（47ページ）

録画モード（23ページ）

セルフタイマー
（26、34、104、113ページ）

AE/AFロック表示（緑）（101ページ）

撮影スタンバイ/撮影中
（23ページ）/テープ走行/
画像サイズ（98ページ）/
画質モード（96ページ）

NIGHTSHOT（24ページ）/
SUPER NIGHTSHOT（25ページ）/
COLOR SLOW SHUTTER
（25ページ）

警告（184ページ）

テープカウンター（23ページ）/
タイムコード（23ページ）/
自己診断（183ページ）/
フォト撮影（33、35、101ページ）/
ファイル数（123、126ページ）

テープ残量（23ページ）/
メモリー再生（123、126ページ）

ゼロセットメモリー（56ページ）

エンドサーチ（27ページ）

A/V→DV（164ページ）/
DV入力（64ページ）

音声モード（172ページ）

メモリーミックスファイル名
（110ページ）メモリーミックス
使用時に表示されます。/
時刻（15ページ）

フラッシュ充電完了
別売りのビデオフラッシュ使用
時に表示

連写（102ページ）

表示窓の表示

満充電表示
（10ページ）

バッテリー残量時間（23ページ）/テープカウンター
（23ページ）/メモリー表示カウンター/タイムコード
（23ページ）/自己診断表示（183ページ）

バッテリー残量
（23ページ）

索引

カスタマーご登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「デジタルイメージング カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマーご登録およびご登録内容の変更はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

■カスタマーご登録に関するお問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 03-5977-7255
受付時間： **月～金曜日　午前10時～午後6時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話： 0564-62-4979
受付時間： **月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますとより迅速な対応が可能になります。

①お客様のデジタルイメージングカスタマーID
（既にカスタマーご登録されたお客様にはカスタマーIDが発行されています）

②本機の型名（DCR-TRV27）および製造番号
（保証書などに記載されています）

■ハンディカムスクエア
ハンディカムの活用法やアクセサリー情報、パソコンへの画像取りこみ方法を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/cam/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。
Printed in Japan